Offirio

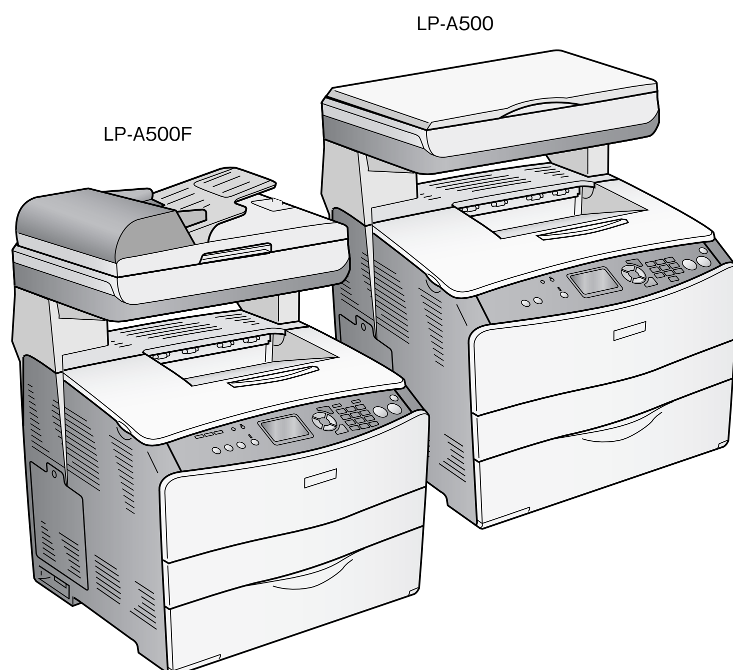
EPSON

# LP-A500F/LP-A500

# 活用ガイド

- 本機だけでコピーする方法、ファックスの送受信の方法（LP-A500F のみ）と、スキャンしたデータをコンピュータに保存する手順について説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。





## マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。


関連した内容の参照ページを示しています。

## Windows の表記

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

## Mac OS/Macintosh の表記

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X v10.2、v10.3
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記しています。

## マニュアル構成

本製品には、以下の説明書が添付されています。

| | | |
|---|---|---|
| セットアップガイド | | 本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。<br>必ずお読みいただき、本機を正しくセットアップしてください。 |
| 活用ガイド（本書） | | コピー、ファックス、スキャンの方法とメンテナンスおよび困ったときの対処方法を説明しています。<br>必ずお読みいただき、本機を正しくご使用ください。 |
| CD-ROM | ソフトウェア機能ガイド<br>for Windows（PDF） | 本機を Windows 搭載のコンピュータと接続して、印刷、スキャンする方法を説明しています。 |
| | ソフトウェア機能ガイド<br>for Mac OS（PDF） | 本機を Mac OS と接続して、印刷、スキャンする方法を説明しています。 |
| | ネットワーク設定ガイド（PDF） | ネットワーク印刷時の詳細情報とネットワークユーティリティの情報を説明しています。 |

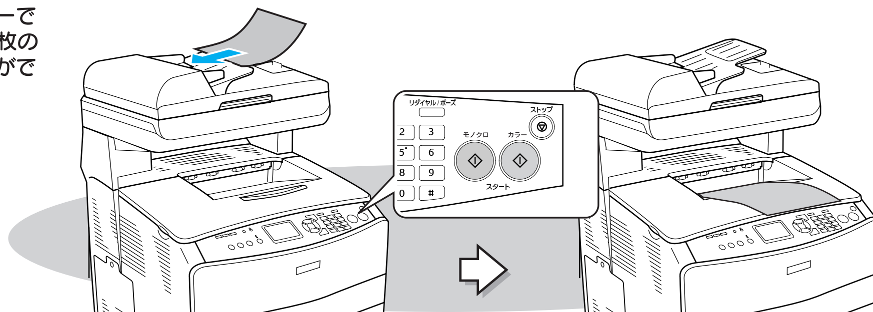
## 説明で使用しているイラスト

本書では、LP-A500F のイラストを使用して各種手順説明をしています。

# こんなことができます

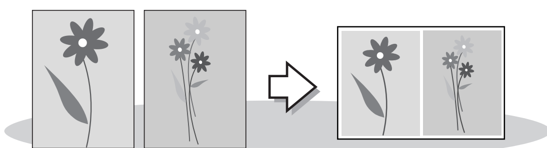
## 基本のコピー・・・・・・・25 ページ

A4、B5サイズの印刷用紙にコピーできます。LP-A500Fでは、最大50枚の原稿を連続してコピーすることができます。



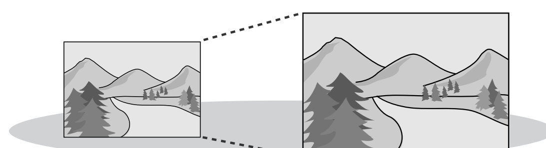

## 2アップコピー・・・・・26 ページ

1枚の用紙に原稿2枚分を割り付けてコピーできます。



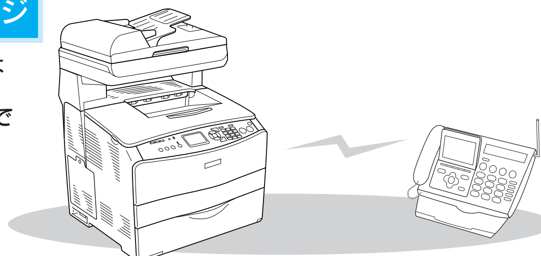
## 拡大/縮小コピー・・・・28 ページ

原稿を拡大/縮小してコピーできます。



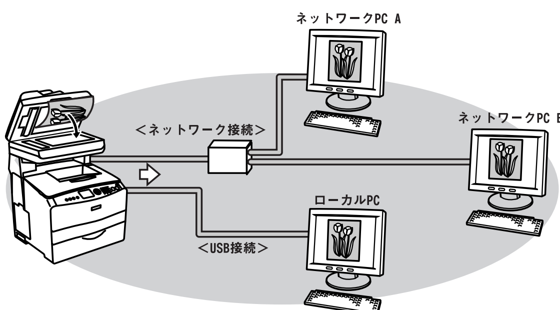
## ファックス機能（LP-A500Fのみ）33 ページ

カラー原稿、モノクロ原稿をファックスで送信または受信できます。
ワンタッチダイヤルに3件の送信先を登録することができます。



## スキャン・・・・・・・・・75 ページ

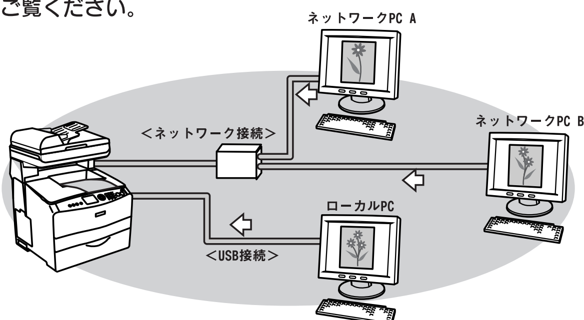
原稿をスキャンして画像ファイル化し、指定のコンピュータのフォルダに自動的に保存することができます。




コンピュータ上からスキャンを実行する手順やソフトウェアの詳しい情報は、『ソフトウェア機能ガイド』（PDF）をご覧ください。

## 印刷

添付のプリンタドライバを使用して印刷すれば、割り付け印刷やスタンプマーク印刷などさまざまな機能をご利用いただけます。
コンピュータ上から印刷を実行する手順やプリンタドライバの詳しい情報は、『ソフトウェア機能ガイド』（PDF）をご覧ください。



# 目次

## オプションと消耗品................91



## メンテナンス........................105

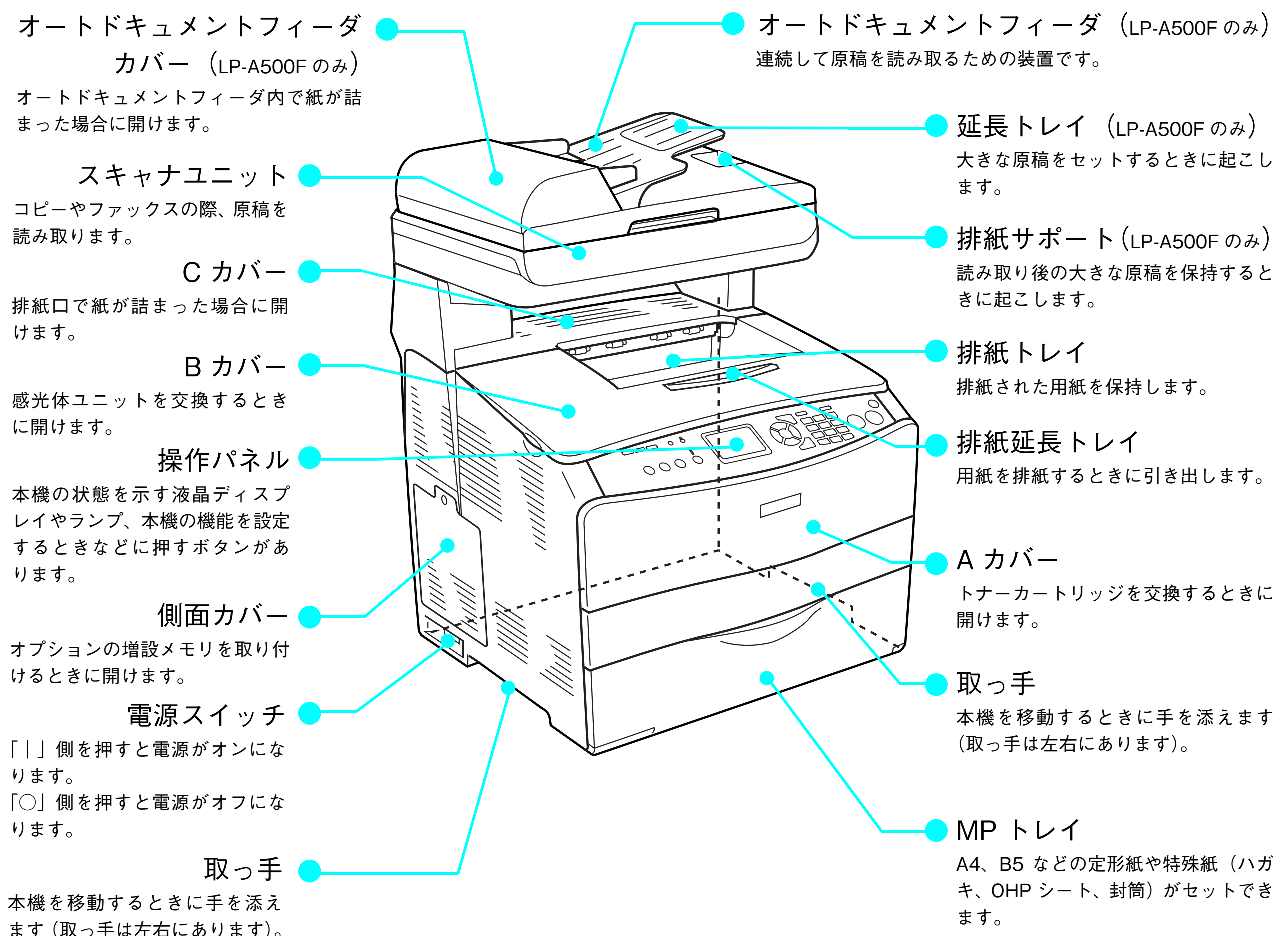


## 困ったときは........................131

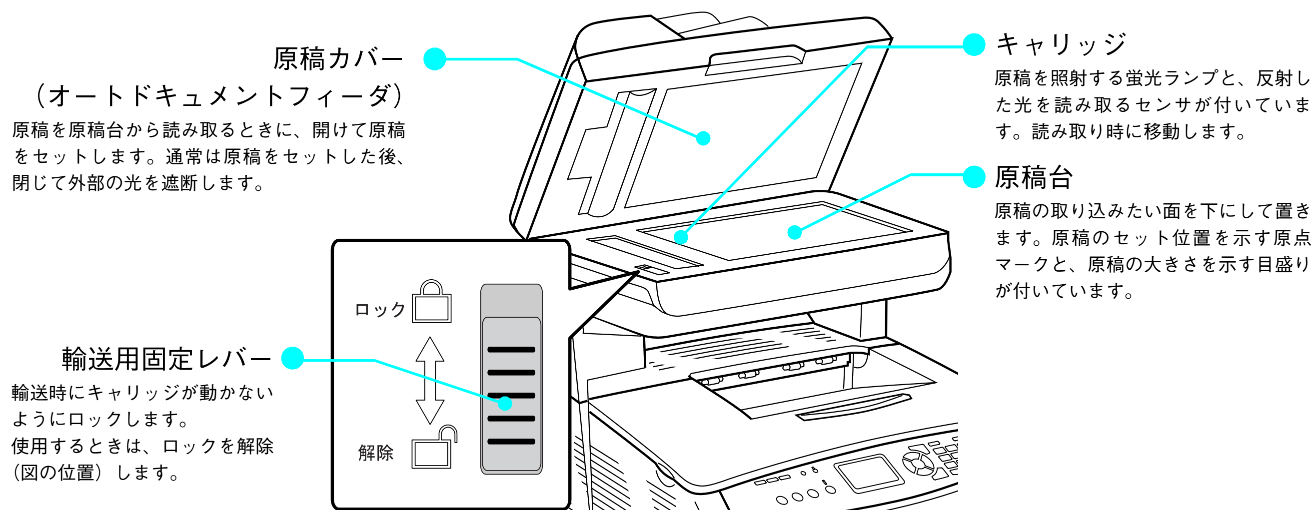
## 付録 .................................... 177

# 各部の名称と役割

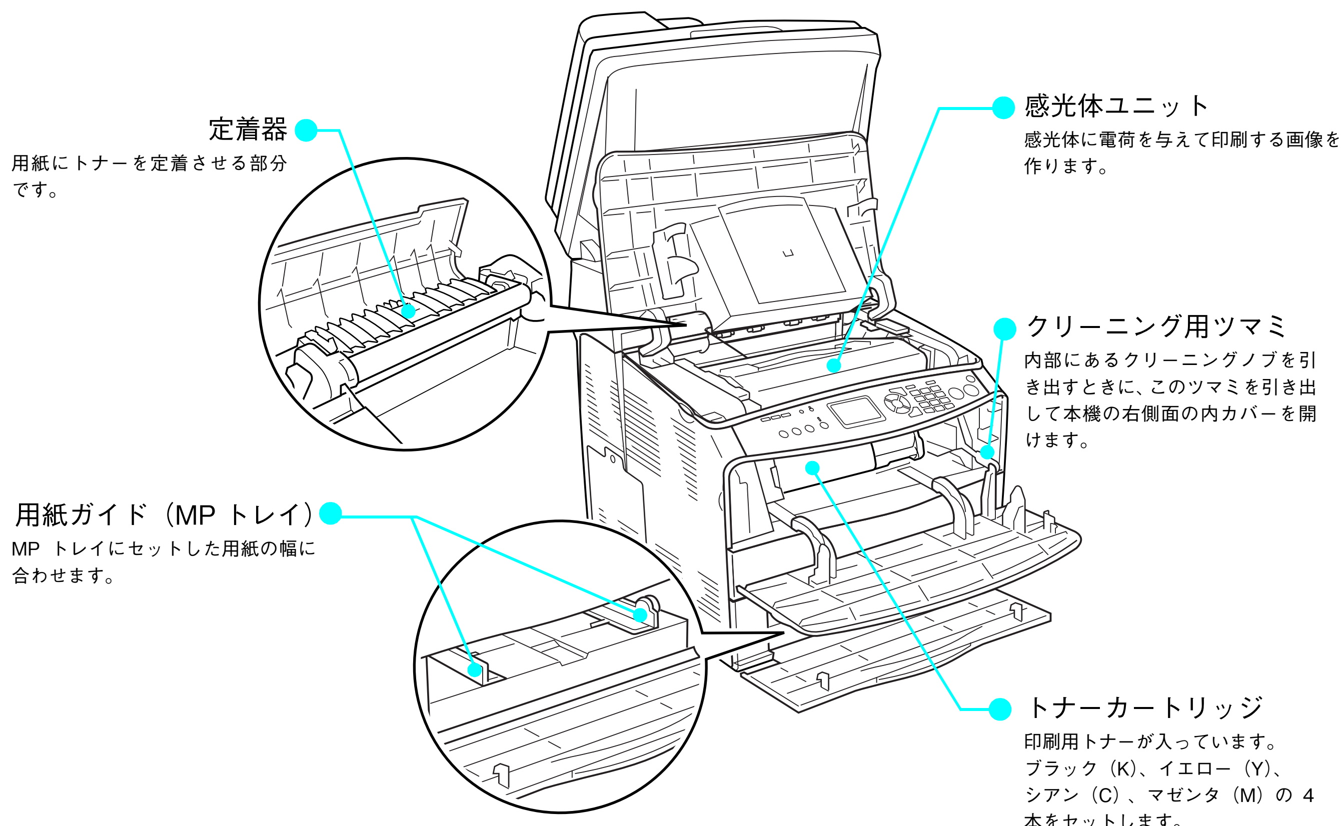
## 前面 / 左側面




## スキャナユニット



## 正面 / 内部



定着器
用紙にトナーを定着させる部分です。

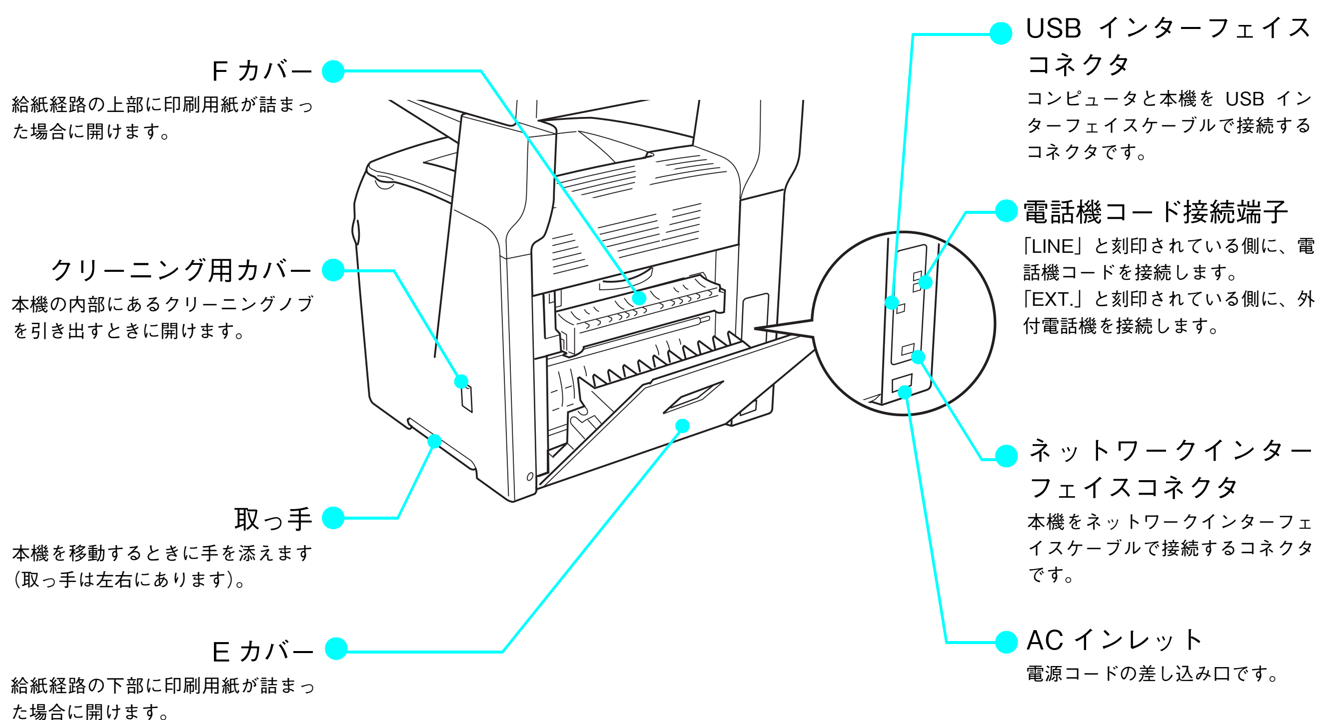
用紙ガイド（MP トレイ）
MP トレイにセットした用紙の幅に合わせます。

感光体ユニット
感光体に電荷を与えて印刷する画像を作ります。

クリーニング用ツマミ
内部にあるクリーニングノブを引き出すときに、このツマミを引き出して本機の右側面の内カバーを開けます。

トナーカートリッジ
印刷用トナーが入っています。ブラック（K）、イエロー（Y）、シアン（C）、マゼンタ（M）の 4 本をセットします。

## 背面 / 右側面



F カバー
給紙経路の上部に印刷用紙が詰まった場合に開けます。

クリーニング用カバー
本機の内部にあるクリーニングノブを引き出すときに開けます。

取っ手
本機を移動するときに手を添えます（取っ手は左右にあります）。

E カバー
給紙経路の下部に印刷用紙が詰まった場合に開けます。

USB インターフェイスコネクタ
コンピュータと本機を USB インターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

電話機コード接続端子
「LINE」と刻印されている側に、電話機コードを接続します。
「EXT.」と刻印されている側に、外付電話機を接続します。

ネットワークインターフェイスコネクタ
本機をネットワークインターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

AC インレット
電源コードの差し込み口です。

# 操作パネル

**データランプ**
印刷データが残っているときや処理中に点滅します。

**エラーランプ**
エラーが発生したときに点滅または点灯します。

**［拡張］ボタン**
コピーモードで、2in1 コピーする際など、メニューを拡張します。

**［上下左右］ボタン**
設定項目や設定値を選択します。

**ワンタッチダイヤル**
あらかじめ登録されているファックス送付先の番号を呼び出します。

**［短縮］ボタン**
あらかじめ登録されている短縮番号を呼び出します。

**リダイヤル / ポーズ**
最後の送付先の番号を呼び出します。
ダイヤル番号入力中は、” −”（ハイフン）を入れます。

**［ストップ］ボタン**
実行中の動作を中止します。

**［モード］ボタン / ランプ**
プリント / コピー / ファックス / スキャンモードを切り替えます。選択されているモードのランプが点灯します。
プリント：
コンピュータから印刷するプリントモード
コピー：
原稿をコピーするコピーモード
ファックス：
原稿をファックスするファックスモード
スキャン：
原稿をスキャンしてコンピュータに保存するスキャンモード

**［各種設定］ボタン / ランプ**
以下の設定ができます。
- プリンタ設定
- ホスト I/F 設定
- FAX 設定
- コピー設定
- スキャナ設定

**液晶ディスプレイ**
本機の状態や、設定メニューなどを表示します。

FAX 受信ジョブがある場合に表示します。（LP-A500F のみ）

トナー残量（11 段階）を表示します。左から K,C,M,Y の順です。

プリントモード
印刷できます
2005/ 2/14 10:00
A4 A4

MP トレイの用紙サイズと用紙残量（4 段階）を表示します。

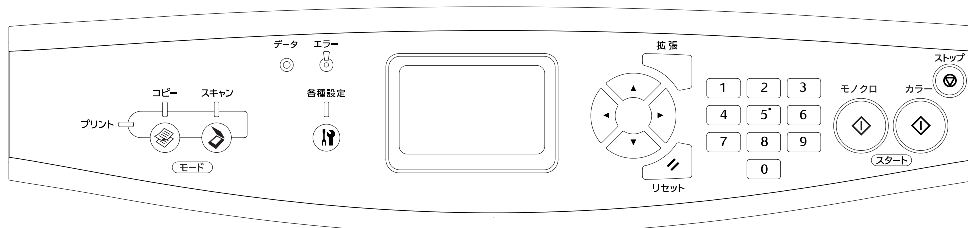
増設カセット（オプション）の用紙サイズと用紙残量（4 段階）を表示します。

**［スタート］ボタン**
カラー：
カラーでコピー / ファックス / スキャンします。
モノクロ：
モノクロでコピー / ファックス / スキャンします。

**テンキー（ダイヤルボタン）**
ファックスの宛先番号や、コピー枚数などを入力します。

**［リセット］ボタン**
設定した項目を標準値に戻します。

LP-A500 操作パネル



# ソフトウェアのご案内

本機に添付のソフトウェア CD-ROM に収録されている、いくつかのソフトウェアをご紹介します。

| ソフトウェア名称 | 説明 |
|---|---|
| プリンタドライバ | コンピュータから本機に印刷するために必要なソフトウェアです。 |
| EPSON プリンタウィンドウ !3 | コンピュータから本機の状態を確認することができるソフトウェアです。 |
| EPSON Scan | 本機のスキャナを使用して、コンピュータに画像を取り込むためのソフトウェアです。 |
| ソフトウェア機能ガイド for Windows/for Mac OS | 本機をコンピュータ上からお使いいただくための情報とプリンタドライバ、EPSON Scan の機能を説明した PDF 形式の取扱説明書です。 |
| ネットワーク設定ガイド | 本機をネットワーク環境でお使いいただくための情報を説明した PDF 形式の取扱説明書です。 |
| EPSON Speed Dail Utility（Windows のみ） | LP-A500F のファックス送信用の短縮ボタンに送信先を登録するためのソフトウェアです。 |
| EPSON Web-To-Page（Windows のみ） | ホームページを用紙の幅に納まるように自動的に縮小して印刷することができるソフトウェアです。インストールすると Microsoft Internet Explorer のツールバーに追加されます。 |
| EPSON Creativity Suite | 印刷機能、スキャン機能を活用するための機能を集めたソフトウェアです。 |
| Presto! BizCard 5 SE（Windows のみ） | 名刺をスキャンして自動的に名前や住所などを登録することのできるソフトウェアです。 |
| ユーザー登録「My EPSON」アシスタント | インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。 |

| | |
|---|---|
| PageManager For EPSON（Windows のみ） | 紙媒体の書類をデジタル化するなどして情報の整理と共有が簡単にできるソフトウェアです。また、本機の操作パネルを操作してスキャンしたデータをコンピュータに送信するためにも使用されます。 |

参考

- 上記以外にも各種ユーティリティなどが『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。収録されているソフトウェアの名称については、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』表面の記載をご覧ください。
- EPSON Web-To-Page は、次の環境でお使いください。
  対象 OS：　Windows 98/Me/2000/XP
  対象ブラウザ：　Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降

  【ネットワーク接続の場合】
  LPR 接続、EpsonNet Print、Windows 共有接続のみ
  ただし、Windows 共有接続で Windows 98/Me に直接接続されたプリンタを共有し、Windows 2000/XP から共有プリンタを使用したとき、印刷できない場合があります。

# 1 用紙のセット

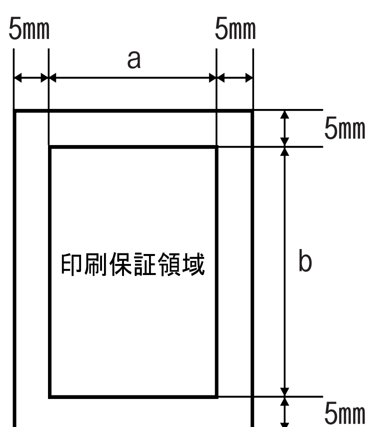
印刷用紙のセット方法と、コピー / ファックス / スキャナの原稿のセット方法を説明します。

# 印刷用紙について

本機を使用してコピーまたはファックス受信を行うときの印刷用紙について説明します。

## 印刷用紙サイズと印刷保証領域

印刷用紙サイズと印刷保証領域は次の通りです。印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。
用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。




| 用紙サイズ | 印刷保証領域サイズ［単位 mm］ | |
|---|---|---|
| | a | b |
| A4 ＜ 210 × 297mm ＞ | 200 | 287 |
| B5 ＜ 182 × 257mm ＞ | 172 | 247 |
| Letter ＜ 215.9 × 279.4mm ＞ | 205.9 | 269.4 |
| Legal ＜ 215.9 × 355.6mm ＞ | 205.9 | 345.6 |

# 使用できる印刷用紙の種類

## EPSON 製の用紙

次の EPSON 製用紙が、コピーまたはファックス受信を行うときの印刷用紙として使用できます。

| 使用可能な用紙 | | 型番（サイズ） | 説明 |
|---|---|---|---|
| 普通紙 | EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 | LPCPPA4（A4） | 普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。<br>MP トレイまたは用紙カセット（オプションの増設 1 段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。 |
| 特殊紙 | EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート | LPCOHPS1（A4） | EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。<br>MP トレイからのみ給紙できます。 |

**！注意** 上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

## 一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙がコピーまたはファックス受信を行うときの印刷用紙として使用できます。これ以外の用紙は使用しないでください。

| 使用可能な一般の用紙 | | 説明 |
|---|---|---|
| 普通紙 | コピー用紙 | 一般の複写機などで使用する用紙です。紙厚は 64 ～ 105g/m$^2$ の範囲内のものが使用可能です。<br>MP トレイまたは用紙カセット（オプションの増設 1 段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。 |
| | 上質紙 | 紙厚は 81 ～ 105g/m$^2$ の範囲内のものが使用可能です。<br>MP トレイまたは用紙カセット（オプションの増設 1 段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。 |
| | 再生紙 * | 紙厚は 64 ～ 105g/m$^2$ の範囲内のものが使用可能です。<br>MP トレイまたは用紙カセット（オプションの増設 1 段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。 |
| 特殊紙 | ラベル紙 | レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。<br>MP トレイからのみ給紙できます。 |

* 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

**参考**

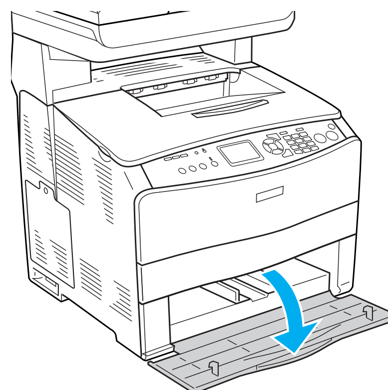
- 用紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

# 印刷用紙のセット

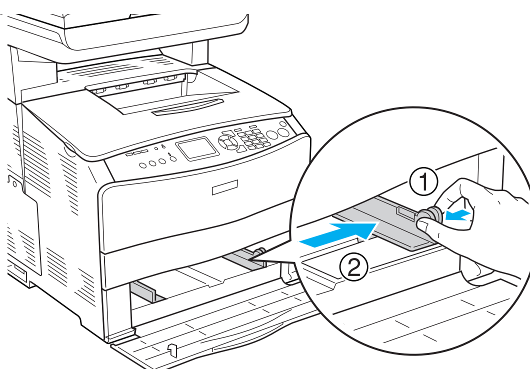
ここでは、印刷用紙を本機にセットする手順を説明します。

## MP トレイに用紙をセットする

**1** **MP トレイのカバーを開けます。**



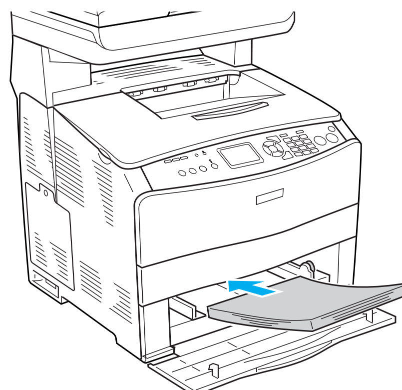
**2** **①右側の用紙ガイドのツマミ部分をつまんだまま②外側へずらします。**



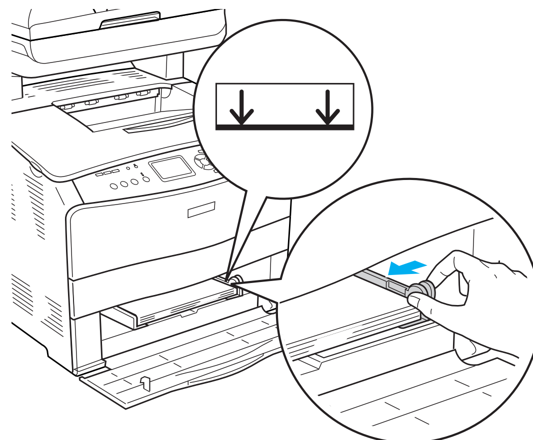

| ⚠注意 |
| --- |
| 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっているため危険です。 |

**3** **用紙の四隅をそろえ、MP トレイにセットします。**

用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように、用紙をセットします。



## 4 用紙ガイドのツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。



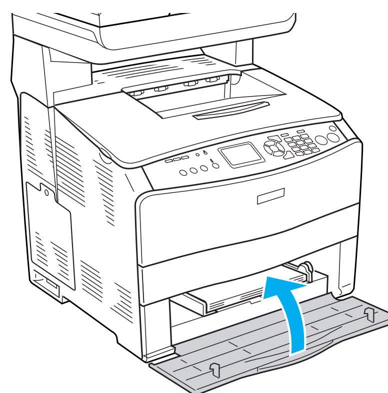
**!注意**

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、用紙が斜めに給紙されて紙詰まりが発生します。

**参考**

用紙は最大 200 枚（普通紙 64g/ ㎡）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

## 5 MP トレイのカバーを閉じます。

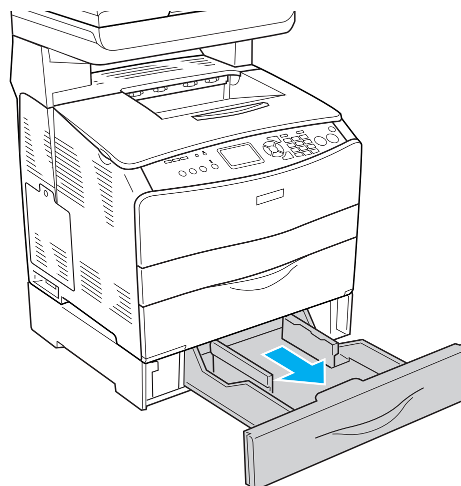


以上で MP トレイへの印刷用紙のセットは終了です。

次に、MP トレイにセットした用紙のサイズを操作パネルで設定します。
☞ 本書 16 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する」

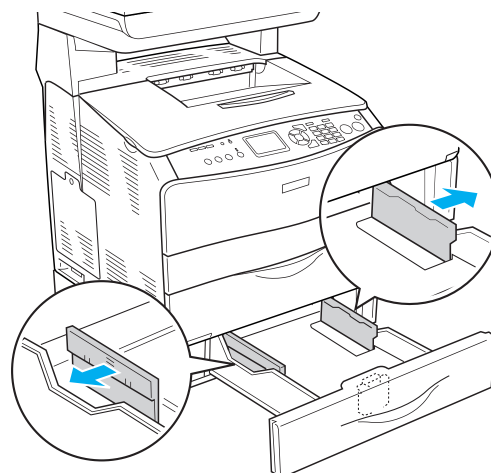
## 増設カセット（オプション）に用紙をセットする

**1** **用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。**

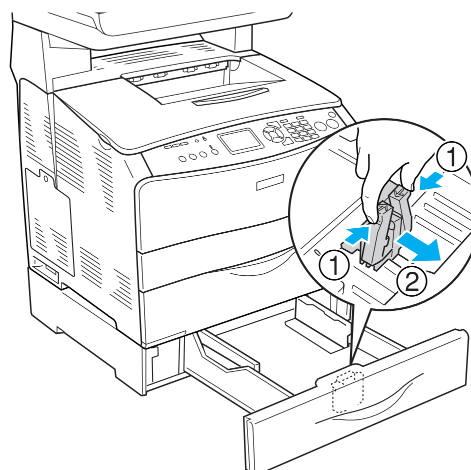


**2** **用紙ガイドを用紙がセットできるように広げます。**

用紙ガイドは、片方を操作するともう一方も連動して広がります。



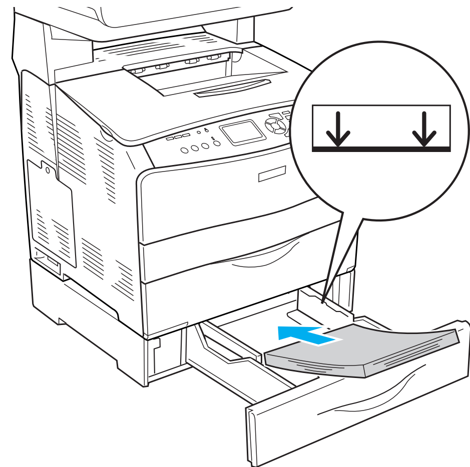
**3** **①用紙ガイド（手前）のツマミをつまんだまま、②セットする用紙サイズに合わせます。**



**⚠注意**

用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっているため危険です。

## 4 印刷する面を上にして四隅をそろえ、給紙方向に対して縦長に用紙をセットします。

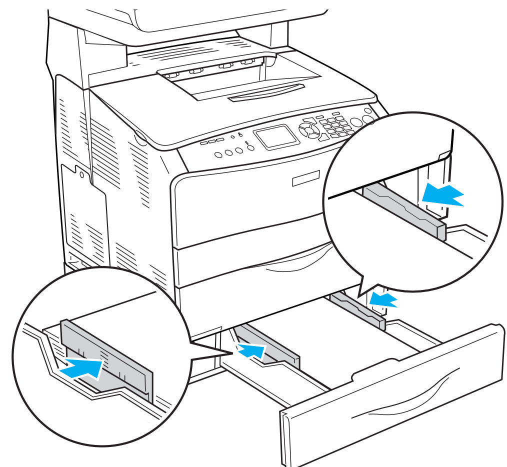


**参考**

用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/ ㎡）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大セット枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

## 5 用紙ガイドを用紙の側面に合わせて移動します。

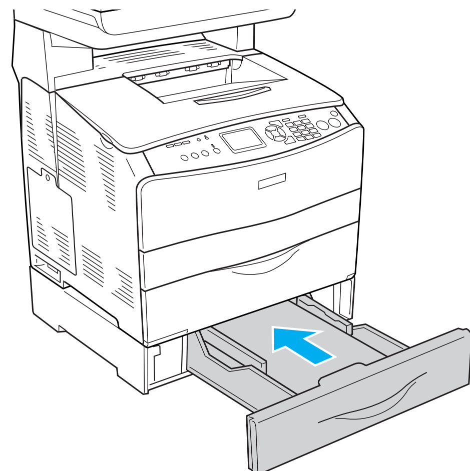
用紙ガイドの片方を操作して、用紙の側面に合わせます。もう一方の用紙ガイドも連動します。



**！注意**

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、用紙が斜めに給紙されて紙詰まりが発生します。

## 6 用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。



以上で増設カセットへの印刷用紙のセットは終了です。

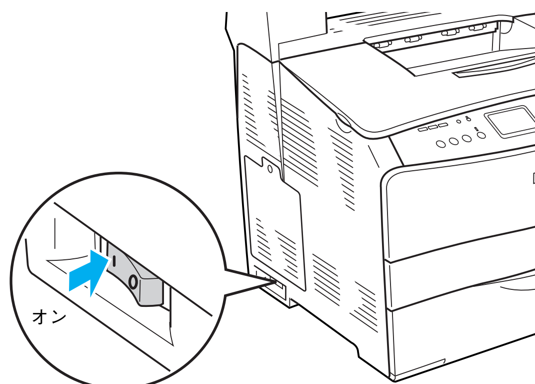
次に、増設カセットにセットした用紙のサイズを操作パネルで設定します。

本書 16 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する」

## 操作パネルで用紙サイズを設定する

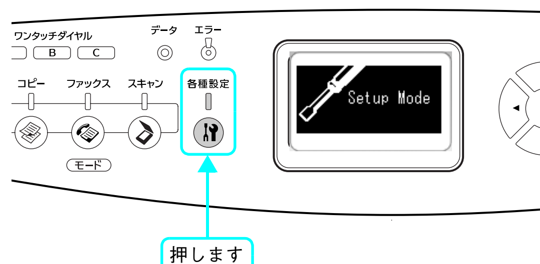
MP トレイまたは増設カセットにセットした用紙のサイズ（初期設定は A4）は、以下の手順で設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと、思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

**1** **電源をオン（I）にします。**



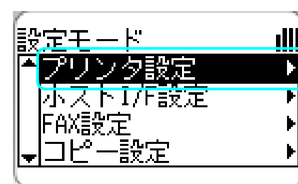

**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

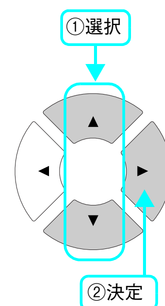
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3** **［プリンタ設定］を選択します。**

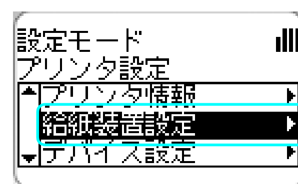
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

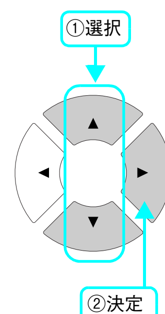



**4** **［給紙装置設定］を選択します。**

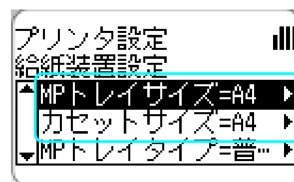
［▲］または［▼］ボタンを押して［給紙装置設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

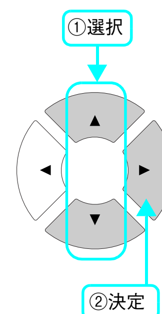


## 5 用紙サイズを設定する給紙装置を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［MP トレイサイズ］または［カセットサイズ］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

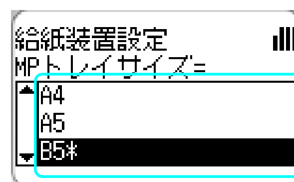


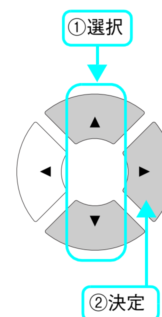




## 6 本機にセットした用紙のサイズを選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して用紙サイズを選択してから、［▶］ボタンを押します。

現在設定されている用紙サイズには、＊マークが付いています。




## 7 ［各種設定］ボタンを押します。

プリントモードになります。

以上で用紙サイズ設定は終了です。

# 原稿のセット

ここでは、原稿のセット方法を説明します。

| !注意 | スキャナユニットが図の位置にあるか確認します。 | 輸送用固定レバーが解除されているか確認します。 |
|---|---|---|
| | スキャナユニット | レバーがこの位置にあるか確認します<br>※：輸送用固定レバーは、輸送時以外はロックしないでください。 |

## 原稿台にセットする

### セットできる原稿

原稿台にセットできる用紙は次の通りです。

| | |
|---|---|
| 原稿サイズ | A4、B5、Letter（216 mm × 279 mm） |

!注意

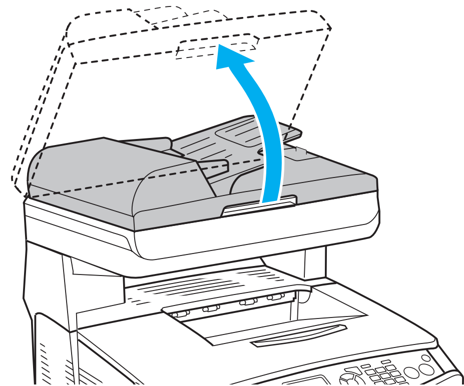
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

## 原稿のセット方法

原稿台へは、原稿を 1 枚ずつセットします。

**1** **スキャナユニットの位置と輸送用固定レバーが解除されているか確認します。**

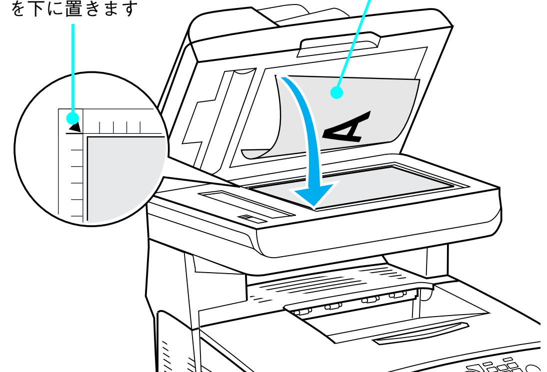
**2** **原稿カバーを開けます。**



参考

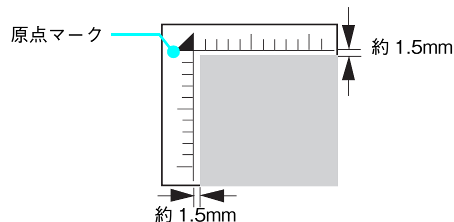
原稿カバーを開けるときは、スキャナユニットがしっかりと閉じていることを確認してください。スキャナユニットが開いた状態だと、原稿カバーを開けることができません。

**3** **原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

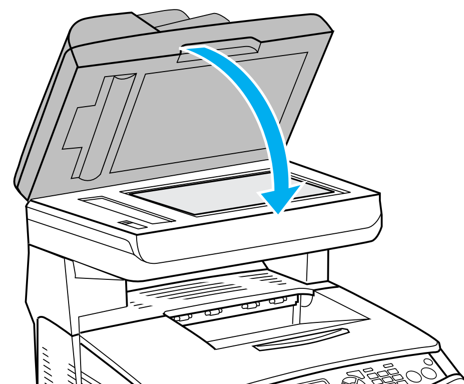



参考

- 原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。
- 原稿台の上端から最大 1.5mm、右端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。




**4** **原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。**

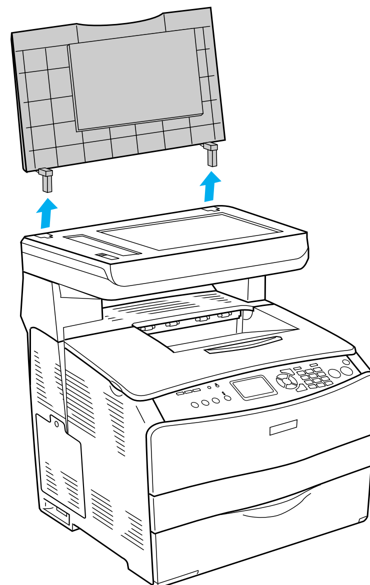


以上で原稿台への原稿セットは終了です。

## 原稿台よりも大きなサイズの原稿をセットする（LP-A500 のみ）

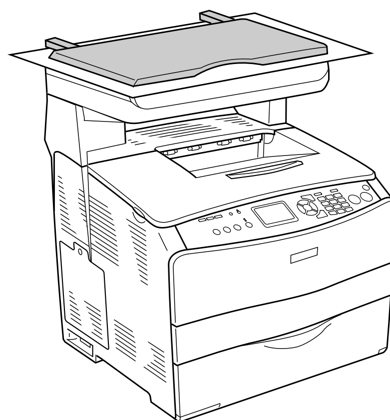
原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿をスキャンするときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。

**1** **原稿カバーを開け、上に持ち上げます。**



**2** **原稿をセットし、原稿カバーを載せます。**

原稿をセットしたら、原稿を上から押さえるように外した原稿カバーを載せてください。また、厚手の雑誌などをセットする場合は、外した原稿カバーを上から軽く押さえてください。



**！注 意**

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がった部分から光が入らないようにしてください。
- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

以上で原稿のセットは終了です。

**参考** 原稿カバーを取り付けるときは、原稿カバーの両側の足を原稿台の穴にしっかりと差し込んでください。

## オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）



オートドキュメントフィーダからのスキャンは、原稿台にセットしてスキャンしたときに比べて画質が劣ります。

### セットできる原稿

オートドキュメントフィーダにセットできる用紙は次の通りです。

| | |
|---|---|
| 原稿サイズ | A4、B5、Legal（216 mm × 356 mm）、Letter（216 mm × 279 mm） |
| セット可能枚数 | 50 枚（A4：80g/ ㎡）、総用紙厚 8mm 以下<br>（エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと） |
| 紙質 | 普通紙、上質紙、リサイクル紙、レーザープリンタ専用紙、インクジェットプリンタ専用紙 |
| 紙厚（連量） | 50 ～ 124g/ ㎡ |

！注意

- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- 写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

### セットできない原稿

次の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

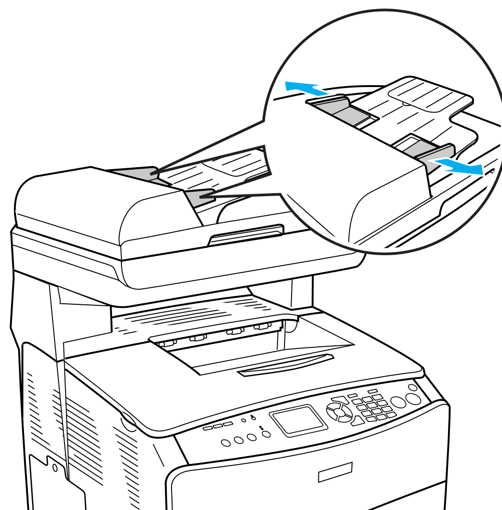
## 原稿のセット方法

ここでは、オートドキュメントフィーダにセットする方法を説明します。オートドキュメントフィーダは、原稿を連続して取り込むことができ、最大 50 枚まで原稿をセットすることができます。

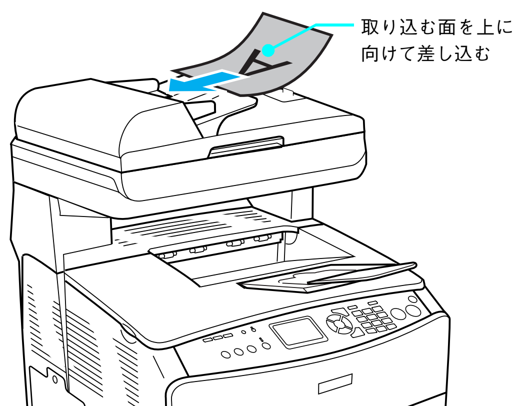
**1** **スキャナユニットの位置と輸送用固定レバーが解除されているか確認します。**

**2** **オートドキュメントフィーダの用紙ガイドを、セットする原稿サイズの目盛り位置まで広げます。**

用紙ガイドは、片方を操作するともう一方も連動して広がります。

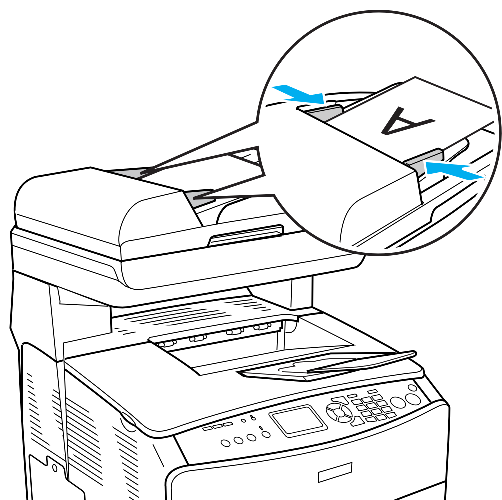


**3** **原稿の取り込む面を上に向けて、オートドキュメントフィーダの目盛りに合わせて奥に突き当たるまで差し込みます。**




**4** **用紙ガイドをセットした原稿の側面に合わせます。**

用紙ガイドの片方を操作して、用紙の側面に合わせます。もう一方の用紙ガイドも連動します。



> **!注意**
> オートドキュメントフィーダカバーが確実に閉まっていることを確認してください。カバーが閉まっていないと、原稿を読み取り位置まで送ることができないため、何もない状態（白地）を読み取ってしまいます。

以上でオートドキュメントフィーダへの原稿セットは終了です。

# 2 コピー

コピー機能について説明します。

# コピーの前に

コピーをする前に、セットできる原稿サイズや印刷用紙サイズをご確認ください。

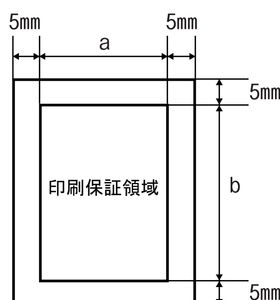
## セットできる原稿

セットできる原稿サイズは、次の通りです。

- A4 ＜ 210 × 297mm ＞
- B5 ＜ 182 × 257mm ＞
- Letter ＜ 215.9 × 279.4mm ＞
- Legal ＜ 215.9 × 355.6mm ＞（LP-A500F のオートドキュメントフィーダのみ）

## 印刷用紙サイズと印刷保証領域

印刷用紙サイズと印刷保証領域は次の通りです。印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。




| 用紙サイズ | 印刷保証領域サイズ［単位 mm］ | |
|---|---|---|
| | a | b |
| A4 ＜ 210 × 297mm ＞ | 200 | 287 |
| B5 ＜ 182 × 257mm ＞ | 172 | 247 |
| Letter ＜ 215.9 × 279.4mm ＞ | 205.9 | 269.4 |
| Legal ＜ 215.9 × 355.6mm ＞ | 205.9 | 345.6 |

**参考**

- 拡大 / 縮小 / 等倍コピーの場合、印刷保証領域を考慮せずコピーしますので、原稿の各端面から 5mm の範囲はコピーされません。
- ［全面コピー］機能を使用すると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に拡大・縮小してコピーします。

## コピーに使用できる印刷用紙の種類

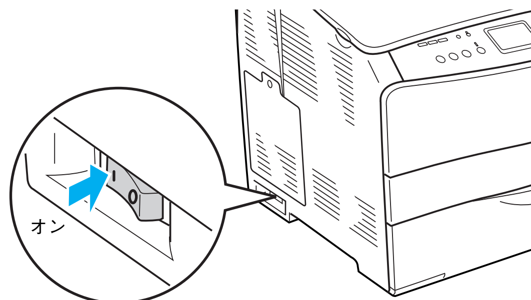
コピーに使用できる印刷用紙の種類は以下のページを参照してください。

☞ 本書 11 ページ「使用できる印刷用紙の種類」

# 基本コピー（カラー/モノクロ）

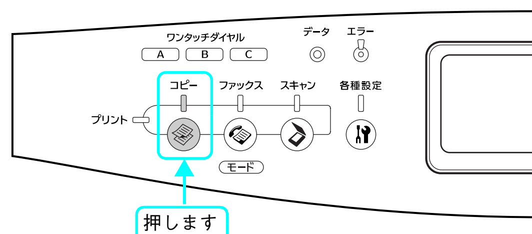
基本的なコピーの手順を説明します。

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［コピー］ボタンを押します。**

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



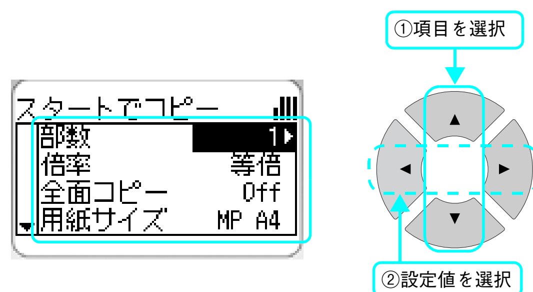

**3** **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

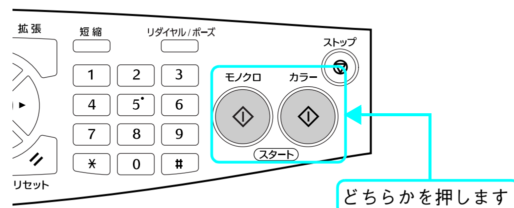
**4** **必要に応じてコピーの設定を行います。**

設定項目、設定方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 31 ページ「コピー設定の変更」




**5** **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。




> **参考**
>
> **コピーを中断したい場合**
> ［ストップ］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

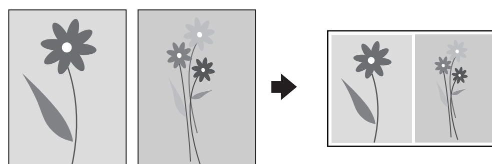
コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

# 応用コピー

ここでは、本機の機能を利用したコピーの方法を説明します。

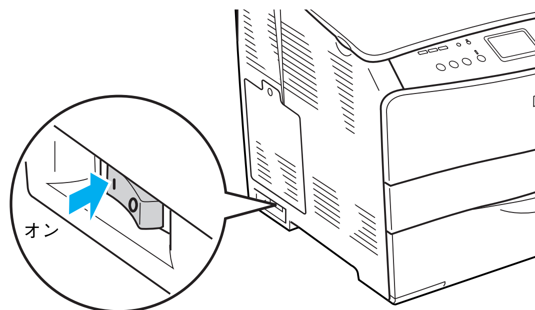
## 2 アップコピー（2in1 コピー）

2 枚の原稿を、1 枚の用紙に割り付けてコピーします。
以下の原稿サイズと印刷用紙サイズの組み合わせで、2 アップコピーができます。

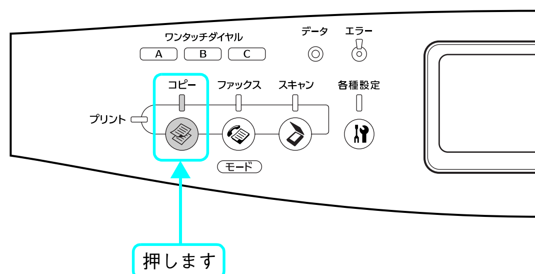


| 原稿サイズ | 印刷用紙サイズ | | | |
|---|---|---|---|---|
| | A4 | B5 | Letter | Legal |
| A4 | ○ | ○ | × | × |
| B5 | ○ | ○ | × | × |
| Letter | × | × | ○ | ○ |
| Legal | × | × | ○ | ○ |

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

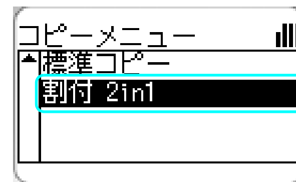


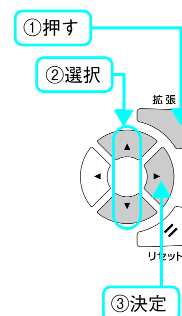

**3** **原稿をセットします。**

- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
  ☞ 本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて（最大 50 枚）の原稿をセットします。
  ☞ 本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

## 4 ［拡張］ボタンを押してから、［割付 2in1］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［割付 2in1］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

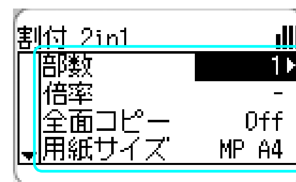


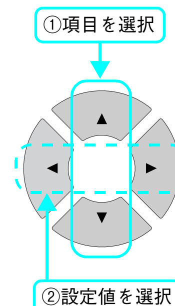




## 5 必要に応じてコピーの設定を行います。

設定項目、設定方法については、以下のページを参照してください。

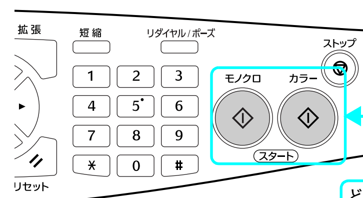
☞ 本書 31 ページ「コピー設定の変更」




## 6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。




参考

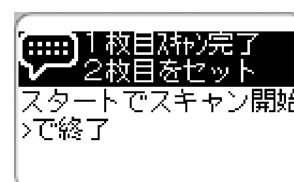
**コピーを中断したい場合**

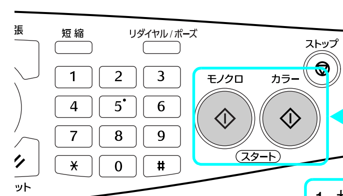
［ストップ］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

オートドキュメントフィーダに原稿をセットした場合は、セットされているすべての原稿を自動的に読み取ります。セットされている原稿が奇数枚の場合は、最終ページを白ページとしてコピーします。

## 7 原稿台に原稿をセットした場合、［1 枚目スキャン完了 2 枚目をセット］のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットして、1 枚目と同じボタンを押します。

2 枚目の原稿がない場合は、［▶］ボタンを押してください。




コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

# 拡大･縮小コピー

拡大・縮小コピーの方法について説明します。拡大・縮小コピーには、原稿サイズと印刷用紙サイズに合わせてコピーする［固定倍率］と、任意に倍率を設定できる［任意倍率］の2種類の方法があります。

また、拡大・縮小コピーの際、［全面コピー］機能を使用すると、原稿の全面を印刷用紙サイズの印刷保証領域に収まるようにすることができます。

## 設定一覧

**固定倍率**

| 固定倍率 | 全面コピー OFF | | 全面コピー ON | |
|---|---|---|---|---|
| A4 → B5<br>（86%） | 原稿サイズ A4 | 印刷用紙サイズ B5 | 原稿サイズ A4 | 印刷用紙サイズ B5 |
| B5 → A4<br>（115%） | 原稿サイズ B5 | 印刷用紙サイズ A4 | 原稿サイズ B5 | 印刷用紙サイズ A4 |
| Legal → Letter<br>（78%） | 原稿サイズ Legal | 印刷用紙サイズ Letter | 原稿サイズ Legal | 印刷用紙サイズ Letter |
| Half Letter → Legal<br>（154%） | 原稿サイズ Half Letter | 印刷用紙サイズ Legal | 原稿サイズ Half Letter | 印刷用紙サイズ Legal |

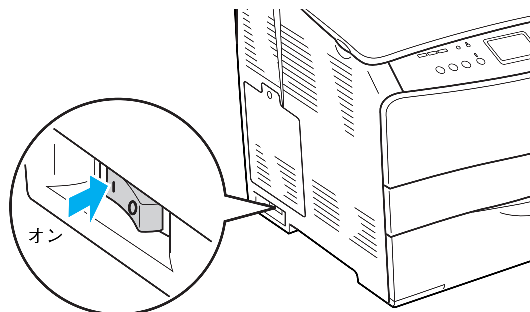
| 固定倍率 | 全面コピー OFF | 全面コピー ON |
| --- | --- | --- |
| 等倍<br>（100%） | 原稿サイズ A4　印刷用紙サイズ A4 | 原稿サイズ A4　印刷用紙サイズ A4 |

任意倍率

| 任意倍率 | 全面コピー OFF | 全面コピー ON |
| --- | --- | --- |
| 25 ～ 400%<br>（1% 単位） | 例:25%<br>原稿サイズ A4　印刷用紙サイズ A4 | 例:25%<br>原稿サイズ A4　印刷用紙サイズ A4 |

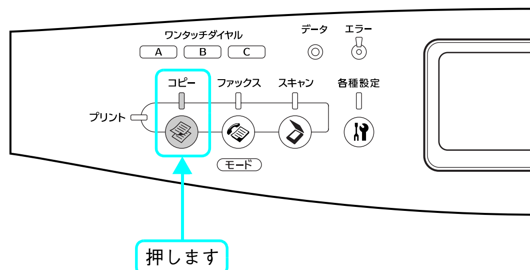
## 設定方法

**1** **電源をオン（ I ）にします。**




**2** **［コピー］ボタンを押します。**

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



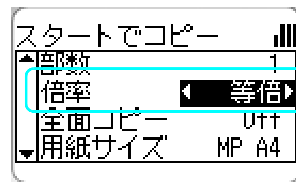

**3** **原稿をセットします。**

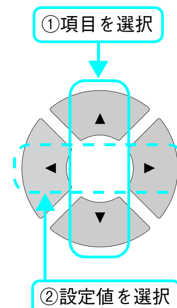
- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

## 4 ［倍率］を選択して、設定値を設定します。

**［固定倍率］を選択する場合**

［▲］または［▼］ボタンを押して［倍率］を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで固定倍率を選択します。



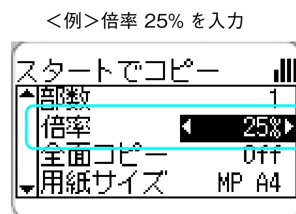



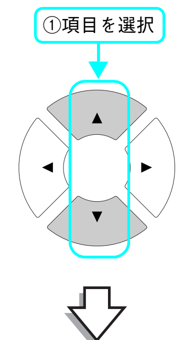

> **参考**
>
> **「用紙サイズ不一致です」エラーが表示された場合**
>
> ［倍率］で選択した固定倍率と、本機にセットされている用紙サイズが一致しない場合に表示されます。セットされている用紙を固定倍率で選択したサイズの用紙に変更してください。

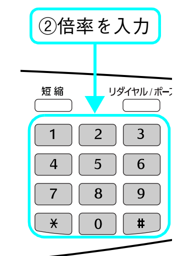
**［任意倍率］の場合**

［▲］または［▼］ボタンを押して［倍率］を選択してから、テンキー（ダイヤルボタン）で任意の倍率を入力します。
設定値については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 31 ページ「コピー設定の変更」

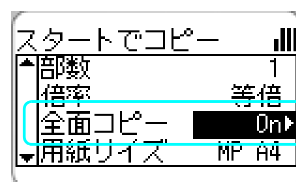
<例>倍率 25% を入力

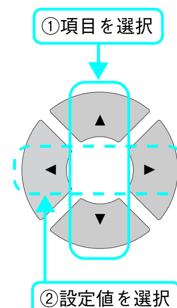


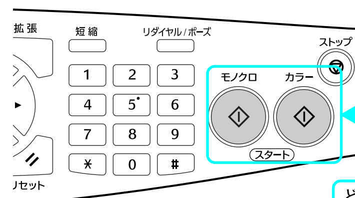

## 5 ［全面コピー］機能を使用する場合は、［全面コピー］を選択して、［ON］に設定します。




## 6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

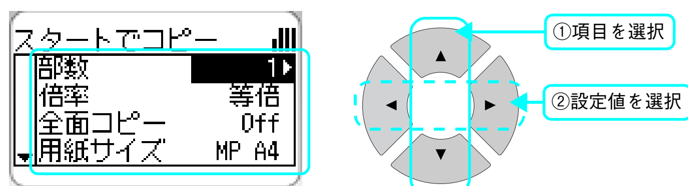



コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

# コピー設定の変更

コピーモードで設定できる設定項目と設定値を説明します。

## コピー設定を変更する




| 設定項目 | 設定値 | 説明 / 補足 |
|---|---|---|
| 部数 | 1 ～ 99 | コピー枚数を設定します。テンキー（ダイヤルボタン）で、枚数を入力することもできます。 |
| 倍率 | LGL ＞ LT<br>（Legal → Letter：78%） | 原稿サイズと印刷用紙サイズに合わせて選択します。 |
| | A4 ＞ B5 （86%） | |
| | 等倍 （100%） | |
| | B5 ＞ A4 （115%） | |
| | HLT ＞ LGL<br>（Half Letter ＞ Legal：154%） | |
| | 25 ～ 400% | 1% 単位でコピーの倍率（任意倍率）を設定します。<br>テンキー（ダイヤルボタン）で、任意の倍率を入力します。 |
| 全面コピー | ON、OFF | ［倍率］で［固定倍率］（A4>B5、B5>A4、LGL>LT、HLT>LGL、等倍）を選択している場合に使用できます。<br>原稿の全面を印刷用紙サイズの印刷保証領域に収まるようにする場合に［ON］に設定します。 |
| 用紙サイズ | MP A4、MP B5、MP LGL、MP LT、LC A4、LC LT | コピーして印刷する用紙を選択します。<br>［MP xx］（xx は用紙サイズ）は、MP トレイの用紙サイズ、［LC xx］は、オプションの増設カセットの用紙サイズを表します。 |
| モノクロ原稿タイプ | 文・写 （文字・写真） | オフィスなどで通常使用されるモノクロ画像や文字が混在する書類を原稿にする場合に選択します。 |
| | 写真 | モノクロ写真（銀塩写真、印刷物写真）を原稿にする場合に選択します。 |
| | 文字 | モノクロ文字を多く含む書類を原稿にする場合に選択します。<br>背景（原稿の色）を除去したい場合も有効です。 |
| | 高精細 | モノクロ図面や細い線を含む書類を原稿にする場合に選択します。 |

| 設定項目 | 設定値 | 説明 / 補足 |
|---|---|---|
| カラー原稿タイプ | 文・写（文字・写真） | オフィス等で通常使用されるカラー画像や文字が混在する書類を原稿にする場合に選択します。 |
| | 写真 | カラー写真（銀塩写真、印刷物写真）を原稿にする場合に選択します。 |
| | 文字 | 黒文字を多く含む書類を原稿にする場合に選択します。背景（原稿の色）を除去したい場合も有効です。 |
| | 高精細 | カラー図面や細い線を含む書類を原稿にする場合に選択します。 |

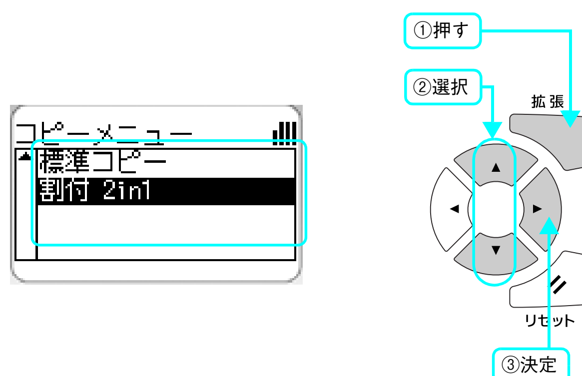


**オートドキュメントフィーダから連続カラーコピーをする場合**
［カラー原稿タイプ］を「高精細」に設定すると、本機の標準メモリ容量では、エラー（メモリ不足）が発生します。本機にメモリを増設して、メモリ容量の合計が 256MB 以上になるようにしてください。

| | | |
|---|---|---|
| 原稿サイズ | A4、B5、LGL、LT | 拡張コピーメニューで［割付 2in1］を選択している場合に、読み取る原稿のサイズを選択します。 |
| 濃度 | -3 ～ 0 ～ 3 | コピーの濃度を設定します。 |
| コントラスト | -3 ～ 0 ～ 3 | コントラスト（明暗比）を調整する場合に設定します。-3（低）から 3（高）の範囲で設定でき、コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。 |
| R | -3 ～ 0 ～ 3 | RGB カラーバランスを調整する場合に設定します。-3（弱い）から 3（強い）の範囲で設定できます。 |
| G | -3 ～ 0 ～ 3 | |
| B | -3 ～ 0 ～ 3 | |

## 拡張コピーメニュー

［拡張］ボタンを押すと拡張コピーメニューが表示されます。以下の設定ができます。




| 設定項目 | 設定値 | 説明 / 補足 |
|---|---|---|
| 標準コピー | – | 標準コピー設定の状態に戻します。 |
| 割付 2in1 | – | 2 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーする場合に設定します。 |

# 3 ファックス機能（LP-A500Fのみ）

ファックス機能について説明します。

# ファックスを使う前に

ファックスを使う前に、送受信できる原稿サイズとファックスに関する設定を確認します。

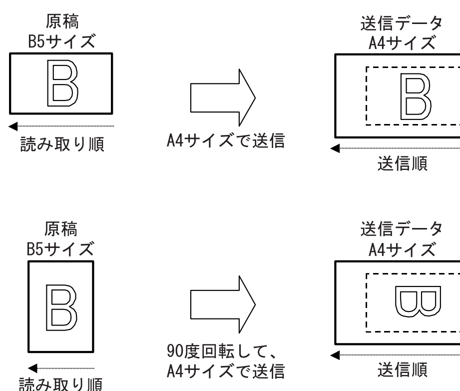
## 送受信できる原稿サイズ

### 送信できる原稿サイズ

- A4 ＜ 210 × 297mm ＞
- Letter ＜ 215.9 × 279.4mm ＞
- Legal ＜ 215.9 × 355.6mm ＞（LP-A500F のオートドキュメントフィーダのみ）

参考

- FAX 送信では、原稿が A4 以下の場合、A4 縦に変換して送信します。
  このように、送信側の処理によって出力結果が原稿のサイズと異なる場合があります。
- B5 サイズの原稿を読み取ることは可能ですが、送信されると次のようになります。



## 受信できる原稿サイズ

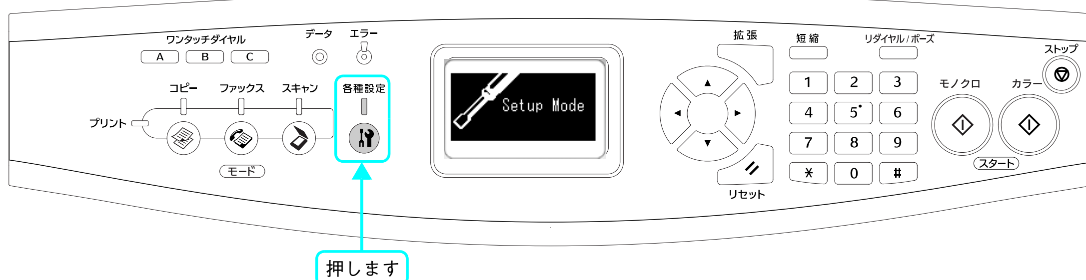
受信データの用紙サイズが、本機にセットしてある用紙と異なる場合、以下のように自動的に分割・縮小して印刷されます。

| | | 受信データの原稿サイズ | | |
|---|---|---|---|---|
| | | A4 | Letter | Legal |
| 印刷用紙サイズ | A4 | ページ先頭<br>＜両端カット＞ | ページ先頭<br>＜両端カット＞ | ページ先頭<br>＜両端カット、分割＞ |
| | B5 | ページ先頭<br>＜分割、回転＞ | ページ先頭<br>＜分割、回転＞ | ページ先頭<br>＜分割、回転＞ |
| | Letter | ページ先頭<br>＜縮小＞ | ページ先頭 | ページ先頭<br>＜分割＞ |
| | Legal | ページ先頭 | ページ先頭 | ページ先頭 |

分割：2 ページに分割して印刷する
回転：回転して印刷する
縮小：横方向に縮小して印刷する
両端カット：両端をカットして印刷する

## ファックスの設定確認

ファックスを送受信する際に必要となる項目が正しく設定されているか確認してください。
設定の内容は、操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、［設定モード］で確認します。



## [基本設定]の確認

ファックスを使用する際に、次の項目の設定を必ず行ってください。

［設定モード］-［FAX 設定］の［基本設定］で設定状況が確認できます。

| 設定項目 | 内容 |
|---|---|
| 回線種別 | お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」に設定してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。<br>『セットアップガイド』（紙マニュアル）［ファックス機能の初期設定］ |
| ダイヤル種別 | お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。<br>『セットアップガイド』（紙マニュアル）［ファックス機能の初期設定］ |

## [送信設定]の確認

ファックスの送信に関する設定は、［送信設定］で確認します。［送信設定］では次の項目の設定ができます。詳細や設定方法は、以下のページを参照してください。

本書 53 ページ「ファックスの設定変更」

| 設定項目 | 内容 |
|---|---|
| オートリダイヤル回数 | 送付先の機器が通信中などで接続できない場合に、指定時間待った後、再びダイヤルする回数を設定します。 |
| 発信元印字 | 送付データの上部に、年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数（分数表示）を入れます。 |

## [受信設定]の確認

ファックスの受信に関する設定は、［受信設定］で確認します。［受信設定］では次の項目の設定ができます。詳細や設定方法は、以下のページを参照してください。

本書 53 ページ「ファックスの設定変更」

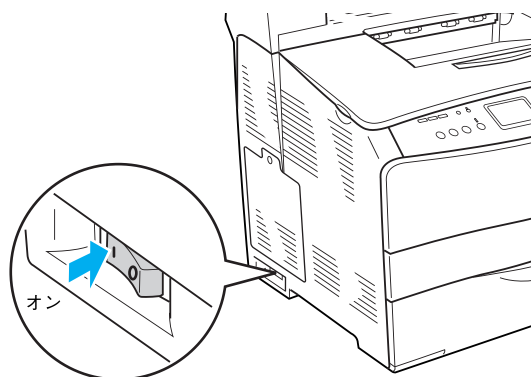
| 設定項目 | 内容 |
|---|---|
| 給紙用紙カセット | 出力用紙の給紙装置を選択します。 |
| 受信モード | 指定した時間、外付電話機を呼び出してから、本機が応答してファックスデータを受信する［自動切替］と、外付電話機の呼び出しを行わず、本機が自動的に応答してファックスデータを受信する［FAX 専用］と、外付電話機の呼び出し音を鳴らし続ける［電話専用］の受信モードを切り替えます。<br>［TAM］は、留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替わります。 |
| 外付電話呼出時間 | ［受信モード］で［自動切替］を選択した場合に、本機に接続されている電話機の呼び出し時間を設定します。呼び出し時間を過ぎると、本機が自動的に応答してファックスデータを受信できる状態にします。 |

# ファックス送信

## ファックス番号を入力して送信する

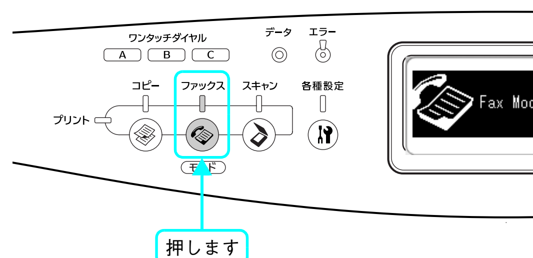
操作パネル上のテンキー（ダイヤルボタン）で送付先の番号を入力してファックスを送信する方法を説明します。

1 **電源をオン（ I ）にします。**




2 **［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



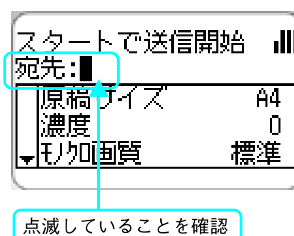

3 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

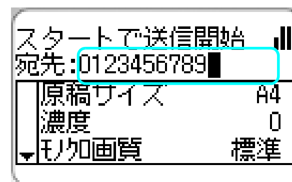
4 **［宛先］を選択します。**

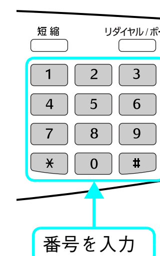
［宛先］の右横 " ▮ " マークが点滅していることを確認します。点滅していない場合は、［▲］ボタンを押して［宛先］を選択します。



## 5 送付先のファックス番号を入力します。

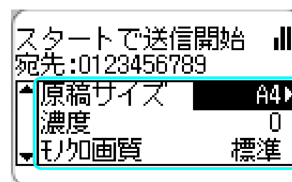
テンキー（ダイヤルボタン）を使って、番号を入力します。入力する番号を間違えた場合は、［◀］ボタンで戻るか、［リセット］ボタンで消去して戻ります。
［＊］キーを押すと「＊」、［#］キーを押すと「#」を入力します。

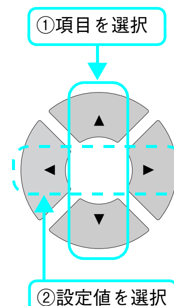



## 6 必要に応じて設定を行います。

設定する場合は、［▼］ボタンを押して設定項目に移ります。
［▲］または［▼］ボタンを押して設定する項目を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定値を選択します。



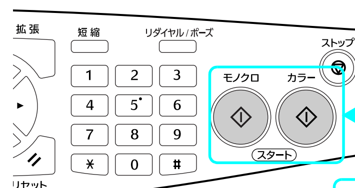




| 設定項目 | 説明 / 設定値 |
|---|---|
| 原稿サイズ | 送信する原稿サイズを指定します。 |
| | A4/LT（Letter）/LGL（Legal）*1 |
| 濃度 | 送付する際の濃度を指定します。<br>文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。 |
| | -3 ～ 0 ～ 3 |
| モノクロ画質 *2 | 送信する際の画質を指定します。 |
| | 標準 / 精細 / 高精細 / 写真 |
| ポーリング受信 | ポーリング受信する際［On］にします。<br>ポーリング受信の詳細については、以下のページを参照してください。<br>本書 49 ページ「ポーリング受信する」 |
| | On、Off |
| 海外送信モード | 海外に送信する際［On］にします。<br>海外にデータを送付するのに必要な通信回線の確立時間を確保するため、送信開始を通常より遅くします。 |
| | On、Off |

*1 LGL（Legal）を選択した場合、オートドキュメントフィーダからのみ原稿を読み取ります。
*2 カラーで送信する場合のカラー画質は［標準］のみとなり、設定できません。

## 7 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファックスされます。
送付先の機器に合わせて選択してください。




ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

## 短縮ダイヤルで送信する

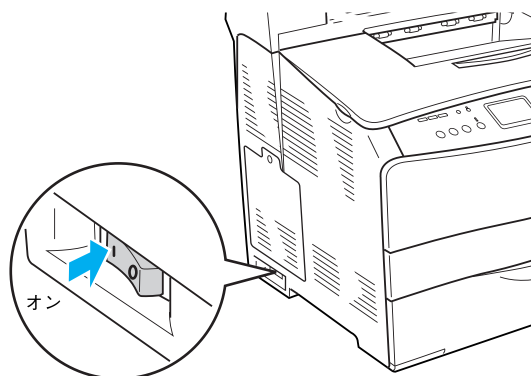
ここでは、「短縮ダイヤル」(最大 60 件)または「ワンタッチダイヤル」(最大 3 件)に登録されている宛先に送付する方法と、短縮ダイヤルに登録されている複数の宛先に、同報送信するグループダイヤルを説明します。

「短縮ダイヤル」、「ワンタッチダイヤル」、「グループダイヤル」を使用するには事前に登録が必要です。登録方法は、以下を参照してください。

- 操作パネルから「短縮ダイヤル」/「ワンタッチダイヤル」を登録する
  本書 59 ページ「宛先の登録方法」
- 添付のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」から「短縮ダイヤル」/「ワンタッチダイヤル」/「グループダイヤル」を登録する
  本書 59 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

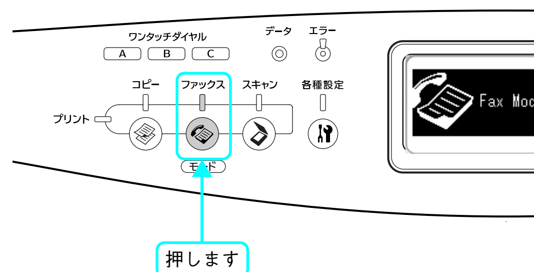
### 短縮ダイヤル

**1 電源をオン(I)にします。**




**2 [ファックス] ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。




**3 原稿をセットします。**

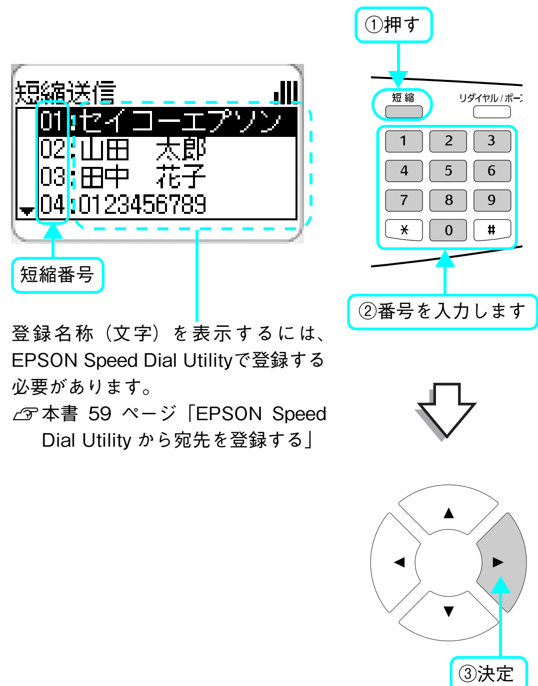
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする(LP-A500F のみ)」

## 4 短縮番号を選択します。

［短縮］ボタンを押して、テンキー（ダイヤルボタン）を使って短縮番号を入力するか、［▲］または［▼］ボタンで登録されている短縮番号を選択します。
登録情報を確認するには、［拡張］ボタンを押します。

選択が終了したら、［▶］ボタンを押します。

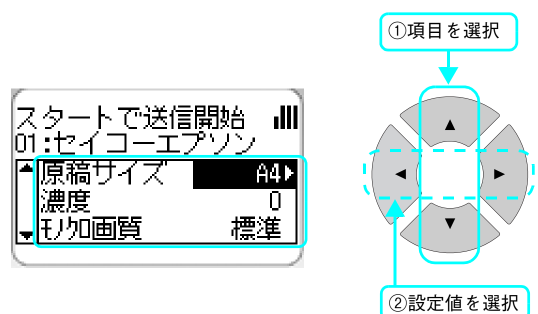



> **参考**
> 登録名称（文字）を表示するには、コンピュータから EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使って登録が必要です。操作パネルから登録した場合、宛先の番号が表示されます。
> ☞ 本書 59 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

## 5 必要に応じて品質の設定を行います。

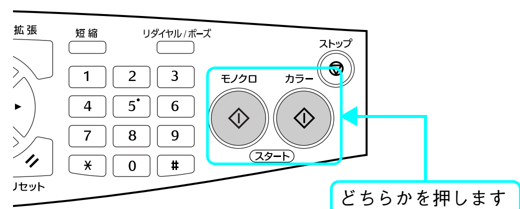
設定する場合は、［▼］ボタンを押して設定項目に移ります。
［▲］または［▼］ボタンを押して設定する項目を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定値を選択します。

各設定の詳細については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 37 ページ「ファックス番号を入力して送信する」の手順 5




## 6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファックスされます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

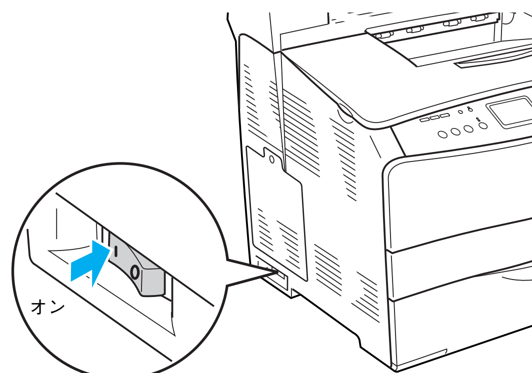



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

## ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルの場合、モノクロで原稿を送信します。

**1** **電源をオン（ I ）にします。**



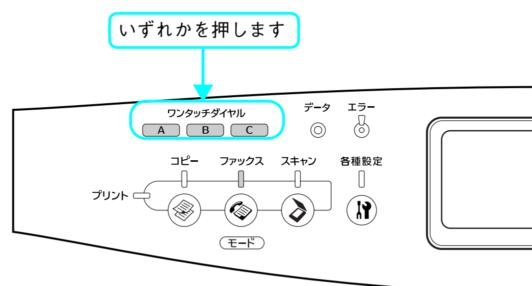

**2** **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

**3** **「ワンタッチダイヤル」を押して、原稿を送信します。**

送信先の番号が登録されている［A］、［B］、［C］ボタンのいずれかを押すと、原稿を送信を開始します。




**参考**

コピー中やスキャン中は、「ワンタッチダイヤル」を押しても送信されません。

ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

## グループダイヤル

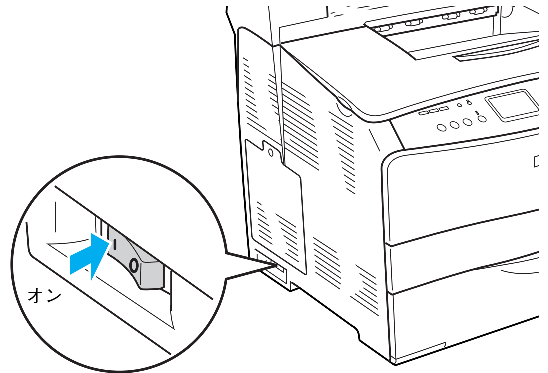
ここでは、あらかじめ登録されているグループダイヤルを使って送付する方法を説明します。

グループダイヤルへの登録は、添付のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」を使用します。詳細については、以下のページを参照してください。

本書 59 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

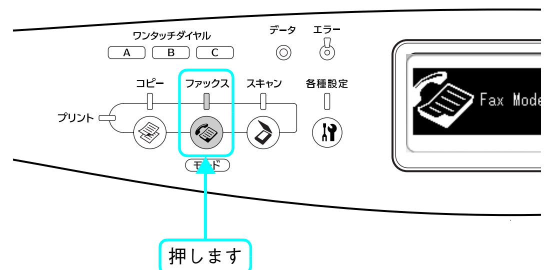
グループダイヤルの場合、モノクロで原稿を送信します。

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



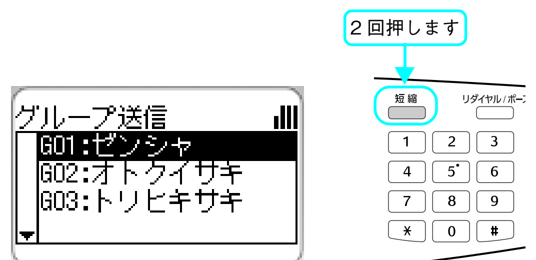

**3** **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

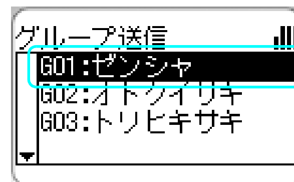
**4** **［短縮］ボタンを 2 回押します。**

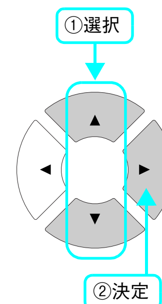
［グループ送信］画面が表示されます。



## 5 送信先を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して送付先を選択してから、［▶］ボタンを押します。



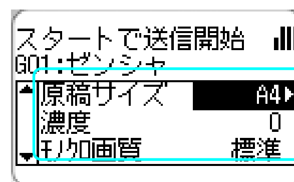



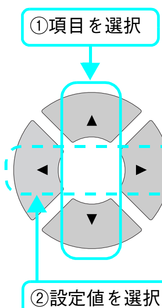

## 6 必要に応じて品質の設定を行います。

［▲］または［▼］ボタンを押して設定する項目を選択してから、［▶］または［◀］ボタンで設定値を選択します。

各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

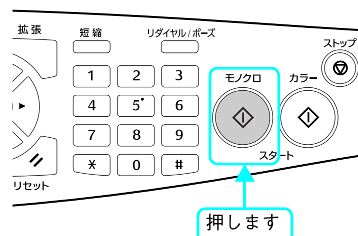
☞ 本書 37 ページ「ファックス番号を入力して送信する」の手順 5




## 7 ［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。

モノクロで原稿を送信します。

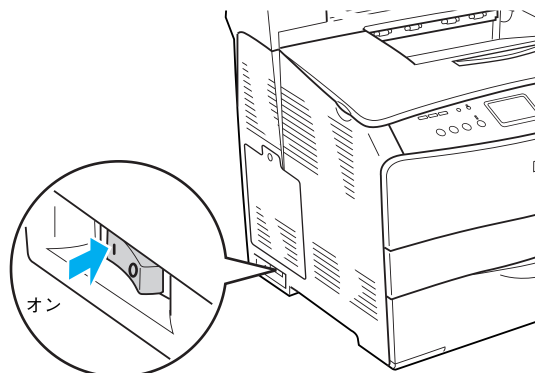



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

## 同じ宛先にもう一度送信(リダイヤル)する

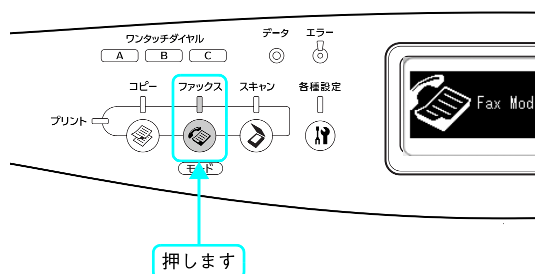
最後に送信した同じ宛先に、もう一度送信する方法（リダイヤル）を説明します。

**1　電源をオン（I）にします。**




**2　［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



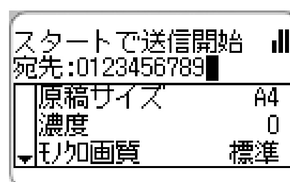

**3　原稿をセットします。**

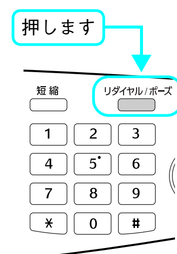
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

**4　［リダイヤル / ポーズ］ボタンを押します。**

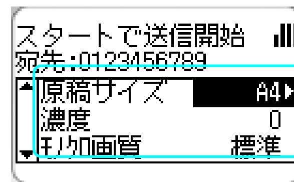
前回ファックスを送付した宛先が表示されます。



## 5 必要に応じて品質の設定を行います。

［▲］または［▼］ボタンを押して設定する項目を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定値を選択します。

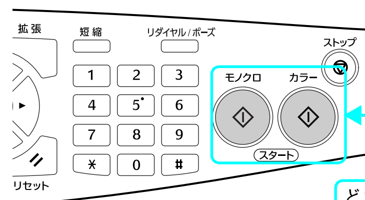



各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 37 ページ「ファックス番号を入力して送信する」の手順 5

## 6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファックスされます。
送付先の機器に合わせて選択してください。




ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

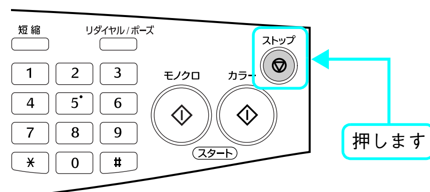
## 送信を中止する

送信を中止する方法と、本機に蓄積されている送信ジョブをキャンセルする方法について説明します。

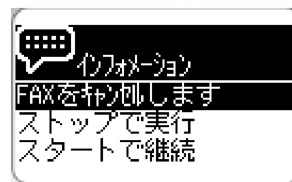
### 読み取り中に中止する

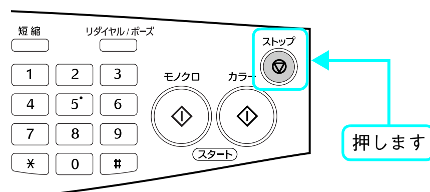
原稿の読み取り中には、［ストップ］ボタンを押して中止します。

**1** ［ストップ］ボタンを押します。




**2** 表示されるメッセージを確認して、もう一度［ストップ］ボタンを押します。



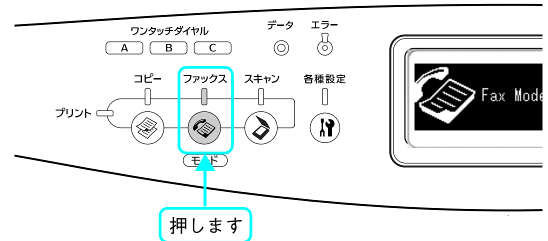



## 送信待ちのジョブを削除する

本機に蓄積されている送信待ちジョブを確認してから、削除します。

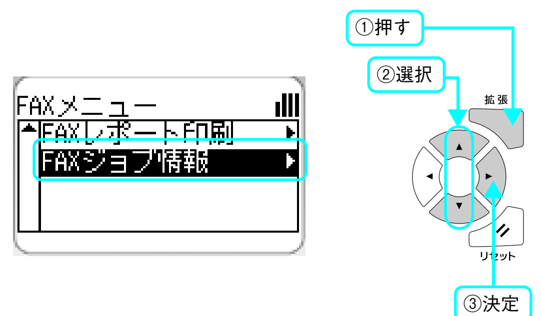
**1** **［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。




**2** **［拡張］ボタンを押してから、［FAX ジョブ情報］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX ジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**3** **［FAX 送信ジョブ情報］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 送信ジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**4** **一覧の中から削除する項目を選択してから、［リセット］ボタンを押します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して削除する項目を選択してから、［リセット］ボタンを押します。




**5** **［はい］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［はい］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




以上で送信ジョブの削除は終了です。

# ファックス受信

ここでは、ファックス受信の方法を説明します。

## 受信モードについて

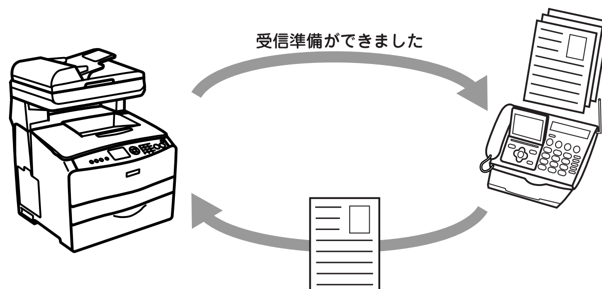
本機には、ファックスを受信する際の受信モードが 3 種類用意されています。

☞ 本書 53 ページ「ファックスの設定変更」

| 受信モード | 説明 |
|---|---|
| 自動切替 | 受信すると、外付け電話機の呼び出し音を指定秒数鳴らした後、本機が応答して送付されてきたファックスデータを受信します。<br>受信 → 外付電話機 指定回数呼び出し → 受話器を とる → 音声 ＜通話開始＞<br>受話器を とる → ファックスデータ ＜"ポー"発信音＞ → 受話器を持ったまま ［ファックス］ボタン*を押して ［スタート］ボタンを押す ＜ファックス受信開始＞<br>外付電話機 指定回数呼び出し → 受話器を とらない → 自動受信 ＜ファックス受信＞<br>* コピー中、スキャン中は、［ファックス］ボタンが有効になりません。 |
| FAX 専用 | 本機が自動的に応答して、送付されてきたファックスデータを受信します。<br>外付け電話機が接続されていても、呼び出し音は鳴りません。<br>受信 → 自動受信 ＜ファックス受信開始＞ |
| 電話専用 | 受信すると、外付け電話機の呼び出し音を鳴らします。<br>受信 → 外付電話機 呼び出し → 受話器を とる → 音声 ＜通話開始＞<br>受話器を とる → ファックスデータ ＜"ポー"発信音＞ → 受話器を持ったまま ［ファックス］ボタン*を押して ［スタート］ボタンを押す ＜ファックス受信開始＞<br>外付電話機 呼び出し → 受話器を とらない → 外付電話機 呼び出し続ける<br>* コピー中、スキャン中は、［ファックス］ボタンが有効になりません。 |
| TAM | 留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替わる機能です。 |

## ポーリング受信する

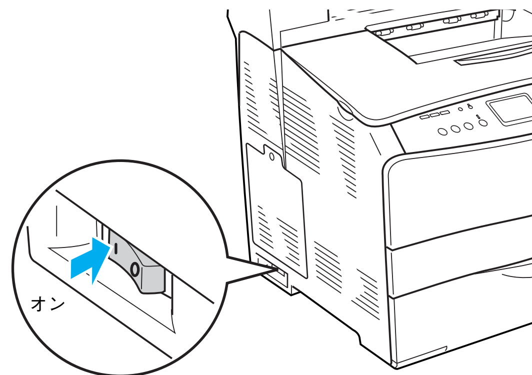
ポーリング受信とは相手側のファックスにあらかじめ蓄積された原稿を、受信側のファックスの操作によって取り出す機能です。ファックス情報サービスなどによく使われています。




ここでは、ポーリング受信方法を説明します。

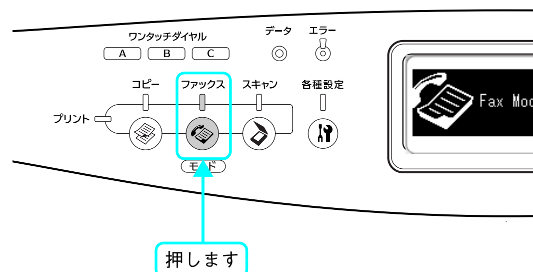
### ■ ポーリング受信方法

**1 電源をオン（I）にします。**



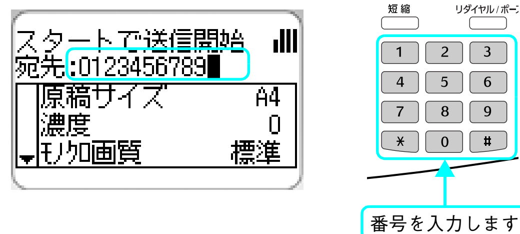

**2 ［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



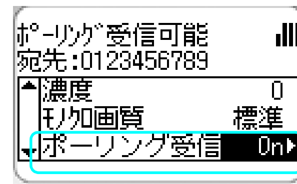

**3 相手先のファックス番号を入力します。**

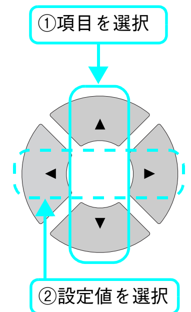
テンキー（ダイヤルボタン）を使って、番号を入力します。



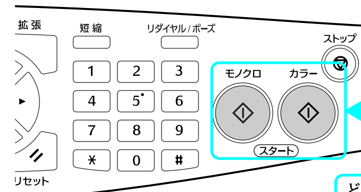
## 4 ［ポーリング受信］項目を［On］にします。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ポーリング受信］項目を選択してから、［▶］または［◀］ボタンで［On］を選択します。




## 5 発信音または音声ガイダンスに従って、［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。




以上でポーリング受信は終了です。

## ファックス受信の機能

受信データの用紙サイズが、本機にセットしてある用紙と異なる場合、以下のように自動的に分割･縮小して印刷されます。

| | | 受信データの原稿サイズ | | |
|---|---|---|---|---|
| | | A4 | Letter | Legal |
| 印刷用紙サイズ | A4 | ＜両端カット＞ | ＜両端カット＞ | ＜両端カット、分割＞ |
| | B5 | ＜分割、回転＞ | ＜分割、回転＞ | ＜分割、回転＞ |
| | Letter | ＜縮小＞ | | ＜分割＞ |
| | Legal | | | |

分割：2 ページに分割して印刷する
回転：回転して印刷する
縮小：横方向に縮小して印刷する
両端カット：両端をカットして印刷する

## 受信を中止する

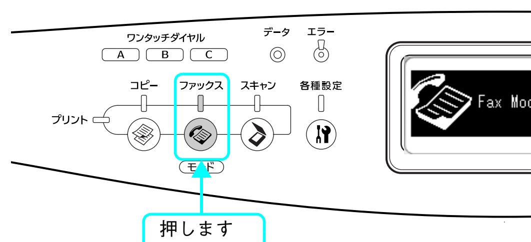
受信を中止したり、本機に蓄積されている受信ジョブをキャンセルする方法を説明します。

### 受信ジョブを削除する

本機に蓄積されている受信ジョブ（印刷待ちジョブ）を確認してから、削除します。

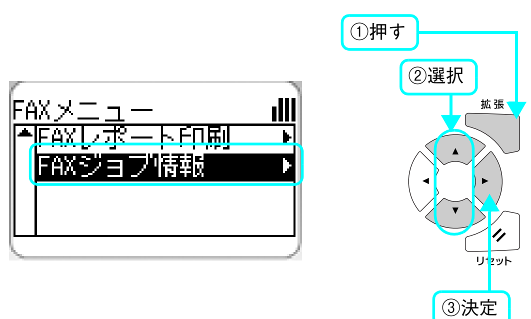
**1** ［ファックス］ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



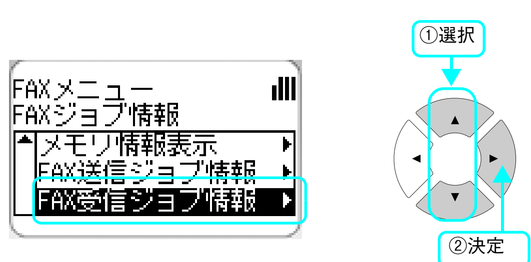

**2** ［拡張］ボタンを押してから、［FAX ジョブ情報］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX ジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



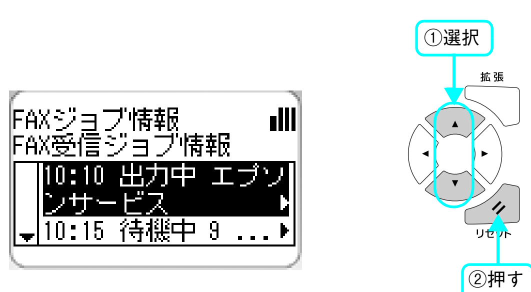

**3** ［FAX 受信ジョブ情報］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 受信ジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



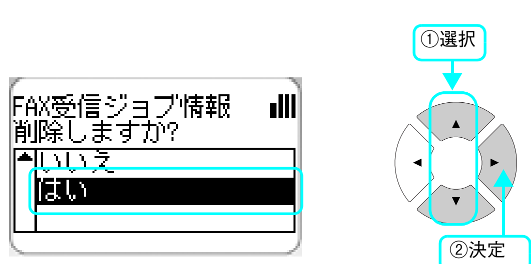

**4** 一覧の中から削除する項目を選択してから、［リセット］ボタンを押します。

［▲］または［▼］ボタンを押して削除する項目を選択してから、［リセット］ボタンを押します。




**5** ［はい］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［はい］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




以上で受信ジョブの削除は終了です。

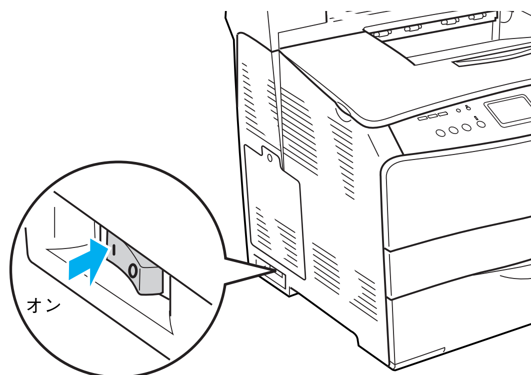
# ファックスの設定変更

ここでは、ファックスの設定の変更方法と、設定項目や設定値を説明します。

| | |
|---|---|
| 参考 | FAX 設定の変更は、本機のメモリに受信ジョブまたは送信ジョブが蓄積されていないことを確認してから行ってください。メモリにジョブが蓄積されている場合、設定変更できません。 |

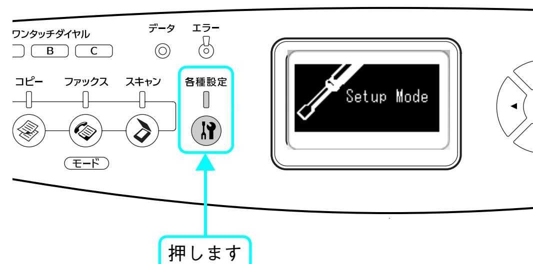
## ファックスの設定を変更する

**1　電源をオン（I）にします。**



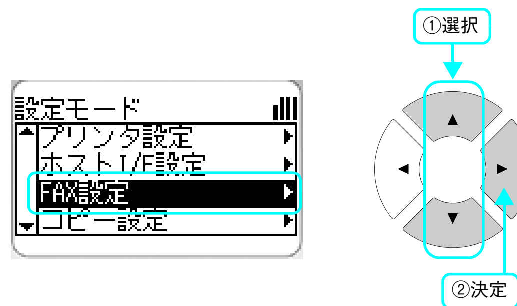

**2　［各種設定］ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3　［FAX 設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

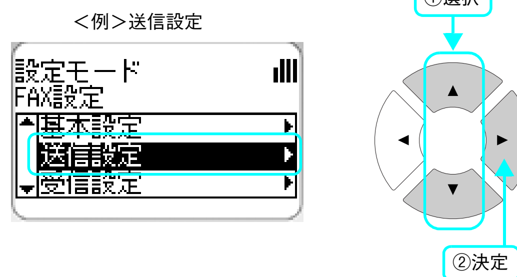



**4　［▲］または［▼］ボタンで変更する設定分類を選択してから、［▶］ボタンで決定します。**

詳細は以下のページを参照してください。

☞ 本書 54 ページ「設定項目一覧」

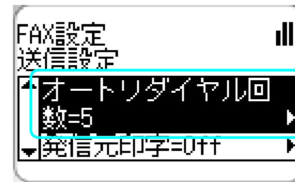
<例>送信設定

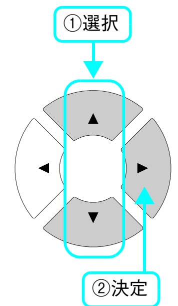


5 **［▲］または［▼］ボタンで項目を選択してから、［▶］ボタンで決定します。**

［◀］ボタンを押すと前画面に戻ります。

<例>オートリダイヤル回数




以上でファックスの設定変更は終了です。

FAX 設定の設定一覧については、以下を参照してください。

☞ 本書 54 ページ「設定項目一覧」

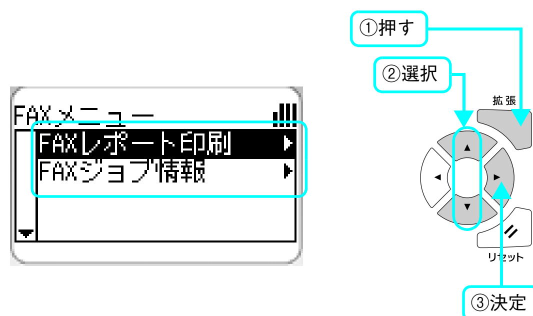
## 設定項目一覧

| 分類 | 設定項目 | 設定範囲） |
|---|---|---|
| 基本設定 | 回線種別 | PSTN、PBX |
| | ダイヤル種別 | トーン、10PPS、20PPS |
| | 自局番号 | 名称<br>添付の EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使用して、［名前］を 2 バイト文字で 16 文字（1 バイト文字で 32 文字）を登録します。 |
| | | 番号 ＜ 20 桁＞<br>テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号を入力します。<br>［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力できます。 |
| | スピーカ音量 | OFF、1、2、3 |
| | FAX レポート印刷設定 | 日本語、English |
| 送信設定 | オートリダイヤル回数 | 送付先の機器が通話中などで接続できない場合、指定時間待った後、再びダイヤルする回数を設定します。 |
| | | 0 ～ 99 |
| | 発信元印字 | 送付データの上部に、年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数（分数表示）を入れます。 |
| | | On、Off |

| 分類 | 設定項目 | 設定範囲） |
|---|---|---|
| 受信設定 | 給紙用紙カセット | 出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。［自動］に設定すると受信した原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。 |
| | | 自動、MP トレイ、カセット |
| | 受信モード | 指定した時間、外付電話機を呼び出してから、本機が応答してファックスデータを受信する［自動切替］と、外付電話機の呼び出しを行わず、本機が自動的に応答してファックスデータを受信する［FAX 専用］と、外付電話機の呼び出し音を鳴らし続ける［電話専用］の受信モードを切り替えます。<br>［TAM］は、留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替わる機能です。 |
| | | 自動切替、FAX 専用、電話専用、TAM |
| | 外付電話呼出時間 | ［受信モード］で［自動切替］を選択した場合に、本機に接続されている電話機の呼び出し秒数を設定します。呼び出し秒数を過ぎると、本機が自動的に応答してファックスデータを受信できる状態にします。 |
| | | 1 ～ 99 |
| 短縮ダイヤル設定 | 個別短縮ダイヤル | 短縮ダイヤルの登録 / 変更 / 削除を行います。 |
| | ワンタッチダイヤル | ワンタッチダイヤルの登録 / 変更 / 削除を行います。 |
| | 短縮ダイヤルオールクリア | 全短縮ダイヤル情報の一括クリアします。 |
| 通信管理設定 | 通信管理レポート | 通信管理レポートを印刷します。［On］にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。 |
| | | Off、On |
| | 送信レポート | 送信結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。［エラー時のみ］にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。<br>ただし、グループ送信結果はレポートとして印刷されません。 |
| | | 常時、エラー時のみ、なし |
| | 同報レポート | グループ送信の結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。［エラー時のみ］にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。 |
| | | 常時、エラー時のみ、なし |
| FAX 工場出荷時設定 | 工場出荷時設定 | －<br>説明：FAX 設定を工場出荷時の設定に戻します。 |

## 拡張メニュー

ファックスモード中に、［拡張］ボタンを押すと拡張ファックスメニューが表示されます。拡張メニューでは以下の設定ができます。

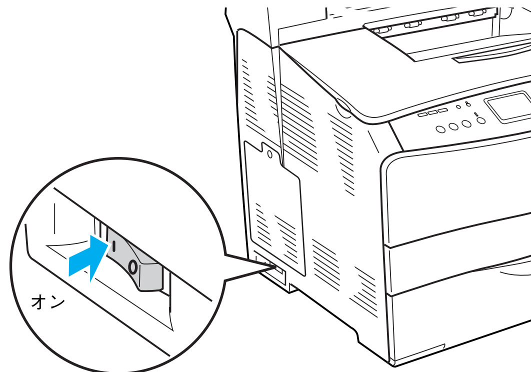



| 分類 | 設定項目 | 内容 |
|---|---|---|
| FAXレポート印刷 | 短縮ダイヤルリスト | ワンタッチダイヤル・グループダイヤル・短縮ダイヤルのリスト一覧を印刷します。<br>本書 193 ページ「短縮ダイヤルリストの印刷」 |
| | 通信管理レポート | 通信管理レポートを印刷します。<br>本書 192 ページ「通信管理レポートの印刷」 |
| | FAX 設定リスト | FAX 設定リストを印刷します。<br>本書 194 ページ「FAX 設定リストの印刷」 |
| | メモリジョブ情報 | メモリ蓄積されたジョブ情報を印刷します。<br>本書 195 ページ「メモリジョブ情報の印刷」 |
| FAX ジョブ情報 | メモリ情報表示 | メモリ残量のパーセント表示（0 ～ 100） |
| | FAX 送信ジョブ情報 | 送信待ちジョブのリストを表示します。<br>本書 47 ページ「送信待ちのジョブを削除する」 |
| | FAX 受信ジョブ情報 | 印刷待ちジョブの一覧を表示します。<br>本書 52 ページ「受信ジョブを削除する」 |

## 工場出荷時の設定に戻す

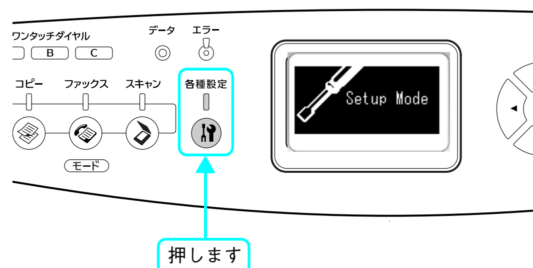
ここでは、ファックス機能に関する設定項目を、工場出荷時の設定に戻す方法を説明します。

**1** **電源をオン（ I ）にします。**



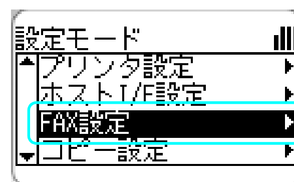

**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

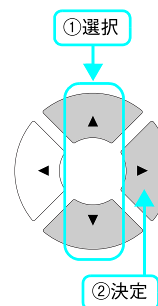
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3** **［FAX 設定］を選択します。**

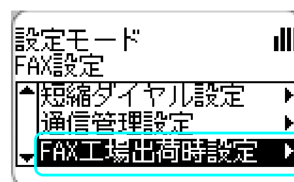
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

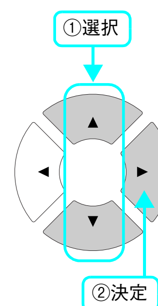



**4** **［FAX 工場出荷時設定］を選択します。**

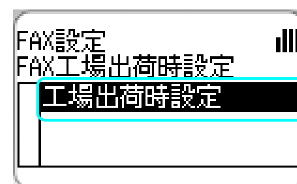
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 工場出荷時設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

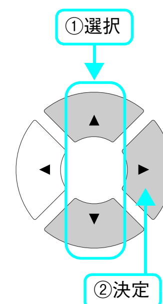


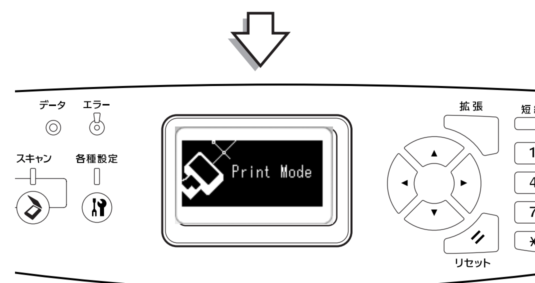
## 5 ［工場出荷時設定］が表示されていることを確認してから、［▶］ボタンを押します。

［◀］ボタンを押すと前画面に戻ります。




ファックス機能が出荷時の設定に設定されると、操作パネルは［プリントモード］になります。



# 宛先の登録方法

［個別短縮ダイヤル］、［グループダイヤル］、［ワンタッチダイヤル］の宛先の番号登録には、コンピュータ（Windows 環境のみ）のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」から登録する方法と、操作パネルから登録する方法があります。

EPSON Speed Dial Utility では、自局の名前や宛先の名前を登録することもできます。

> **！注意** ファックス操作中（ファックスモード、各種設定モード）は、EPSON Speed Dial Utility を使って宛先を変更しないでください。

## EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する

「EPSON Speed Dial Utility」は、［個別短縮ダイヤル］、［ワンタッチダイヤル］、［グループダイヤル］の宛先の登録ができるアプリケーションソフトです。通常は、プリンタドライバなどと一緒にコンピュータにインストールされます。
ここでは、「EPSON Speed Dial Utility」のみをインストールする手順を説明します。

### システム条件

| | |
|---|---|
| 対象 OS | Windows 98 Second Edition（SE）/98/Me/2000/XP のいずれかがインストールされているコンピュータ、または Windows 98 以降の OS がインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ |
| CPU | Pentium II 233Mhz 以上 |
| メモリ | 128MB 以上 |
| 表示 | 800 × 600 ドット以上<br>256 色以上 |

### インストール方法

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

**1** **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

**2** **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

**3** **画面の内容を確認して、[ 続ける ] をクリックします。**

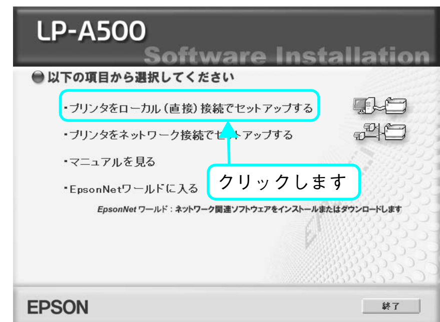
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。

> **参考**
> **右の画面が表示されないときは**
> ［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。



4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して、[同意する] をクリックします。

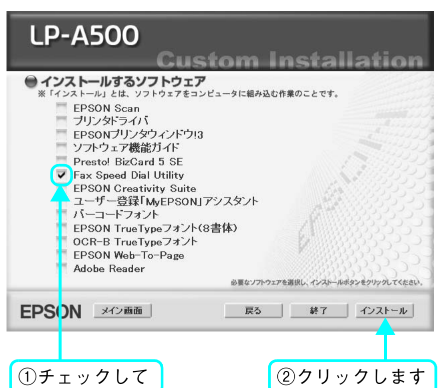
5 [プリンタをローカル(直接)接続でセットアップする] をクリックします。




6 [選択画面] をクリックします。




7 [Fax Speed Dial Utility] のみにチェックを付け、[インストール] をクリックします。




8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

9 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[ 終了 ] をクリックします。




以上で EPSON Speed Dial Utility のインストールは終了です。

## 起動の仕方

「EPSON Speed Dial Utility」は以下のように起動します。

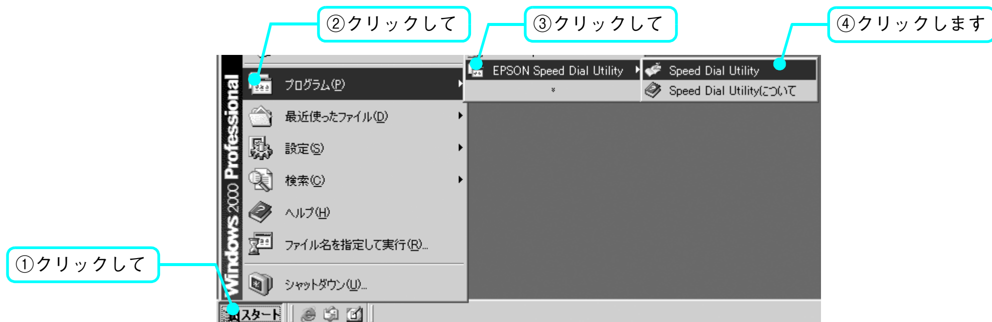
### Windows XP

［スタート］－［すべてのプログラム］－［EPSON Speed Dial Utility］－［Speed Dial Utility］をクリックします。




### Windows 98/98SE/ME/2000

［スタート］－［プログラム］－［EPSON Speed Dial Utility］－［Speed Dial Utility］をクリックします。




## 使い方

EPSON Speed Dial Utility では、宛先の登録、登録内容の変更などができます。使い方については、「EPSON Speed Dial Utility」のヘルプを参照してください。



**！注意**

**「EPSON Speed Dial Utility」を実行する場合の注意点**

- ファックス操作中（ファックスモード、各種設定モード）は、EPSON Speed Dial Utility を使って宛先を変更しないでください。
- ネットワーク接続で使用する場合は、［設定］項目の［通信経路設定］を「Network」に変更してから、［IP アドレス］を指定してください。
- 通信中（データのアップロード / ダウンロード）は、コンピュータから印刷を行わないでください。
- EPSON プリンタウィンドウ!3 が起動している場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 を終了してください。

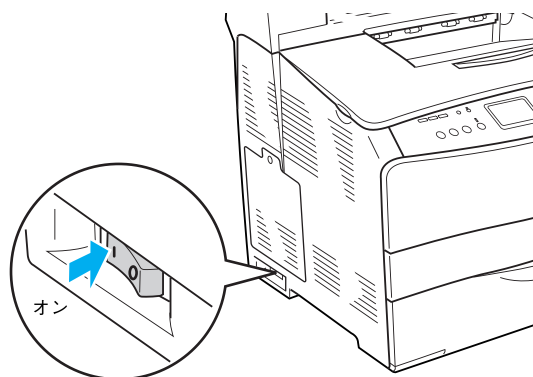
## 操作パネルから宛先を登録する

操作パネルから［個別短縮ダイヤル］、［ワンタッチダイヤル］を登録する方法を説明します。

### 個別短縮ダイヤルの登録

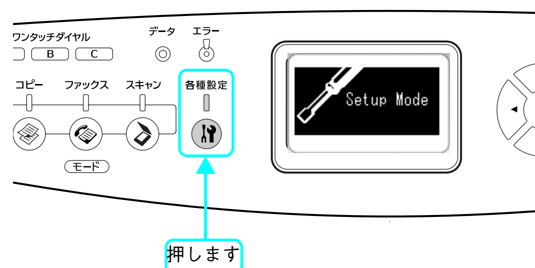
短縮ダイヤルは、最大 60 件登録することができます。

1 **電源をオン（I）にします。**



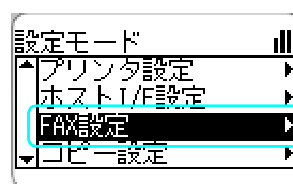

2 **［各種設定］ボタンを押します。**

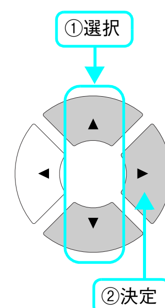
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




3 **［FAX 設定］を選択します。**

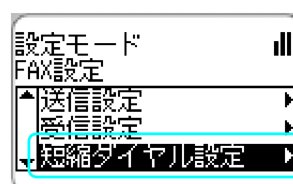
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

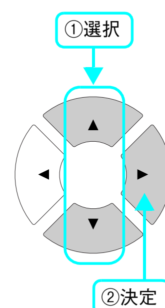



4 **［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

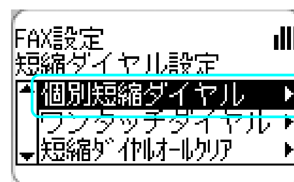
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

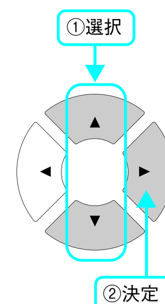


## 5 ［個別短縮ダイヤル］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［個別短縮ダイヤル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

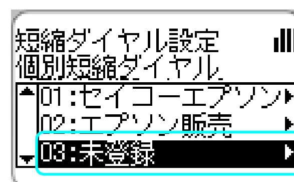


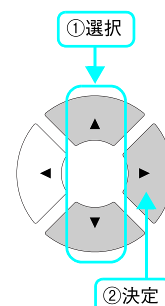




## 6 ［未登録］と表示されている番号を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［未登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。
［未登録］と表示されない場合は、すべての短縮ダイヤルが登録済みです。不要な短縮ダイヤルを削除してください。
☞ 本書 71 ページ「選択して削除」

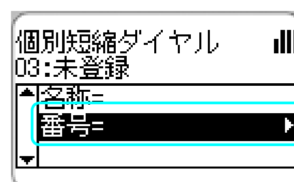
登録済みの短縮ダイヤルを変更することができます。
☞ 本書 66 ページ「個別短縮ダイヤルの変更」

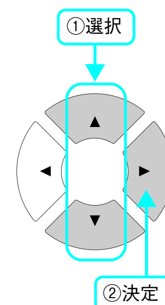



## 7 ［番号］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［番号］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**参考**

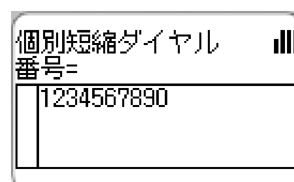
［名称］に文字を表示するには、コンピュータからEPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使って登録してください。
☞ 本書 59 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

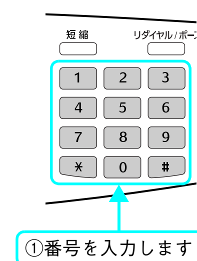
## 8 登録する電話番号を入力します。

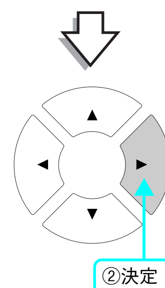
テンキー（ダイヤルボタン）で番号を入力します。
入力が終了したら、［▶］ボタンを押します。

入力する番号を間違えた場合は、［◀］ボタンを押して戻るか、［リセット］を押して消去して戻ります。

［＊］キーを押すと「＊」、［#］キーを押すと「#」を入力します。



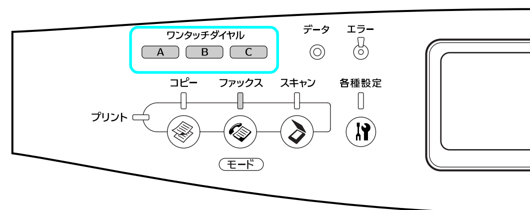



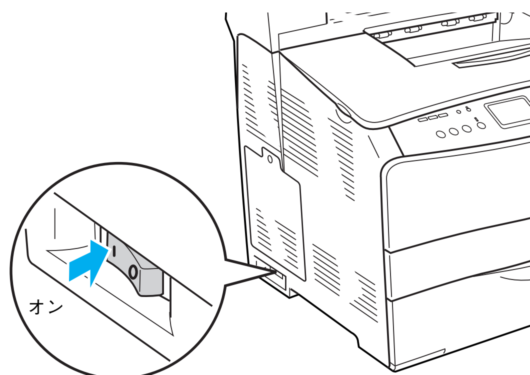

設定が終了すると個別短縮ダイヤルの一覧画面に戻ります。

## ワンタッチダイヤルの登録

ワンタッチダイヤルは、操作パネル上の［A］、［B］、［C］ボタンにすでに登録されている短縮ダイヤルを割り当てることができます。

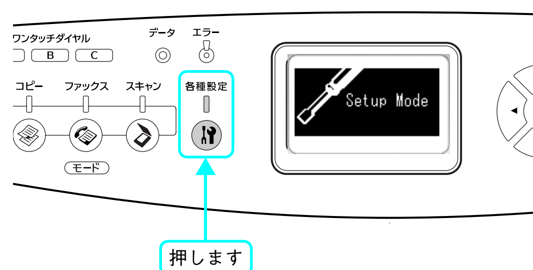



**1** **電源をオン（I）にします。**



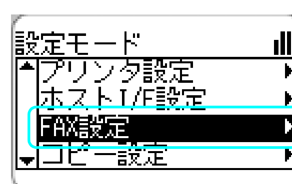

**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

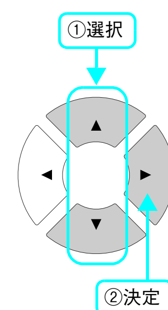
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3** **［FAX 設定］を選択します。**

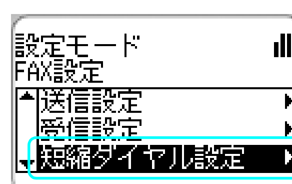
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

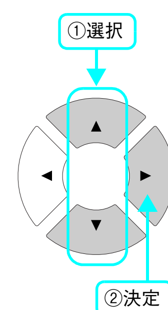



**4** **［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

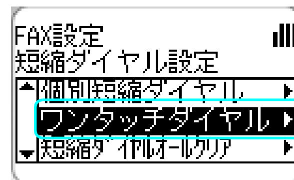
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

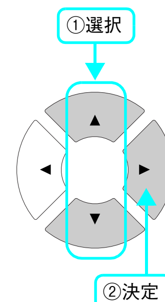


## 5 ［ワンタッチダイヤル］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ワンタッチダイヤル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



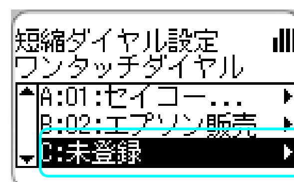



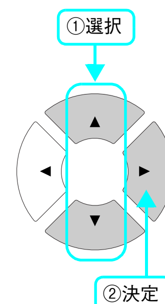

## 6 ［未登録］のワンタッチダイヤルを選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［未登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

登録済みのワンタッチダイヤルを変更することができます。

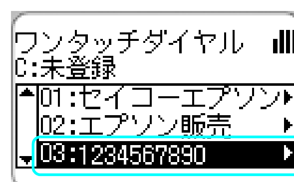
本書 69 ページ「ワンタッチダイヤルの変更」

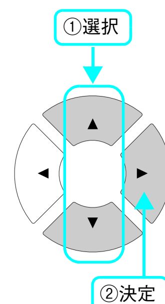



## 7 短縮ダイヤル一覧から、ワンタッチダイヤルに登録する番号を選択します。

登録する番号を選択して、［▶］ボタンを押します。



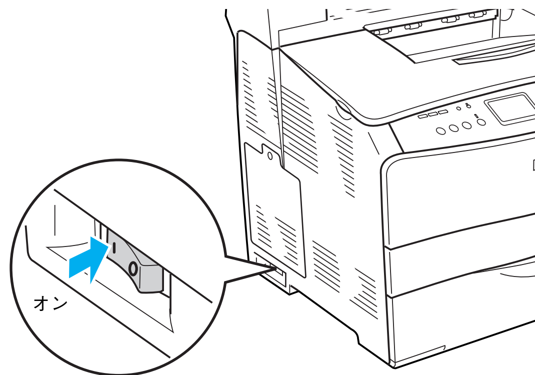

設定が終了するとワンタッチダイヤルの一覧画面に戻ります。

## 操作パネルから宛先番号を変更する

操作パネルから［個別短縮ダイヤル］の登録番号を変更する方法を説明します。

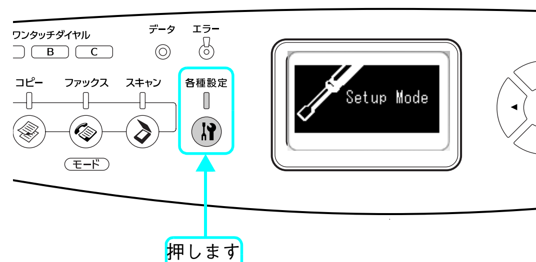
### 個別短縮ダイヤルの変更

**1** **電源をオン（ I ）にします。**



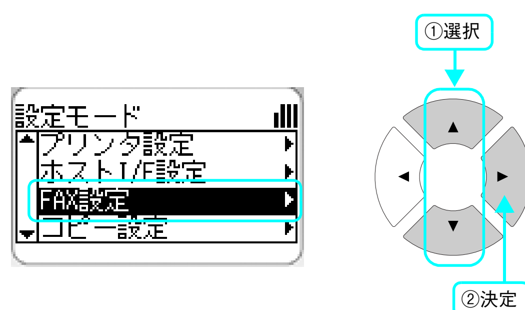

**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



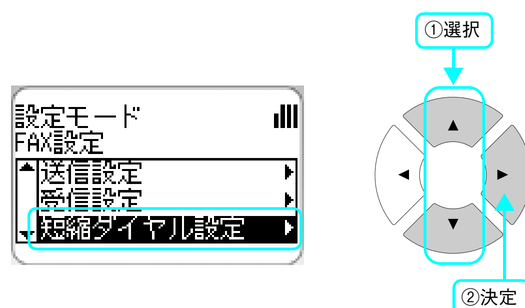

**3** **［FAX 設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



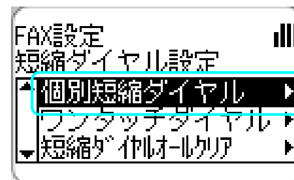

**4** **［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

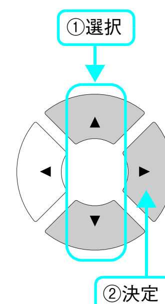
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



## 5 ［個別短縮ダイヤル］を選択します。

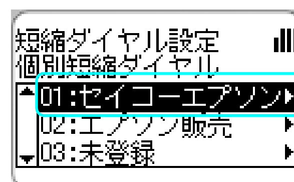
［▲］または［▼］ボタンを押して［個別短縮ダイヤル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

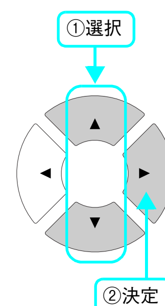



## 6 変更する登録を選択します。

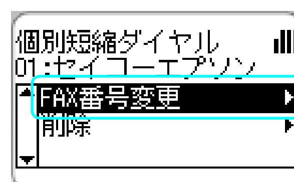
［▲］または［▼］ボタンを押して変更する登録を選択してから、［▶］ボタンを押します。

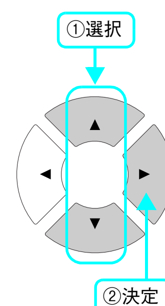



## 7 ［FAX 番号変更］を選択します。

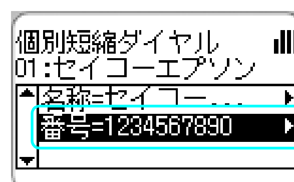
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 番号変更］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

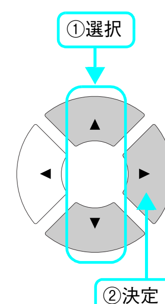



## 8 ［番号］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［番号］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



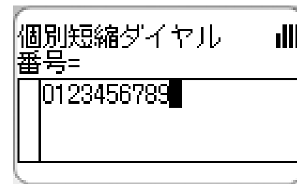

**参考**

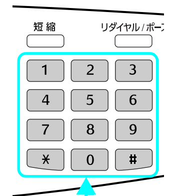
［名称］の文字列は操作パネルから変更できません。
変更するには、コンピュータから EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使って変更してください。

☞ 本書 59 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

## 9 変更する電話番号を入力します。

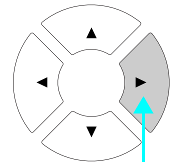
［◀］ボタンを押して変更する番号まで戻るか、［リセット］を押して番号を消去して戻り、テンキー（ダイヤルボタン）で番号を入力します。
［＊］キーを押すと「＊」、［#］キーを押すと「#」を入力します。
入力が終了したら、［▶］ボタンを押します。





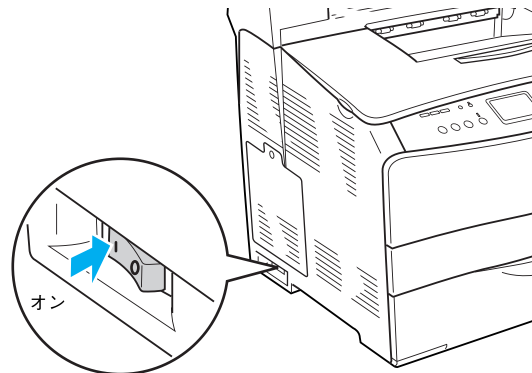





設定が終了すると個別短縮ダイヤルの一覧画面に戻ります。

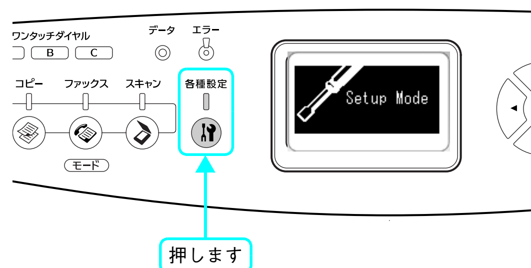
## ワンタッチダイヤルの変更

**1** **電源をオン（I）にします。**



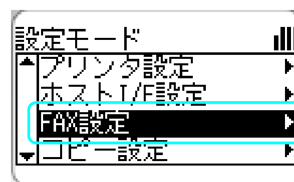

**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

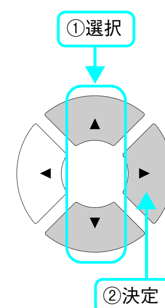
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3** **［FAX 設定］を選択します。**

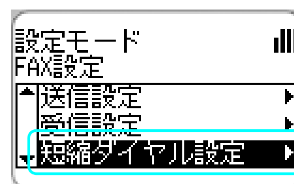
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

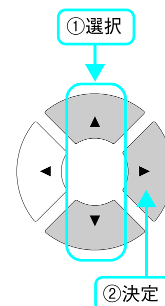



**4** **［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

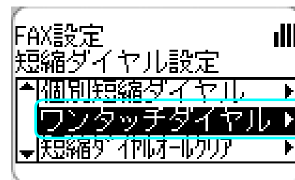
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

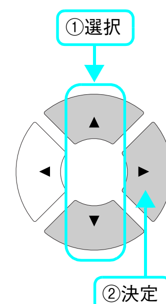


## 5 ［ワンタッチダイヤル］を選択します。

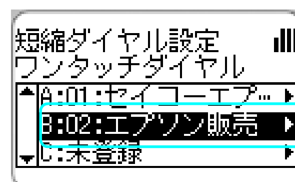
［▲］または［▼］ボタンを押して［ワンタッチダイヤル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

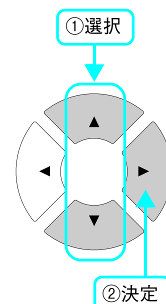



## 6 変更するワンタッチダイヤル（[A]、[B]、[C]）を選択します。

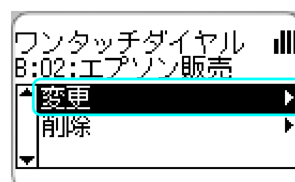
［▲］または［▼］ボタンを押して［A］、［B］、［C］のいずれかを選択してから、［▶］ボタンを押します。

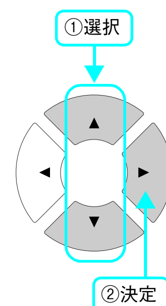



## 7 ［変更］を選択します。

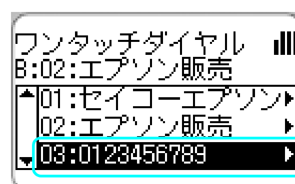
［▲］または［▼］ボタンを押して選択してから、［▶］ボタンを押します。

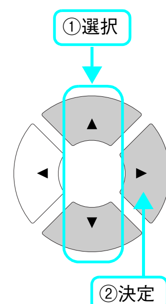



## 8 短縮ダイヤル一覧から、ワンタッチダイヤルに登録する番号を選択します。

登録する番号を選択して、［▶］ボタンを押します。



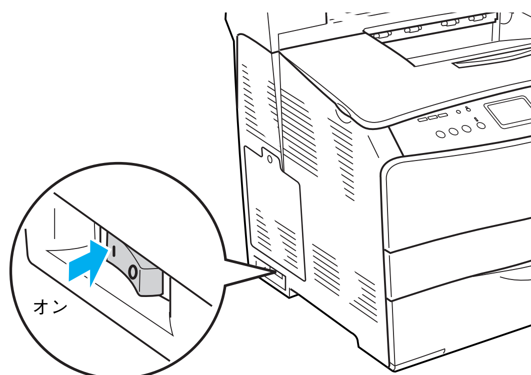

変更が終了するとワンタッチダイヤルの一覧画面に戻ります。

## 操作パネルから宛先を削除する

操作パネルから［個別短縮ダイヤル］、［グループダイヤル］、［ワンタッチダイヤル］を削除する方法を説明します。
削除方法には、宛先を選択して削除する方法と、登録されているファックス宛先をすべて削除する方法があります。

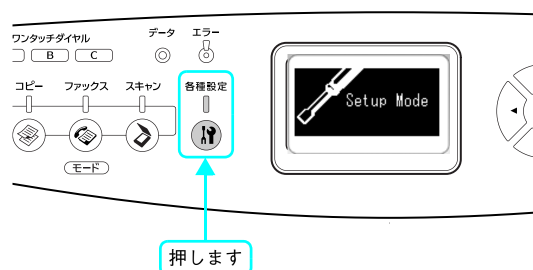
### 選択して削除

**1 電源をオン（ I ）にします。**



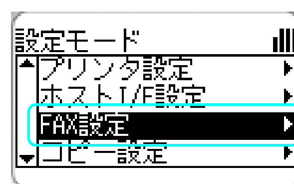

**2 ［各種設定］ボタンを押します。**

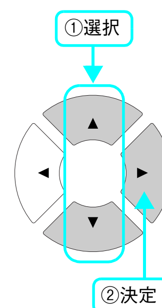
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3 ［FAX 設定］を選択します。**

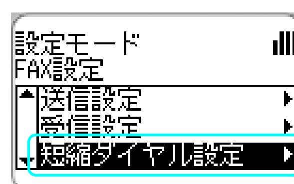
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

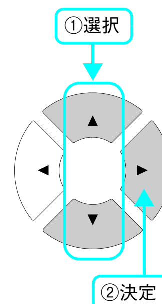



**4 ［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

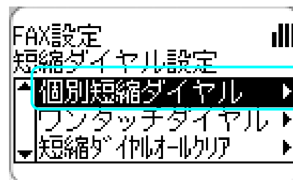


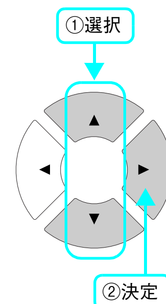



5 ［個別短縮ダイヤル］、［ワンタッチダイヤル］から削除する宛先が登録されている項目を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して項目を選択してから、［▶］ボタンを押します。

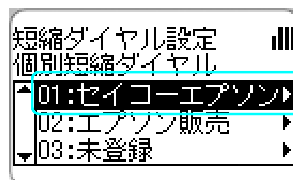
＜例＞個別短縮ダイヤル

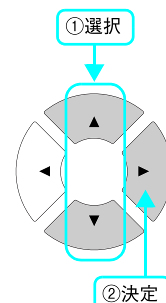



6 削除する宛先を選択します。

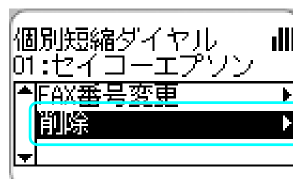
［▲］または［▼］ボタンを押して削除する宛先を選択してから、［▶］ボタンを押します。

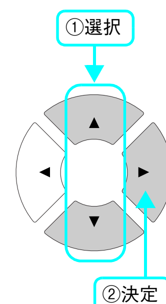



7 ［削除］を選択します。

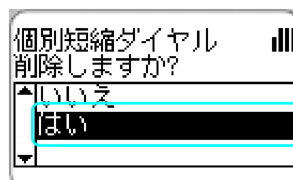
［▲］または［▼］ボタンを押して［削除］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

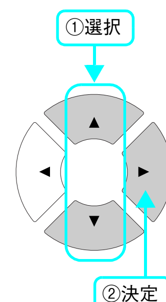



8 削除します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［はい］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

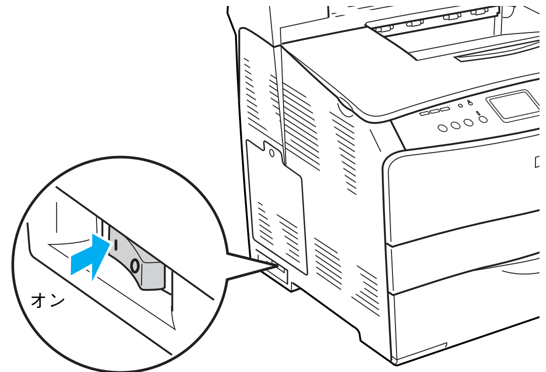



以上で削除は終了です。

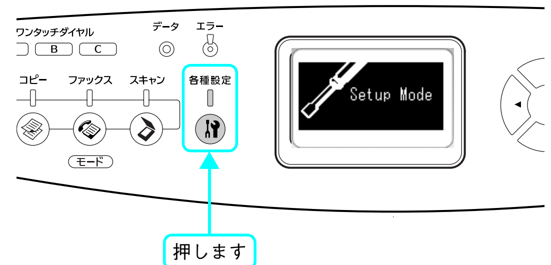
## すべて削除

**1** **電源をオン（I）にします。**



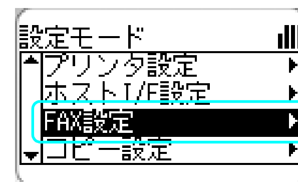

**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

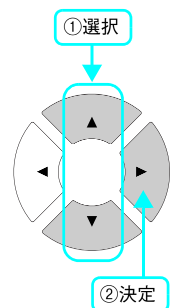
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3** **［FAX 設定］を選択します。**

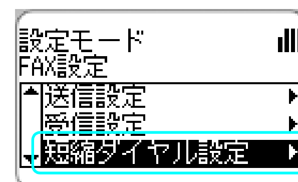
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

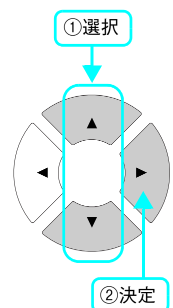



**4** **［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

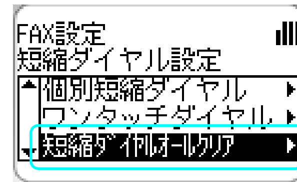
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

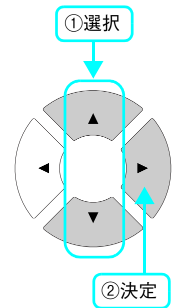


## 5 ［短縮ダイヤルオールクリア］を選択します。

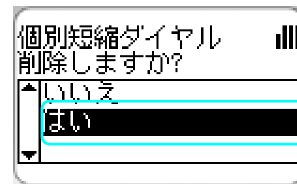
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤルオールクリア］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

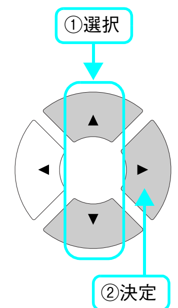



## 6 短縮ダイヤルに登録されているすべての番号の削除を実行します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［はい］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




以上で削除は終了です。

# 4 スキャン

スキャン機能について説明します。

# スキャンをする前に

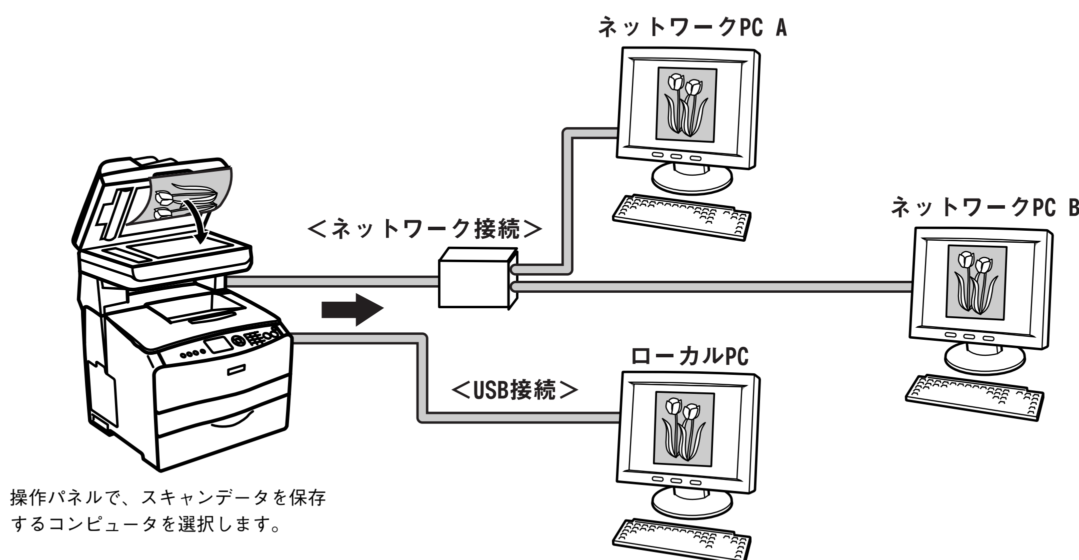
本機では、操作パネルの操作でスキャンする方法と、コンピュータ上の EPSON Scan（TWAIN 規格のスキャナドライバ）からスキャンする 2 通りの方法があります。本書では、操作パネルからスキャンする方法を説明します。

コンピュータからスキャンする方法については、以下を参照してください。

☞『ソフトウェア機能ガイド』（for Windows）/（for Mac OS）

## 操作パネルでスキャンするために

本機の原稿台またはオートシートフィーダにセットされた原稿を、本機に接続されている Windows 環境または Mac OS X 環境のコンピュータへデータとして保存できます。




操作パネルからスキャンするためには、本機に接続されている Windows 環境または Mac OS X 環境のコンピュータに必ずアプリケーションソフト「EPSON Creativity Suite」と EPSON Scan（スキャナドライバ）がインストールされている必要があります。

また、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用する場合は、上記の他に「PageManager For EPSON」が必要となります。

## アプリケーションをインストールする

通常「EPSON Creativity Suite」は、EPSON Scan（スキャナドライバ）やプリンタドライバなどと一緒にコンピュータにインストールされます。ただし、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用する場合に必要な「PageManager For EPSON」は、専用の CD-ROM からインストールする必要があります。

ここでは、「EPSON Creativity Suite」のみを選択してインストールする方法と、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用するための「PageManager For EPSON」のインストール方法を説明します。

☞ 本書 77 ページ「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Windows）」
☞ 本書 79 ページ「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Mac OS X）」
☞ 本書 81 ページ「「PageManager For EPSON」のインストール方法（Windows）」

## システム条件

| | |
|---|---|
| Windows | Windows 98 Second Edition（SE）/98/Me/2000/XP のいずれかがインストールされているコンピュータ、または Windows 98 以降の OS がインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ |
| Mac OS X | Mac OS X v10.2、v10.3 |

## 「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Windows）

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **画面の内容を確認して、[ 続ける ] をクリックします。**

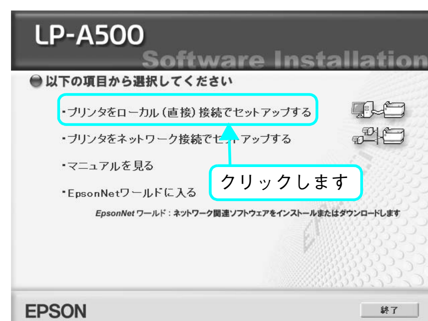
ウィルスチェックプログラムの実行中は、[ インストール中止 ] をクリックして、手順 1 からやり直します。

> 参考
> **右の画面が表示されないときは**
> ［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。




4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認してから、［同意する］をクリックします。**

5 **［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。**



**6** ［選択画面］をクリックします。




**7** ［EPSON Creativity Suite］にチェックを付け、［インストール］をクリックします。




**8** 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

**9** 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［終了］をクリックします。




以上で EPSON Creativity Suite のインストールは終了です。

## 「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Mac OS X）

管理者権限をお持ちの方がインストールを行ってください。

**1** **インストールするドライブが HFS+ 形式でフォーマットされたドライブか確認します。**
UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。

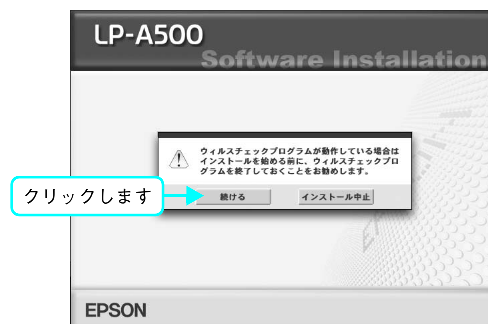
**2** **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

**3** **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

**4** **インストーラ（Mac OS X 用）を起動します。**

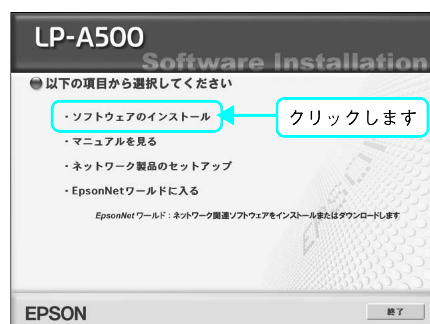



**5** **画面の内容を確認して、[ 続ける ] をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムの実行中は、[ インストール中止 ] をクリックして、手順 3 からやり直します。




**6** **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認してから、［同意する］をクリックします。**

**7** **［ソフトウェアのインストール］をクリックします。**



8 ［選択画面］をクリックします。



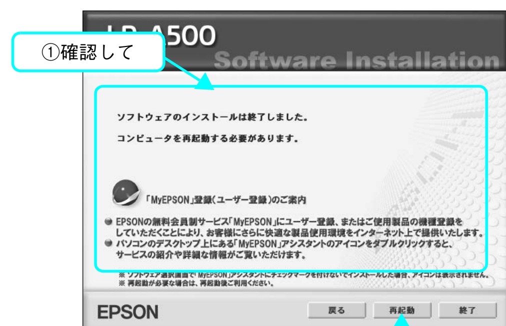

9 ［EPSON Creativity Suite］にチェックを付け、［インストール］をクリックします。




10 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

11 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［再起動］をクリックします。

［再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。




以上で EPSON Creativity Suite のインストールは終了です。

## 「PageManager For EPSON」のインストール方法（Windows）

「PageManager For EPSON」は、ネットワーク接続（Windows 環境のみ）で使用するために必要なアプリケーションです。
Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

**1** ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

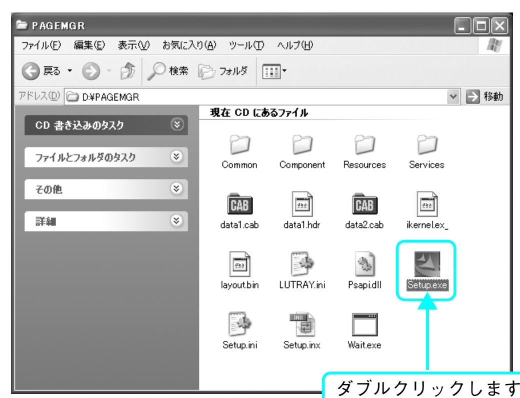
**2** コンピュータに『PageManager』が収録された CD-ROM をセットします。

**3** ［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

**4** ［PAGEMGR］フォルダ内の［SETUP.EXE］をダブルクリックします。

［PageManager For EPSON セットアップ］画面が表示され、インストールが自動的に始まります。

<例：Windows XP >



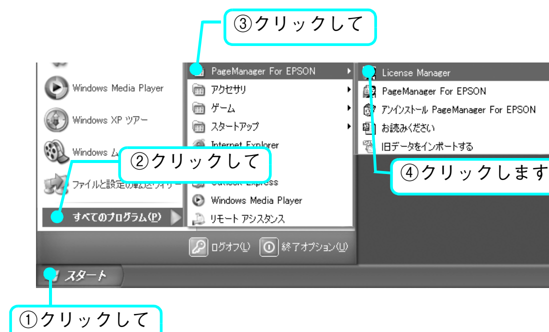

※ お使いの環境により画面が異なります。

［PageManager For EPSON セットアップ］画面が閉じたら、インストール終了です。

**5** インストールした［PageManager For EPSON］の「License Manager」を起動します。

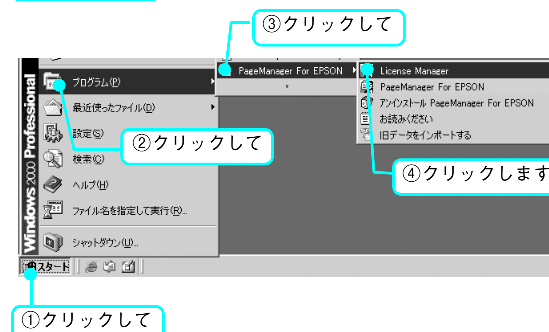
**Windows XP**

［スタート］ー［すべてのプログラム］ー［PageManager For EPSON］ー［Licence Manager］をクリックします。



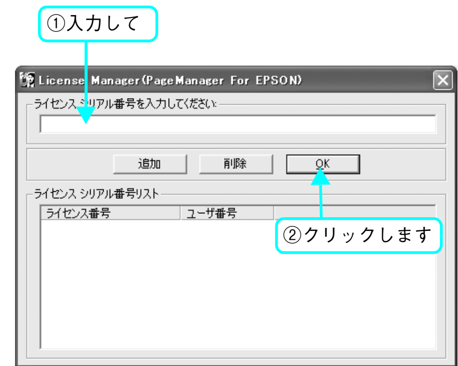

**Windows 98/98SE/ME/2000**

［スタート］ー［プログラム］ー［PageManager For EPSON］ー［Licence Manager］をクリックします。



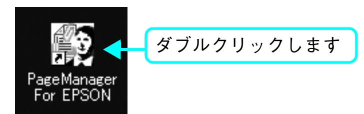
## 6 右の画面が表示されたら、ライセンスシリアル番号を入力して、［OK］をクリックします。

ライセンスシリアル番号は、PageManager をインストールするコンピュータごとにそれぞれ異なった番号を入力する必要があります。
購入時では、3 ライセンスが付与されていますが、4 台以上のコンピュータにPageManagerをインストールする場合は、シリアルライセンス番号が記入されているシートの連絡先を参照して、追加分のライセンスを購入してください。

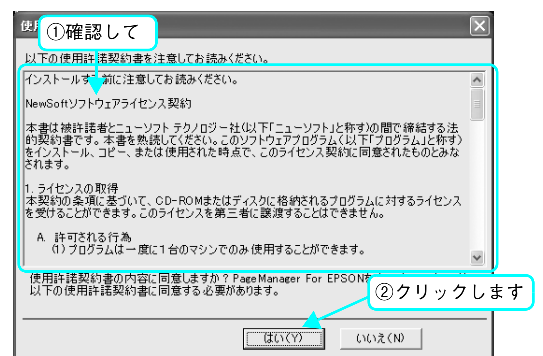



## 7 PageManager For EPSON を起動します。

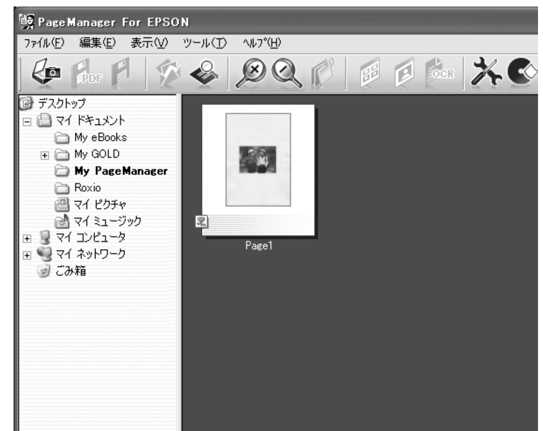
デスクトップの［PageManager FOR EPSON］アイコンをダブルクリックします。




## 8 使用許諾契約書の内容を確認して、[ はい ] をクリックします。




## 9 PageManager For EPSON が起動したことを確認します。




## 10 PageManager For EPSON を終了させ、コンピュータを再起動させます。

以上で PageManager For EPSON のインストールは終了です。

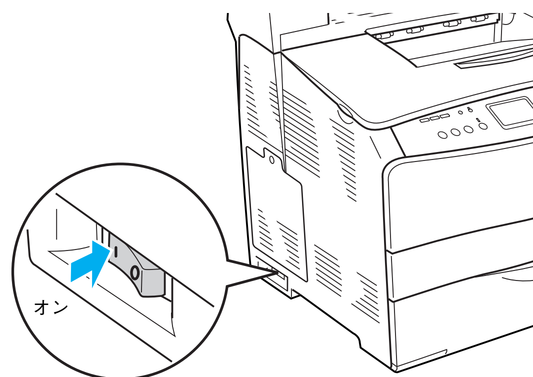
# 操作パネルでスキャン

操作パネルからスキャンする方法は、本機をコンピュータとローカル接続している場合とネットワーク接続（Windows 環境のみ）している場合で異なります。
ネットワーク接続の場合、原稿を判断してスキャンする自動スキャンと、読み込むサイズを設定してスキャンする手動スキャンの 2 通りの方法があります。

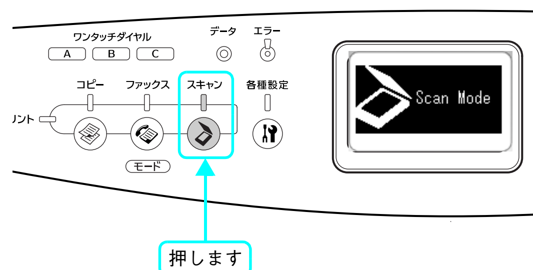
## ローカル接続でスキャンする

本機をコンピュータとローカル接続している場合、操作パネルのボタンを押すことにより、コンピュータ上のアプリケーションソフトを自動的に起動することができます。

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［スキャン］ボタンを押します。**
スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

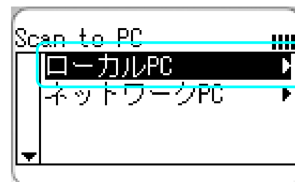


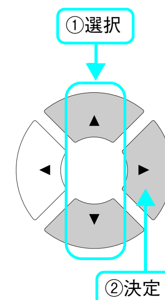

**3** **原稿をセットします。**
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

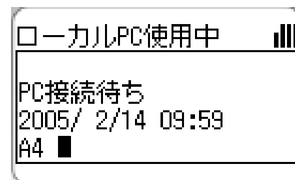
## 4 ［ローカル PC］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ローカル PC］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。




［PC 接続待ち］のメッセージが表示されます。

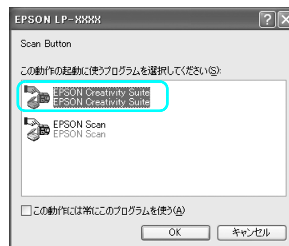



## 5 アプリケーションソフトがコンピュータの画面に表示されます。

| Windows | Mac OS X |
|---|---|
| EPSON Creativity SuiteのEPSON File Managerが起動して、原稿を取り込める状態になります。<br>原稿の取り込み方法は、EPSON File Manager のヘルプを参照してください。<br>PageManager For EPSON がインストールされていれば、ローカル接続でも起動することができます。<br>☞本書 85 ページ「起動するアプリケーションソフトを変更する場合」 | EPSON Creativity SuiteのEPSON File Managerが起動して、原稿を取り込める状態になります。<br>原稿の取り込み方法は、EPSON File Manager のヘルプを参照してください。 |




Windows 環境で以下の画面が表示された場合は、［EPSON Creativity Suite］を選択してください。




スキャンが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

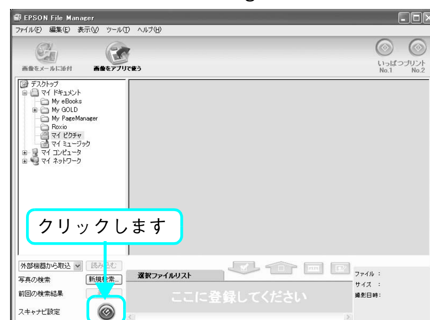
参考

**起動するアプリケーションソフトを変更する場合**

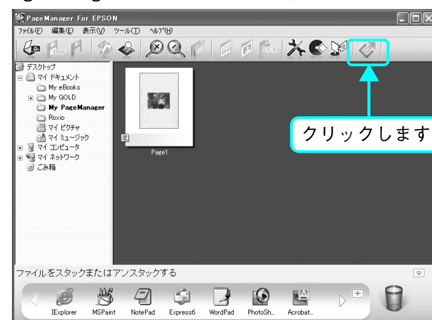
操作パネルのボタンを押したときに起動するアプリケーションを変更するには、次の手順で変更してください。

1 ［スキャナビ設定］ボタンをクリックします。

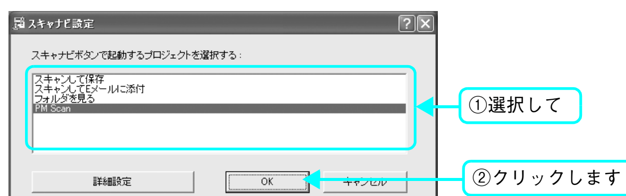
EPSON File Manager の場合




PageManager For EPSON の場合（Windows 環境のみ）




2 操作パネルのボタンを押したときに起動するアプリケーションを選択して、［OK］をクリックします。




| | |
|---|---|
| 「スキャンして保存」： | EPSON Scan + EPSON File Manager |
| 「スキャンして E メールに添付」： | EPSON Scan + EPSON Attach To Email |
| 「フォルダを見る」： | EPSON File Manager |
| 「PM Scan」： | PageManager For EPSON |

**「EPSON Scan が起動できません。」エラーが発生する場合**

原稿を読み取る際、EPSON Scan（TWAIN 規格のスキャナドライバ）を使用します。［EPSON Scan の設定］で接続方法が「ネットワーク接続」になっている場合は、「ローカル接続」に変更してください。

☞『ソフトウェア機能ガイド』（for Windows）/（for Mac OS）：［スキャンの基本手順］

**思い通りの結果で取り込めない場合**

- セットした原稿が、対応した原稿であるか確認してください。対応している原稿は次の通りです。
  カラーおよびモノクロの写真や印刷物（写真、新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など）
- 極端に暗い（または明るい）画像は、思い通りの結果で取り込めない場合があります。
  ・極端に暗い（または明るい）画像
  ・露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

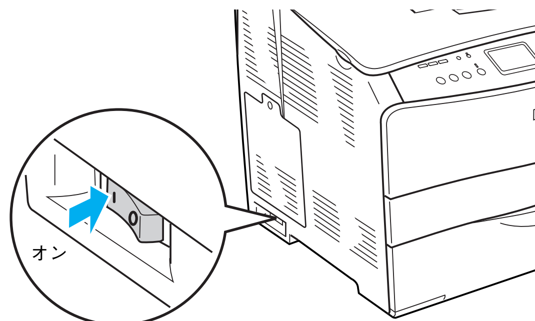
上記の原稿種においても、原稿によっては思い通りの結果で取り込めない場合があります。意図する結果で取り込めない場合は、コンピュータ上の EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードで詳細を指定してから取り込んでください。

☞『ソフトウェア機能ガイド』（for Windows）/（for Mac OS）：［スキャンの基本手順］

## 原稿を判断して最適な設定でスキャン(自動スキャン)する

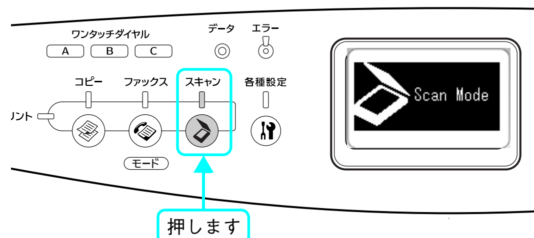
自動的に最適な設定で原稿を調整してスキャンします。

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［スキャン］ボタンを押します。**

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。



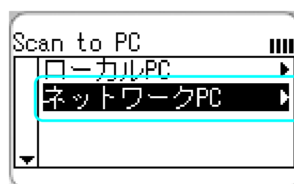

**3** **原稿をセットします。**

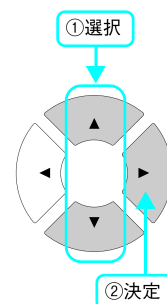
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

**4** **［ネットワーク PC］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ネットワーク PC］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

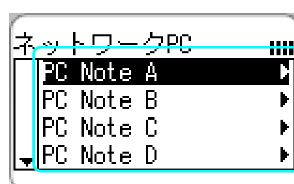


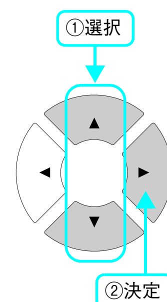




**5** **保存先のネットワーク上のコンピュータを選択します。**

一覧には、スキャンデータを保存できる条件を満たした、同一セグメント* 内のコンピュータを最大 10 台まで表示します。表示名は、各コンピュータで設定されているコンピュータ名を表示されます。

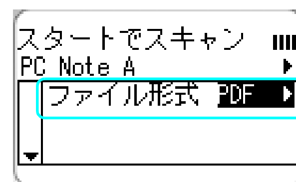
* セグメント：Ethernet ケーブルで接続された機器のまとまり。セグメントとセグメントを接続するためには、ルータやブリッジなどの機器が必要。

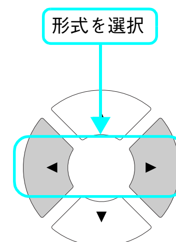


## 6 保存するファイル形式を選択します。

［◀］または［▶］ボタンで形式を選択します。

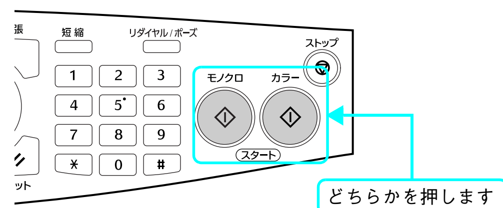



| 項目 | 説明 / 設定値 | |
|---|---|---|
| ファイル形式 | 保存ファイル形式を選択します。 | |
| | PDF | PDF 形式：文書原稿などに適しています。 |
| | TIFF | TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。 |
| | JPG | JPEG 形式：取り込みデータを小さくしたい場合に適しています。 |

## 7 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。

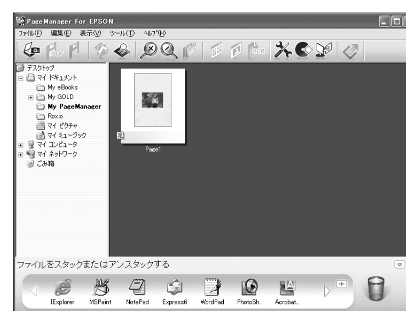
原稿台から取り込む場合は、どちらのボタンを押しても、原稿からカラー / モノクロ、スキャンサイズを判断して自動的にスキャンします。
オートドキュメントフィーダから取り込む場合は、［カラー］ボタンはカラー、［モノクロ］ボタンはモノクロでスキャンします。




スキャンサイズは PageManager for EPSON の ScanButtons 設定で設定できます（［ツール］メニュー－［Presto! Scan Buttons 設定］）。

## 8 保存先のコンピュータの画面にアプリケーションソフトが表示されます。

PageManager For EPSON が起動して、取り込まれた原稿のプレビューが表示されます。



スキャンが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

**参考**

**思い通りの結果で取り込めない場合**

- セットした原稿が、対応した原稿であるか確認してください。対応している原稿は以下の通りです。
  カラーおよびモノクロの写真や印刷物（写真、新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など）
- 極端に暗い（または明るい）画像は、思い通りの結果で取り込めない場合があります。
  ・極端に暗い（または明るい）画像
  ・露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

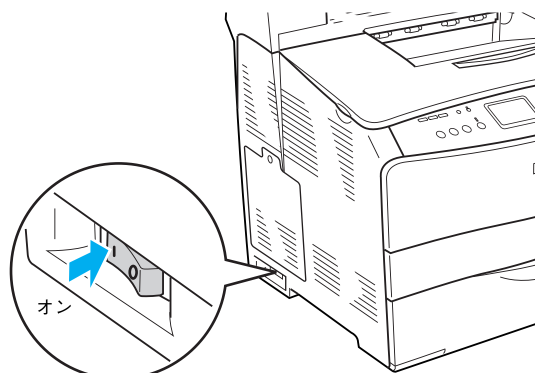
上記の原稿種においても、原稿によっては思い通りの結果で取り込めない場合があります。意図する結果で取り込めない場合は、［手動スキャン］で用紙サイズとカラーまたはモノクロを指定して取り込むか、コンピュータ上の EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードで詳細を指定してから取り込んでください。

☞ 本書 88 ページ「読み込むサイズとカラー / モノクロを設定してスキャン（手動スキャン）する」
☞『ソフトウェア機能ガイド』（for Windows）/（for Mac OS）：［スキャンの基本手順］

## 読み込むサイズとカラー/モノクロを設定してスキャン(手動スキャン)する

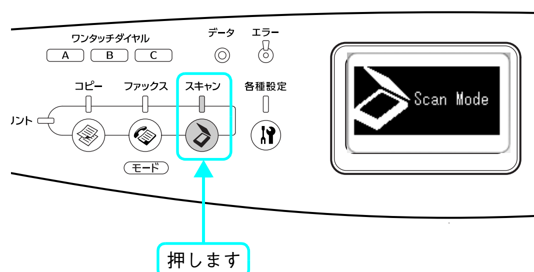
手動で読み込むサイズを設定してスキャンします。

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［スキャン］ボタンを押します。**

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。



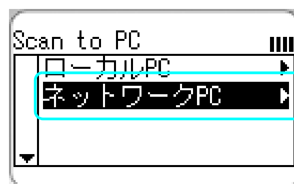

**3** **原稿をセットします。**

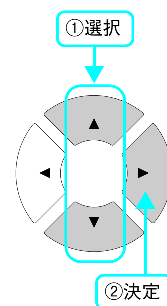
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 18 ページ「原稿台にセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 21 ページ「オートドキュメントフィーダにセットする（LP-A500F のみ）」

**4** **［ネットワーク PC］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ネットワーク PC］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

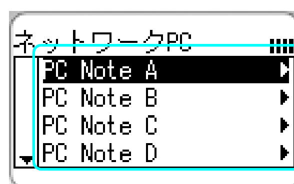


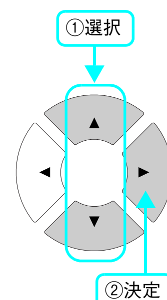




**5** **保存先のネットワーク上のコンピュータを選択します。**

一覧には、スキャンデータを保存できる条件を満たした、同一セグメント* 内のコンピュータを最大 10 台まで表示します。表示名は、各コンピュータで設定されているコンピュータ名が表示されます。

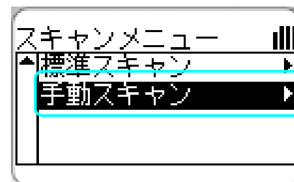
* セグメント：Ethernet ケーブルで接続された機器のまとまり。セグメントとセグメントを接続するためには、ルータやブリッジなどの機器が必要。

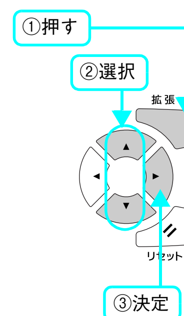


## 6 ［拡張］ボタンを押して、［手動スキャン］を選択します。

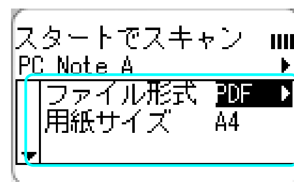
［▲］または［▼］ボタンを押して［手動スキャン］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

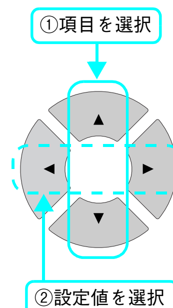



## 7 詳細を設定します。

［▲］または［▼］ボタンを押して項目を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定値を選択します。

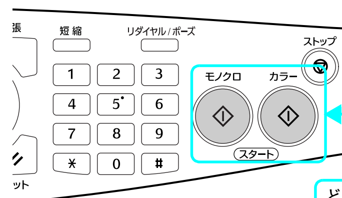



| 項目 | 説明 / 設定値 | |
|---|---|---|
| ファイル形式 | 保存ファイル形式を選択します。 | |
| | PDF | PDF 形式：文書原稿などに適しています。<br>カラー：24 ビットカラー<br>モノクロ：8 ビットグレー |
| | TIFF | TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。<br>カラー：24 ビットカラー<br>モノクロ：1 ビット白黒 |
| | JPG | JPEG 形式：取り込みデータを小さくしたい場合に適しています。<br>カラー：24 ビットカラー<br>モノクロ：24 ビットグレー |
| 用紙サイズ | 原稿の用紙サイズを指定します。 | |
| | A4/B5/LTR（Letter）/LGL（Legal） | |

## 8 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでスキャンされます。



## 9 保存先のコンピュータの画面にアプリケーションソフトが表示されます。

PageManager For EPSON が起動して、取り込まれた原稿のプレビューが表示されます。



スキャンが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

参考

**思い通りの結果で取り込めない場合**

- セットした原稿が、対応した原稿であるか確認してください。対応している原稿は以下の通りです。カラーおよびモノクロの写真や印刷物（写真、新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など）
- 極端に暗い（または明るい）画像は、思い通りの結果で取り込めない場合があります。
  ・極端に暗い（または明るい）画像
  ・露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

上記の原稿種においても、原稿によっては思い通りの結果で取り込めない場合があります。意図する結果で取り込めない場合は、コンピュータ上の EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードで詳細を指定してから取り込んでください。

☞『ソフトウェア機能ガイド』（for Windows）/（for Mac OS）：[スキャンの基本手順]

# 5 オプションと消耗品

オプションと消耗品を説明します。

# オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2005 年 2 月現在のものです。

## USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

| 型番 | 商品名 |
|---|---|
| USBCB2 | EPSON USB ケーブル |



USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法は『セットアップガイド』（紙マニュアル）を参照してください。

## Ethernet（イーサネット）インターフェイスケーブル

本機のネットワークインターフェイスを使用する場合は、市販の Ethernet インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

## 増設 1 段カセットユニット

用紙カセットが 1 段装備されたユニットです。本機の下に増設することができます。

| 型番 | 商品名 | 備考 |
|---|---|---|
| LPA4CZ1CU2 | 増設 1 段カセットユニット<br>用紙カセット（容量 500 枚） | 使用できる用紙サイズ：A4、Letter |

取り付け方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 100 ページ「増設カセットユニットの取り付け」

## 専用紙

本機では、以下の EPSON 製専用紙が使用できます。

| 型番 | 商品名 | 備考 |
|---|---|---|
| LPCPPA4（A4） | EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 | 普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。MP トレイまたは用紙カセット（オプションの増設 1 段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。<br>☞本書 12 ページ「印刷用紙のセット」 |
| LPCCTA4（A4） | EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙 | EPSON カラーレーザープリンタ専用のコート紙です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。カタログ、パンフレットなどにご使用ください。MP トレイからのみ給紙できます。<br>☞本書 12 ページ「MP トレイに用紙をセットする」 |
| LPCOHPS1（A4） | EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート | EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。MP トレイからのみ給紙できます。<br>☞本書 12 ページ「MP トレイに用紙をセットする」 |

**! 注意** 上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。内部での紙詰まりや故障の原因となります。

**参考**
- EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。
- 上記の専用紙を使用する場合は、操作パネルで用紙タイプを設定してください。
  ☞ 本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

## 増設メモリ

プリンタの内部メモリ（標準搭載メモリ容量 128MB）を最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

使用できるメモリの詳細については、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。
http://www.i-love-epson.co.jp

取り付け方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 97 ページ「増設メモリの取り付け」

## トナーカートリッジ

トナー カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あり、最大印刷可能枚数によって型番が異なります。本機で使用可能なトナーカートリッジは次の通りです。

| 型番 | 商品名 | 寿命 |
|---|---|---|
| LPCA4ETC4C | ET カートリッジ（シアン） | 各色約 1,500 ページ（A4、画占率 5%） |
| LPCA4ETC4M | ET カートリッジ（マゼンタ） | |
| LPCA4ETC4Y | ET カートリッジ（イエロー） | |
| LPCA4ETC5K | ET カートリッジ（ブラック） | 各色約 4,000 ページ（A4、画占率 5%） |
| LPCA4ETC5C | ET カートリッジ（シアン） | |
| LPCA4ETC5M | ET カートリッジ（マゼンタ） | |
| LPCA4ETC5Y | ET カートリッジ（イエロー） | |

1 つのトナーカートリッジで 1,500 ページまたは 4,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）によりトナー消費量は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。
*2 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 〜数枚程度の少ない印刷のことです。



製品に同梱されているトナーカートリッジは約 1,500 ページ（A4、画占率 5%）相当分の印刷ができます。

交換方法は、以下のページを参照してください。
本書 108 ページ「トナーカートリッジの交換手順」

## 感光体ユニット

本機では、以下の感光体ユニットが使用できます。

| 型番 | 商品名 | 寿命 |
|---|---|---|
| LPCA4KUT3 | 感光体ユニット | 約 14,000 ページ（詳細は下記参照） |

感光体ユニットの寿命は、A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%、モノクロとカラーの比率が 1 : 2、2P/J 間欠印刷を行った場合 *1、約 14,000 ページ *2 です。また、以下のように条件によって寿命は異なります。

- モノクロ連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）: 約 42,000 ページ
- モノクロ 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）: 約 20,900 ページ
- カラー連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）: 約 10,500 ページ
- カラー 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）: 約 10,500 ページ

ただし、使用状況（電源オン／オフの回数、紙詰まり処理の回数、厚紙などの特殊紙の印刷など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）により異なります。

*1 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 〜数枚程度の少ない印刷のことです。2P/J 間欠印刷とは、2 枚連続印刷して、間隔をおいた印刷のことです。
*2 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数が半分以下になる場合があります。

交換方法は、以下のページを参照してください。
本書 115 ページ「感光体ユニットの交換方法」

# 使用済みトナーカートリッジの回収について

## 資源の有効利用と地球環境保全のために




エプソン純正トナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

## 回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

### 使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

### 回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。




回収方法の詳細は、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。
また、エプソンのホームページ「I Love EPSON」でもご確認いただけます。

http://www.i-love-epson.co.jp/

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

## 使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みのトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。

学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。

この活動により資源の有効活動と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。

詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

# 通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください（2005 年 2 月現在)。

## ご注文方法

| | |
|---|---|
| インターネットで | ホームページ：http://epson-supply.jp |
| お電話で | 電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル） |
| | 受付時間：　月～金曜日　9:00 ～ 18:15<br>土曜日　9:00 ～ 17:00<br>（祝祭日、弊社指定休日を除く） |

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

## お届け方法

| | |
|---|---|
| 当日配送 | 当日 17:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ)。 |
| お届け予定日 | 本州・四国・九州…翌日 |
| | 北海道・沖縄…翌々日 |

## お支払い方法

| | |
|---|---|
| 代金引換 | 商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。 |
| クレジットカード | お取扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS |
| コンビニエンスストア振込（前払い） | ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。 |
| 銀行振込 | 法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。 |

## 送料

お買い上げ金額の合計が 4,725 円以上（税込）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,725 円未満（税込）の場合は、全国一律 525 円（税込）です。

## 消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、エプソン OA サプライのホームページまたは電話にてご確認ください。

# オプションの取り付け

## 増設メモリの取り付け

| ⚠警告 |
|---|
| 指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。 |

| ⚠注意 |
|---|
| 増設メモリの取り付けは、電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。 |

プリンタの内部メモリ（標準搭載メモリ容量 128MB）を最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。



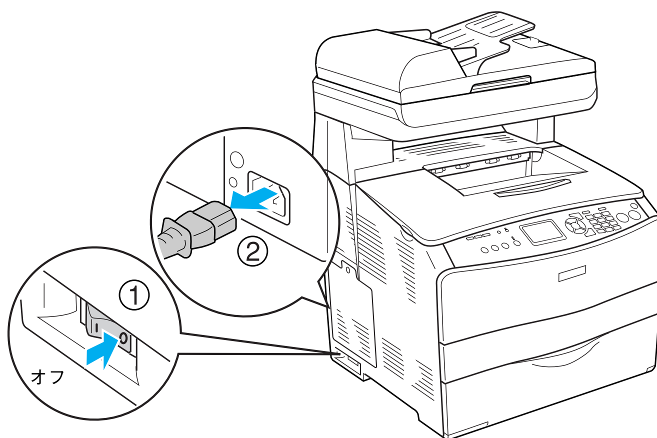
使用できるメモリの詳細は、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください (http://www.i-love-epson.co.jp/)。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

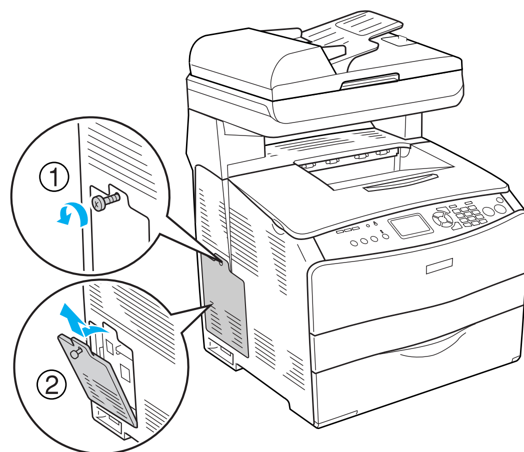
**1 作業を始める前に、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電します。**

取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。

**2 ①本機の電源をオフ（○）にしてから、②電源コードを取り外します。**

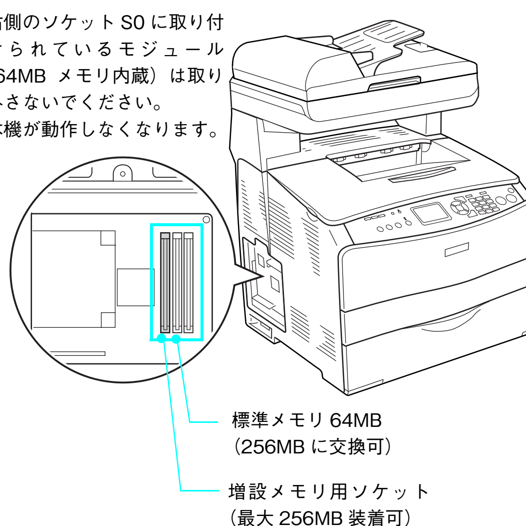


## 3 ①左カバーのネジ（1 本）を外して、②左カバーを取り外します。




## 4 本体内部の増設メモリ用ソケットの位置を確認します。

本機の最大増設メモリ容量は、576MB です。576MB に増設するためには、左側のスロットに 256MB のメモリを増設し、真ん中の 64MB のメモリを 256MB に交換してください。

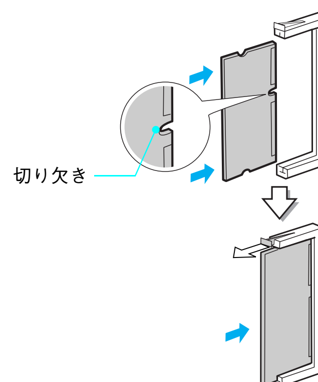



> **! 注意**
> - 右側のソケットに取り付けられているモジュールは、取り外さないでください。本機が動作しなくなります。
> - 標準メモリが取り付けられていた真ん中のスロットには、必ずメモリをセットしておいてください。メモリを取り外すと本機が動作しなくなるおそれがあります。

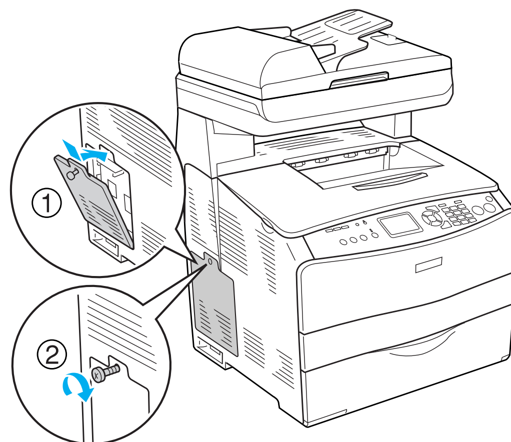
## 5 増設メモリを取り付けます。

① 増設メモリの右図の切り欠きがソケット内部の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。

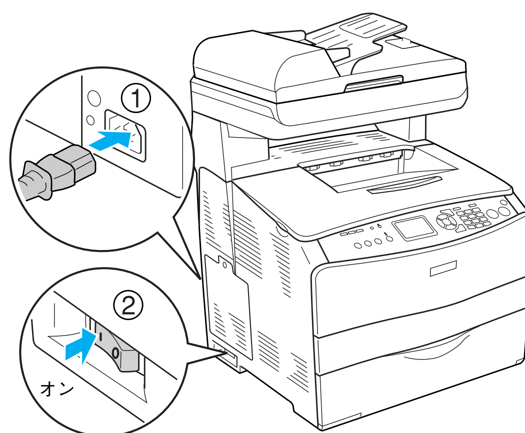
② ソケット上側のボタンが、カチッと音がして、すでに取り付けられているメモリのソケットと同様の状態になるまで、増設メモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。



6 ①左カバーを本機に取り付けてから、②ネジ（1本）で固定します。




7 ①取り外した電源コードを元通りに取り付けて、②本機の電源をオン（I）にします。




以上で増設メモリの取り付けは終了です。

## 増設カセットユニットの取り付け

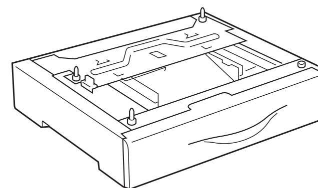
**⚠注意**

- 増設カセットユニットの取り付けは、電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。
- 本機を持ち上げる際は、必ず2人で作業を行ってください。本機の重量は、LP-A500F 約34kg/LP-A500 約31kg（消耗品含まず）です。本機を持ち上げる場合は、必ず左右側面部分下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、本機の落下によるけがの原因となります。また無理な力がかかるため、本機が損傷する原因となります。
- 本機を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがや本機が破損する原因となります。
- 本機を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本機をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがや本機が損傷する原因となります。
- 移動時は、増設カセットユニットに本機を載せたまま全体を持ち上げて運ばないでください。必ず本機と増設カセットユニットは別々に運んでください。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

**1** **増設カセットユニットを梱包箱から取り出し、カセットユニットに損傷のないことを確認して、保護材を取り外します。**

万一カセットユニットが損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

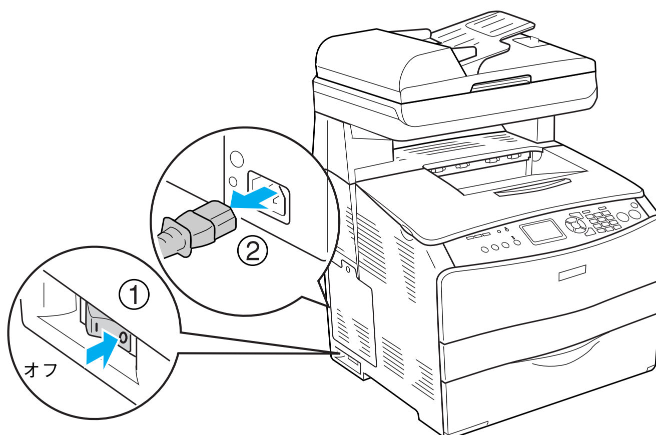


増設一段カセットユニット

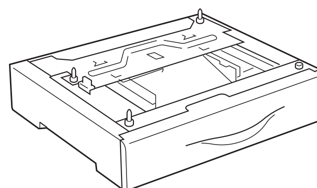


保護材の形状や個数は、予告なく変更される場合があります。

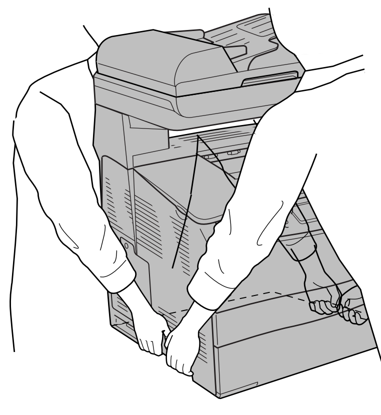
**2** **①本機の電源をオフ（○）にしてから、②電源コードを取り外します。**



3 増設カセットユニットを水平な設置場所に置きます。

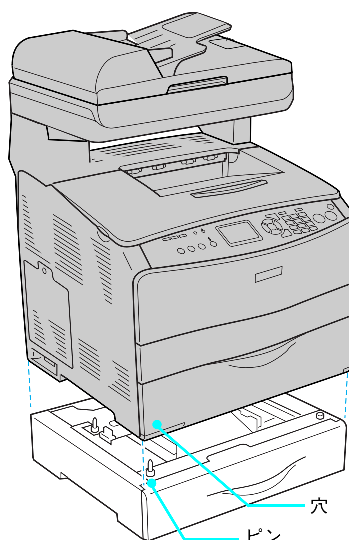


4 2人で本機を図のように持ち上げます。

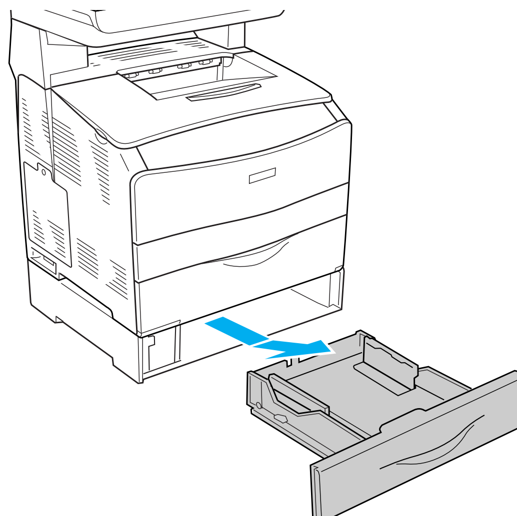


5 増設カセットユニットの上に本機を置きます。

本機の前面と増設カセットユニットの前面を図のように合わせ、増設カセットユニットのピンと本機底面の穴が合うようにして、ゆっくり置きます。

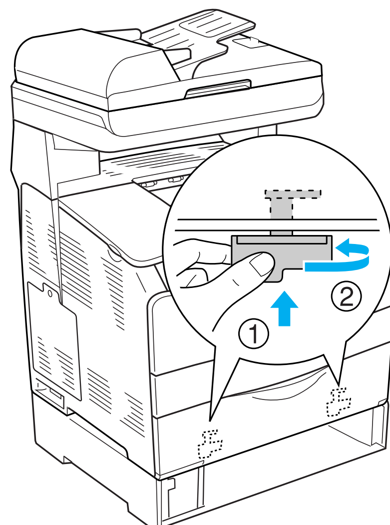



6 用紙カセットを増設カセットユニットから引き抜きます。

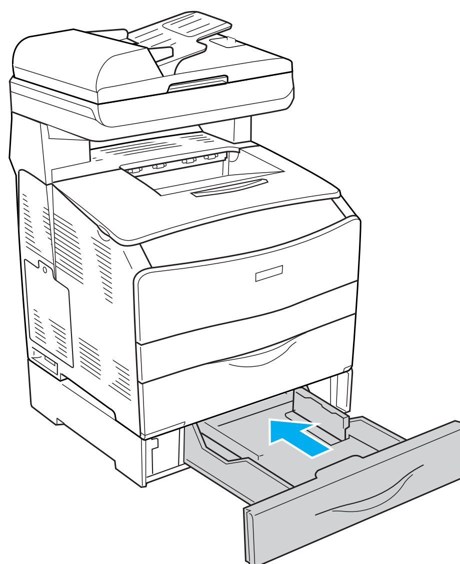


**7** **連結具（2 箇所）で増設カセットユニットと本機を固定します。**

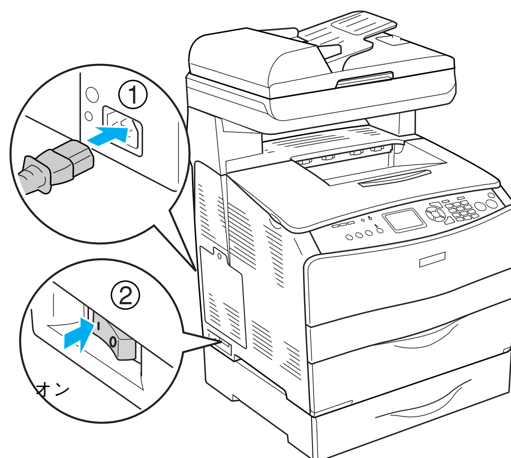
① 連結具を押し上げます（用紙カセット挿入口の内側左右 2 箇所に付いています）。
②連結具を回して固定します。




**8** **用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。**



**9** **①取り外した電源コードを元通りに取り付けて、②本機の電源をオン（I）にします。**

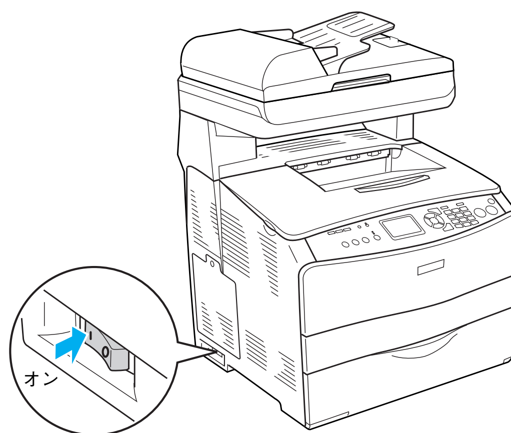



以上で増設カセットユニットの取り付けは終了です。

## 装着オプションの確認（簡易ステータスシートの確認）

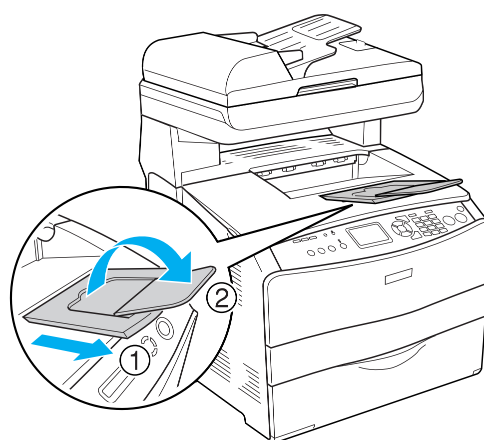
ここでは、本機に取り付けたオプションが認識されているかどうかを確かめるために、ステータスシート（簡易版）の印刷と確認方法について説明します。

**1** **本機の電源がオン（I）になっていることを確認します。**

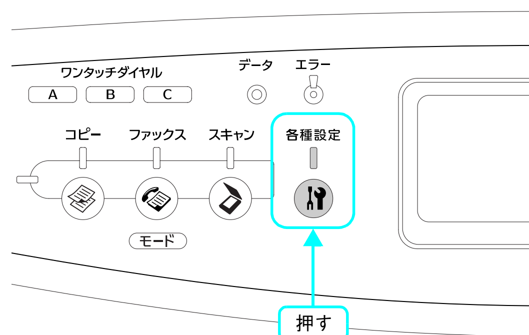



**2** **排紙延長トレイを①引き出してから、②開きます。**

印刷された用紙が排紙トレイ内に保持されます。

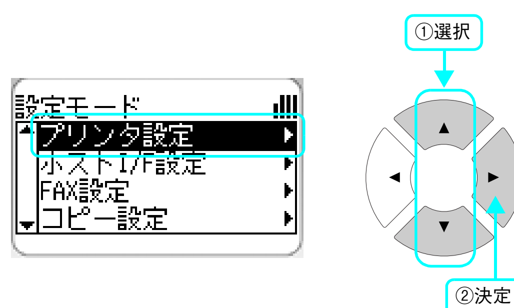



**3** **操作パネルの [ 各種設定 ] ボタンを押します。**



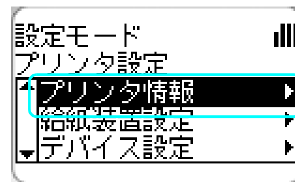

**4** **[ プリンタ設定 ] を選択します。**

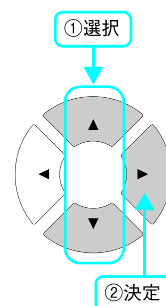
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



## 5 ［プリンタ情報］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

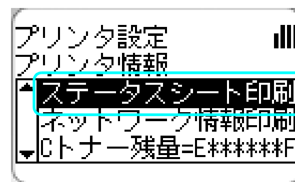


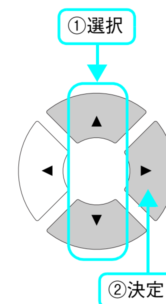



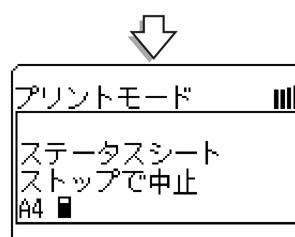

## 6 ［ステータスシート印刷］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ステータスシート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。



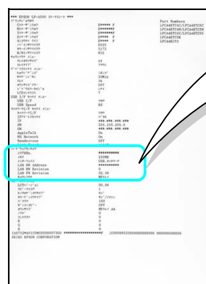




## 7 ステータスシートが印刷されたか確認します。

以下のようなステータスシートが印刷できれば、本機の印刷機能は正常に機能しています。

ステータスシート（簡易版）



| | |
|---|---|
| ハードウェアカンキョウ | |
| シリアルNo. | ********** |
| メモリ | 256MB |
| インターフェイス | USB,ネットワーク |
| LAN HW Address | ********** |
| LAN HW Revision | 0 |
| LAN FW Revision | 02.30 |
| キュウシソウチ | MPトレイ |
| コピーセッテイメニュー | |
| LUTバージョン | 00.06 |
| コピーマイスウ | 1 |
| モノクロゲンコウタイプ | モジ |
| カラーゲンコウタイプ | モジ/シャシン |
| バイリツ | 100 |
| ゼンメンコピー | Off |
| ヨウシサイズ | MPトレイ A4 |
| ノウド | 0 |
| コントラスト | 0 |
| R | 0 |
| G | 0 |
| B | 0 |

IA0752*AV1C0MC0000007300 ******************F　JC000005IC000000000000 000000000000
SEIKO EPSON CORPORATION

オプションの情報を表示します

### 増設メモリを装着している場合

- ［ハードウェアカンキョウ］の［メモリ］の項目に、標準搭載メモリ128MBと増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

### 増設カセットを装着している場合

- ［ハードウェアカンキョウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［カセット］が表示されていれば、正しく認識されています。

以上で装着オプションの確認は終了です。

# 6 メンテナンス

メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項を説明します。

# トナーカートリッジの交換

## トナーカートリッジについて

トナーカートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置です。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色を使用して印刷画像の色を再現します。

| 型番 | 商品名 | 寿命 |
|---|---|---|
| LPCA4ETC4C | ET カートリッジ（シアン） | 各色約 1,500 ページ（A4、画占率 5%）* |
| LPCA4ETC4M | ET カートリッジ（マゼンタ） | |
| LPCA4ETC4Y | ET カートリッジ（イエロー） | |
| LPCA4ETC5K | ET カートリッジ（ブラック） | 各色約 4,000 ページ（A4、画占率 5%）* |
| LPCA4ETC5C | ET カートリッジ（シアン） | |
| LPCA4ETC5M | ET カートリッジ（マゼンタ） | |
| LPCA4ETC5Y | ET カートリッジ（イエロー） | |

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

**! 注意** 本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、本機の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

**参考** 製品に同梱されているトナーカートリッジは約 1,500 ページ（A4、画占率 5%）相当分の印刷ができます。

### トナーカートリッジの交換時期

1 つのトナーカートリッジで 1,500 ページまたは 4,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 ～数枚程度の少ない印刷のことです。

**参考** 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、［プリンタ設定］－［プリンタ情報］で、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

☞ 本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」［プリンタ情報］

## トナーカートリッジ交換時の注意

| ⚠警告 |
| --- |
| トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。 |

| ⚠注意 |
| --- |
| 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。 |

- トナーカートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。
- トナーカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを装着してください。
- トナーのなくなったトナーカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

## トナーカートリッジ保管上の注意

| ⚠注意 |
| --- |
| 子供の手の届かないところに保管してください。 |

- トナーカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

## 使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シート、または以下のページを参照してください。

☞ 本書 95 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

| ⚠警告 |
| --- |
| トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。 |

## 使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みのトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。

学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。

この活動により資源の有効活動と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。

詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

## トナーカートリッジの交換手順

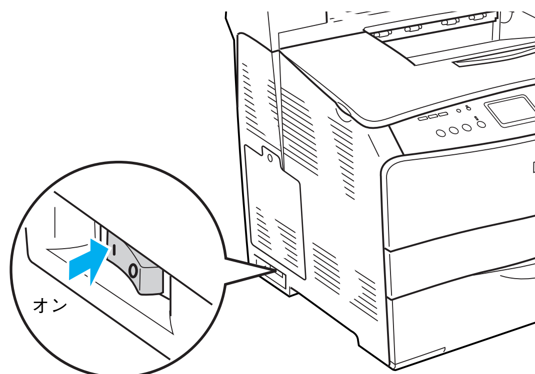
トナーが完全になくなると、パネルに［＊＊トナーを交換してください］と表示され、トナーの無くなったトナーカートリッジが交換位置で停止します。


トナーが完全になくなると、新しいトナーカートリッジと交換するまで、印刷は再開できません。

トナーカートリッジの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

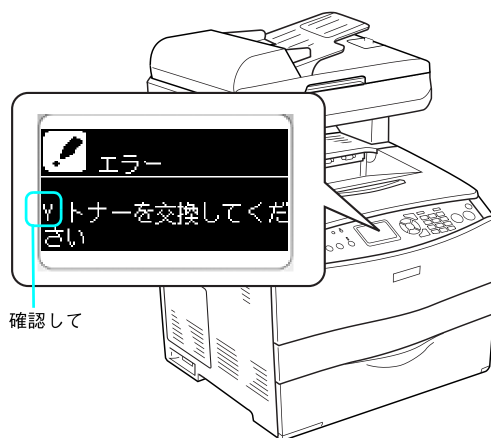
本書 107 ページ「トナーカートリッジ交換時の注意」

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **交換するトナーカートリッジの色（YMCK）を確認します。**

パネルのメッセージを確認します。

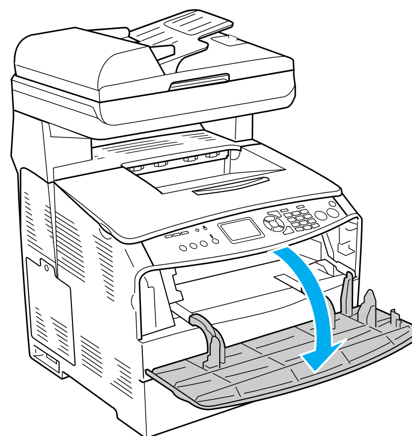



表示されている色（Y：イエロー、M：マゼンタ、C：シアン、K：ブラック）の新しいトナーカートリッジを用意します。


トナーが残り少なくなり［＊トナーが少なくなりました］と表示されてトナーを交換する場合は、操作パネルの［プリンタ設定］の［プリンタリセット］から［＊トナーカートリッジ交換］を実行（交換する YMCK トナーを指定）してから 3 へ進んでください（交換するトナーカートリッジを装着口に移動させる必要があります）。

本書181ページ［プリンタ設定の項目一覧］［プリンタリセット］

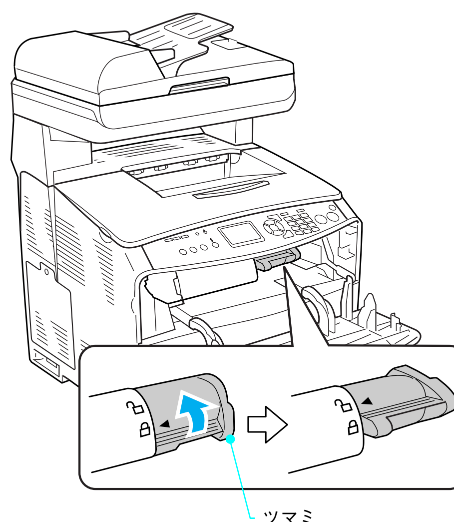
## 3 A カバーを開けます。



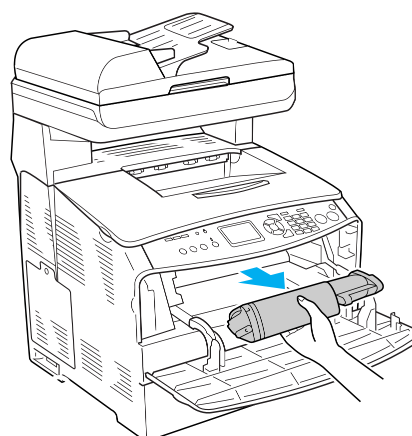
**！注 意**

電源をオン（I）にした直後は、本機の初期動作が終了するまで A カバーを開けないでください。プリンタの内部機構が動作していないこと（動作音が聞こえないこと）を確認してから A カバーを開けてください。

## 4 トナーカートリッジ右側のツマミを上げて、ロックを解除します。




## 5 使用済みのトナーカートリッジを手前にゆっくり引き抜きます。

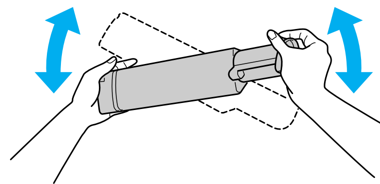


**！注 意**

使用済みのトナーカートリッジについては、以下のページを参照してください。

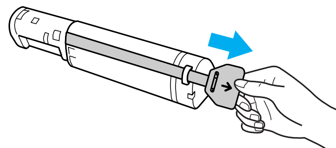
☞ 本書 95 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

**6** **新しいトナーカートリッジを梱包箱と袋から取り出して、図のように左右に傾けて軽く 3 ～ 4 回振ります。**



> **参考**
> トナーカートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのトナーカートリッジを回収する際に必要になります。次回の交換時まで大切に保管してください。

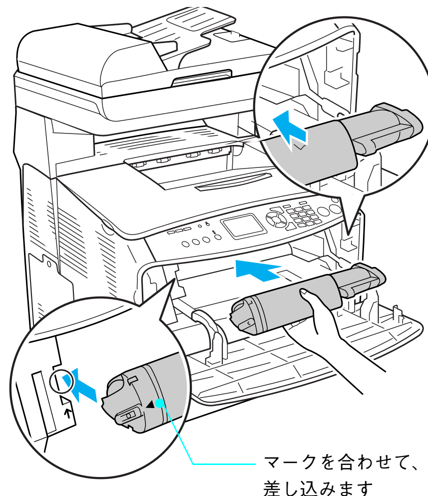
**7** **トナーカートリッジの保護テープを矢印の方向にゆっくり引き抜きます。**



> **! 注意**
> テープを引き抜いた後、カートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

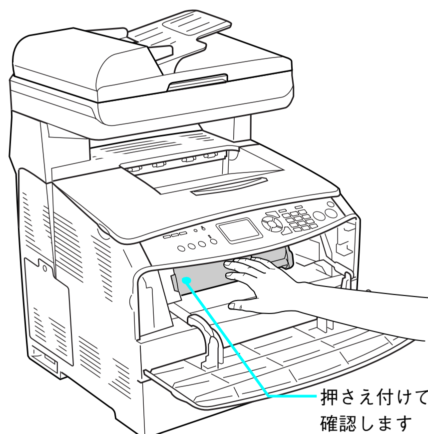
**8** **トナーカートリッジの▲マークと装着口の▲マークを合わせて、ゆっくり差し込みます。**

右端も装着口に合うように、トナーカートリッジは水平に持ちます。




**9** **トナーカートリッジを装着口の奥まで差し込んだら、指先で均等に押さえ付けます。**

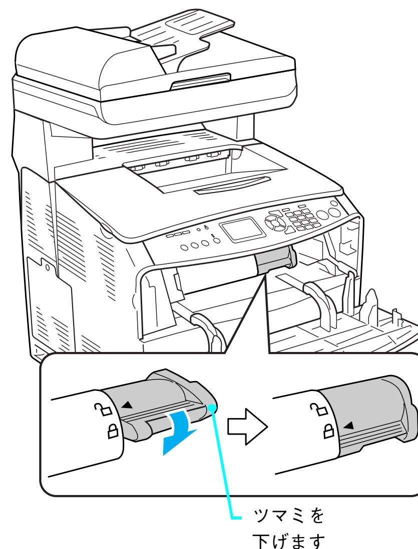
しっかりセットされていることを確認します。



## 10 右側のツマミをしっかりと下げて固定（ロック）します。

**！注意**

ツマミが正しく固定されていないと、トナー供給不足やトナー漏れの原因となり、故障につながります。



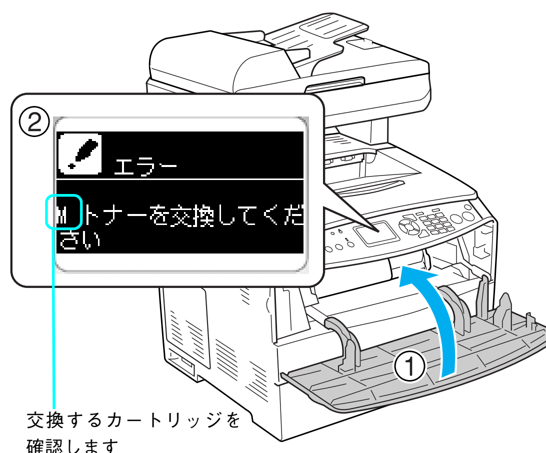

## 11 ①Aカバーを閉じてしばらく待ち、②メッセージを確認して、他の色のトナーカートリッジを交換する必要があれば、3 へ戻ります。

3 ～ 11 を繰り返して、トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されなくなったら、次に進みます。

**参考**

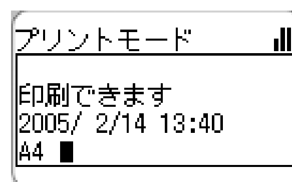
トナーが残り少なくなり［＊＊トナーが少なくなりました］と表示されてトナーを交換する場合は、操作パネルの［プリンタ設定］－［プリンタリセット］から交換するトナーの色を指定してから 3 へ戻ってください（交換するトナーカートリッジを装着口に移動させる必要があります）。

本書181ページ［プリンタ設定の項目一覧］［プリンタリセット］




## 12 印刷可能な状態になるまで待機します。

パネルに［印刷できます］と表示されたら、トナーカートリッジの交換は終了です。



# 感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

## 感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体ユニットは、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）と廃トナーボックスが一体となったユニットです。

| 型番 | 商品名 | 感光体ユニットの寿命 |
|---|---|---|
| LPCA4KUT3 | 感光体ユニット | 約 14,000 ページ（詳細は下記参照） |

**！注意** 本機は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。

### 感光体ユニットの交換時期

感光体ユニットの寿命は、A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%、モノクロとカラーの比率が 1：2、2P/J 間欠印刷を行った場合 *1、約 14,000 ページ *2 です。また、以下のように条件によって寿命は異なります。

- モノクロ連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）：約 42,000 ページ
- モノクロ 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）：約 20,900 ページ
- カラー連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）：約 10,500 ページ
- カラー 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）：約 10,500 ページ

ただし、使用状況（電源オン / オフの回数、紙詰まり処理の回数、厚紙などの特殊紙の印刷など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）により異なります。

*1 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 〜数枚程度の少ない印刷のことです。2P/J 間欠印刷とは、2 枚連続印刷して、間隔をおいた印刷のことです。
*2 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数が半分以下になる場合があります。

**参考** 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、［プリンタ設定］－［プリンタ情報］で、感光体の寿命の目安を表示することができます。また、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。
☞ 本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」［プリンタ情報］

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、トナーカートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

- トナーが十分残っているか確認してください。
  操作パネルの［プリンタ設定］－［プリンタ情報］でトナーカートリッジのトナーが十分残っているか確認してください。
  ☞ 本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」［プリンタ情報］

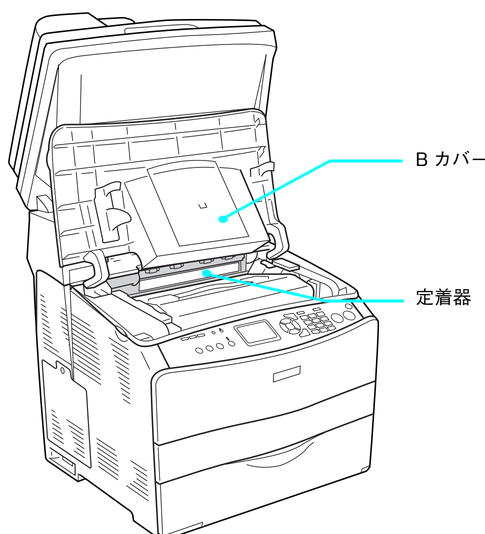
## 感光体ユニット交換時の注意

**⚠警告**

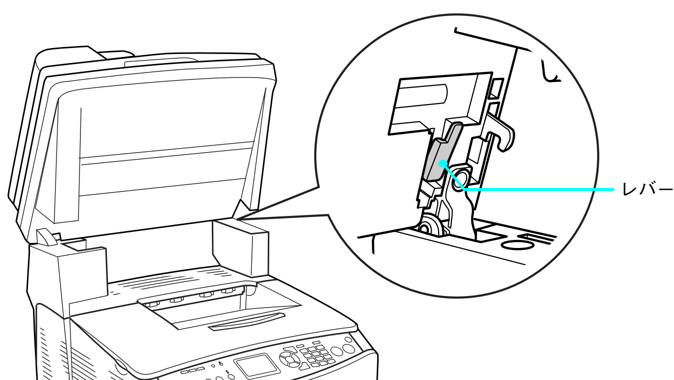
感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

**⚠注意**

- プリンタ上部の B カバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 180 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。



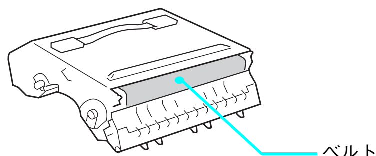

- 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- スキャナユニットの開閉時は、図のレバーに触らないでください。レバーに触れると原稿カバー（オートドキュメントフィーダ）が倒れ、本機の破損または人がけがをするおそれがあります。



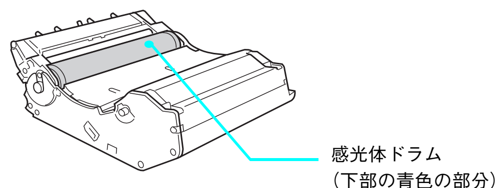

- 感光体ユニットの感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。

- 感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上に置いてください。
- 感光体ユニットは斜めや、逆さにしないでください（トナーが漏れます）。
- 感光体ユニットの上部のベルトと下部の感光体ドラム（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

上部




下部




## 保管上の注意

| ⚠注意 |
|---|
| 子供の手の届かないところに保管してください。 |

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：15 ～ 80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

## 使用済み感光体ユニットについて

使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

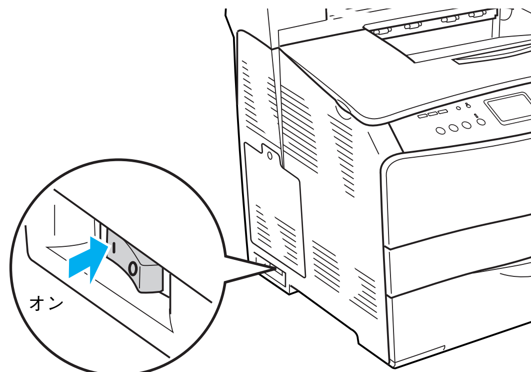
| ⚠警告 |
|---|
| 感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着しているトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。 |

## 感光体ユニットの交換方法

感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

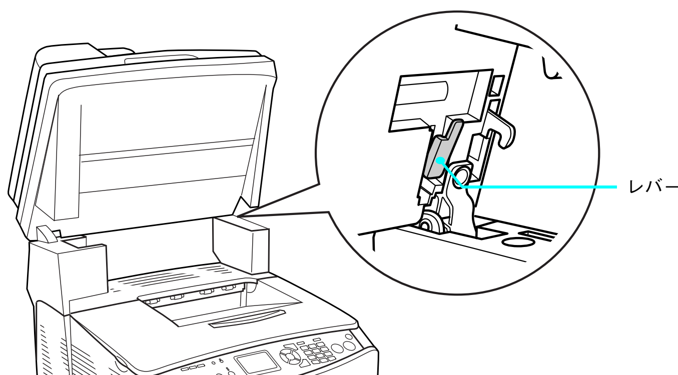
本書 113 ページ「感光体ユニット交換時の注意」

**1** **電源をオン（I）にします。**




**⚠注意**

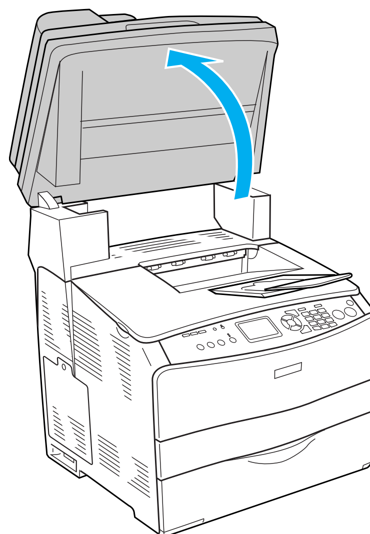
スキャナユニットの開閉時は、図のレバーに触らないでください。レバーに触れると原稿カバー（オートドキュメントフィーダ）が倒れ、本機の破損または人がけがをするおそれがあります。



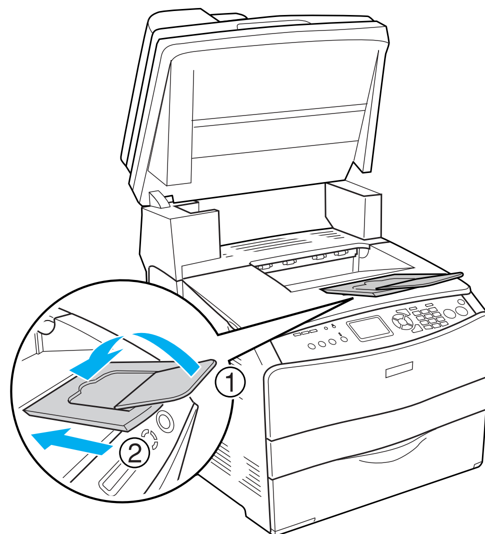

**2** **スキャナユニットを開けます。**

**参考**

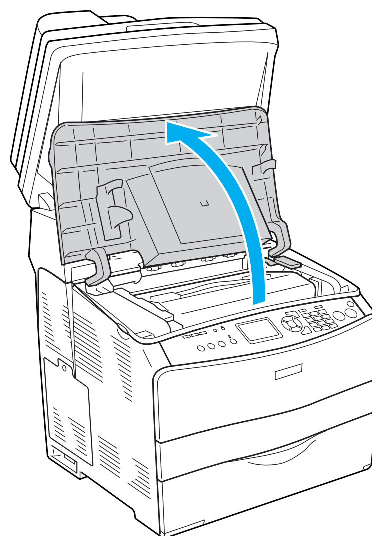
スキャナユニットを開けるときは、原稿カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。



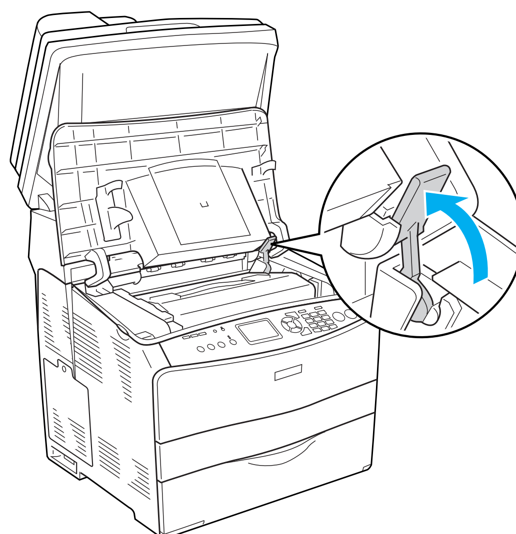
3 排紙延長トレイを①閉じてから、②押し込みます。



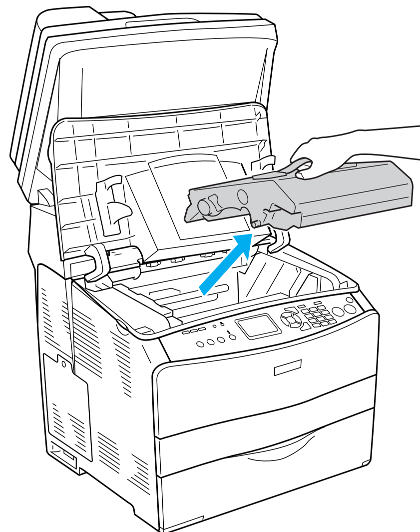

4 B カバーを開けます。



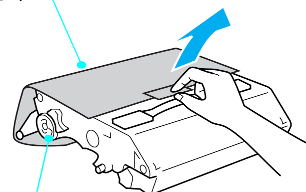
5 右にある黄色のレバーを上げてロックを解除します。



**6** 感光体ユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。



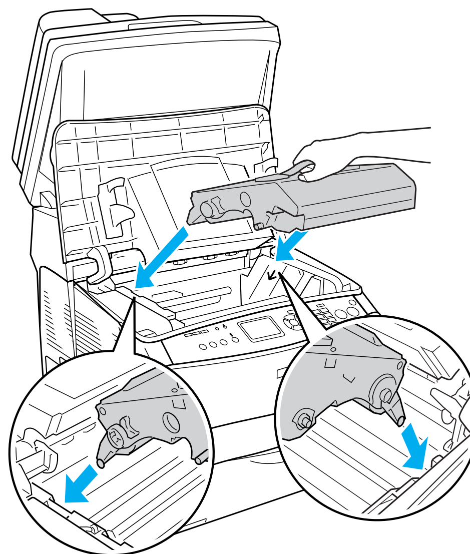
**7** 新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出してから、感光体ユニットを袋から出して、保護シートを取り外します。




**！注意**

- 上部のベルトと下部の感光体（青色）部分には絶対手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。印刷品質が低下します。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の灯りの下でも３分以上放置しないでください。感光体ユニットを本機に装着せずに放置する場合は、保護シートを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。

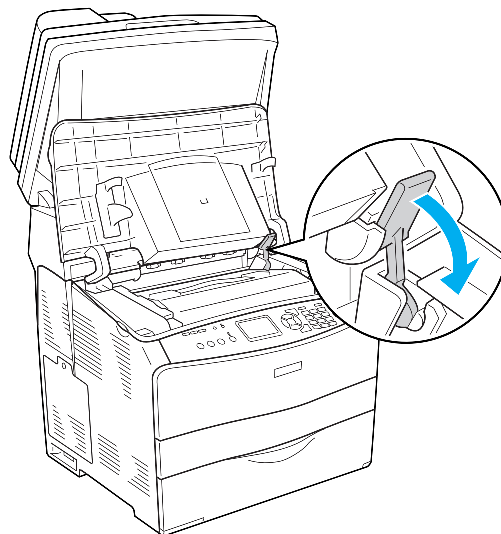
**8** 感光体ユニットの取っ手を持ち、左右の青い矢印を本機の装着口の矢印に合わせて、カチッと音がするまでゆっくり押し込みます。



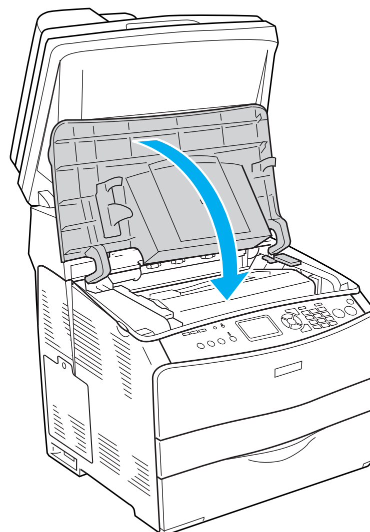
**⚠注意**

作業中は、指定以外の本機内部に触れないようにしてください。

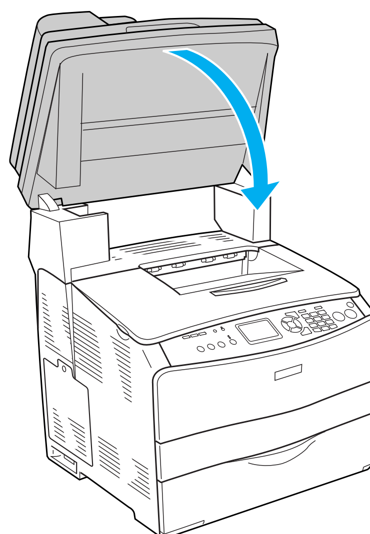
9 黄色のレバーを下げて固定します。



10 B カバーを閉じます。

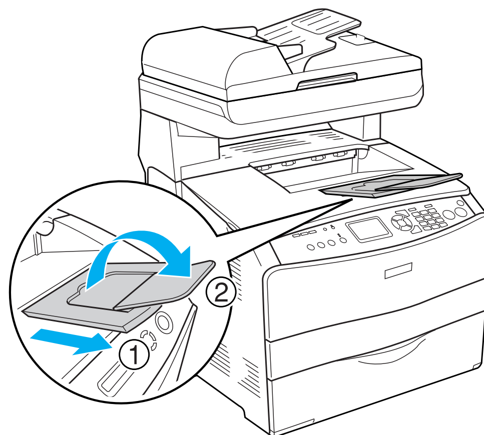


11 スキャナユニットを閉じます。



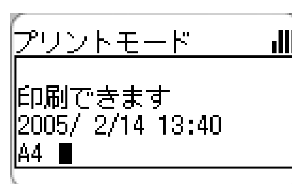
**12** **排紙延長トレイを①引き出してから、②開きます。**

印刷された用紙が排紙トレイ内に保持されます。




**13** **印刷可能な状態になるまで待機します。**

液晶ディスプレイに［印刷できます］と表示されたら、感光体ユニットの交換は終了です。



# 本機の清掃

本機を良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

## 本体表面の汚れを取る

本体の表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

| ⚠注意 |
| --- |
| 清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。 |

**！注意**

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。



## 給紙ローラを清掃する

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、MP トレイの給紙ローラを清掃してください。

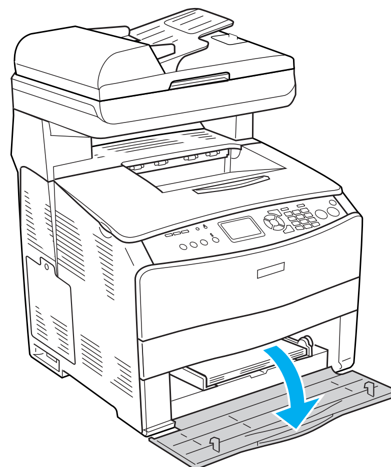
**⚠注意**

- 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- 清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

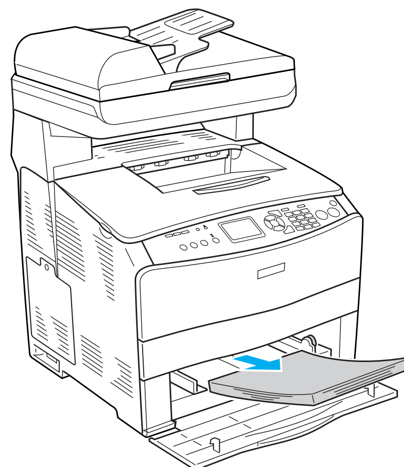
**！注意**

- 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

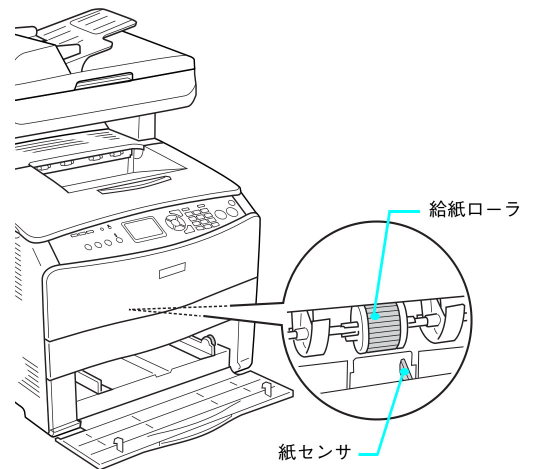
**1** **MP トレイのカバーを開けます。**



**2** **MP トレイから用紙を取り除きます。**



**3** MPトレイ内部の給紙ローラのゴム部分を、水に浸してから固く絞った布でていねいに拭きます。




**! 注意**

MP トレイ奥中央（給紙ローラ手前）の紙センサを破損しないように注意してください。

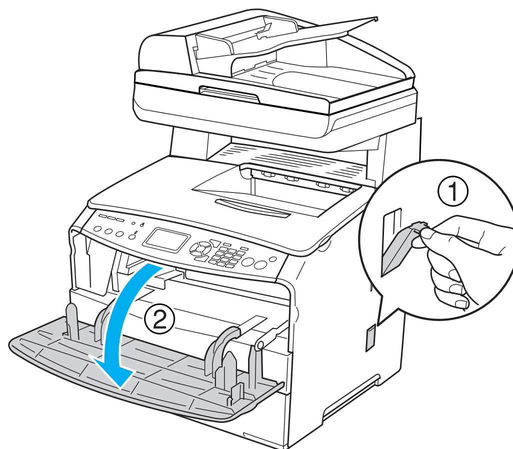
**4** 用紙をセットして、MPトレイのカバーを閉じます。

以上で給紙ローラの清掃は終了です。

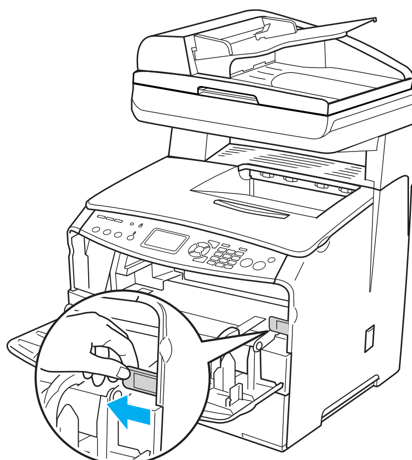
## プリントヘッドを清掃する

本機内部のプリントヘッドにトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けて、きれいに印刷できないことがあります。その場合は、プリントヘッドを清掃してください。

**1** **①本機右側面のカバーを開けて、②Aカバーを開けます。**

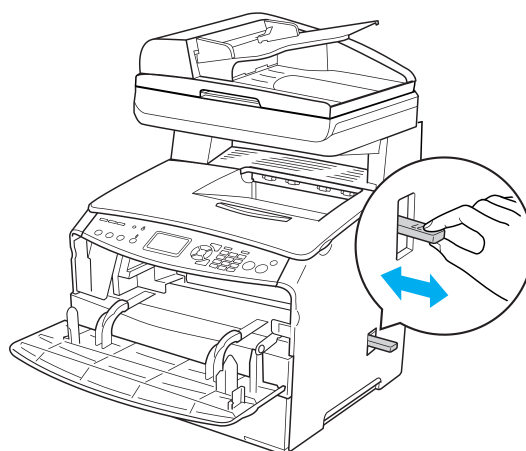



**2** **内側のツマミを引き出して、本機右側面の内カバーを開けます。**

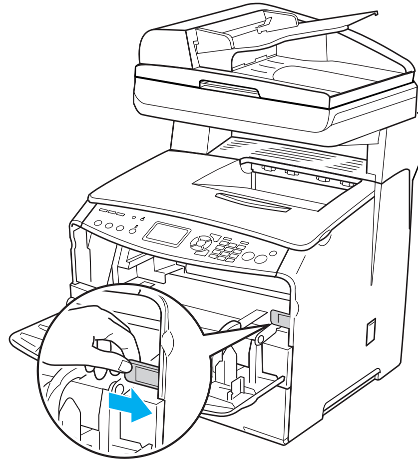


**3** **クリーニングノブをゆっくりと1回引き出し、戻します。**

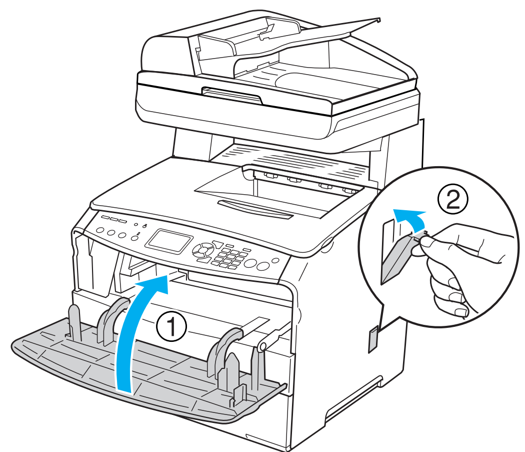
**！注意**
クリーニングノブは1回だけ完全に最後まで引き出して、戻すときは確実に最後まで入れてください。



**4** 図のツマミを押し込んで、本機右側面の内カバーを閉じます。



**5** ①Aカバーを閉じて、②本機右側面のカバーを閉じます。

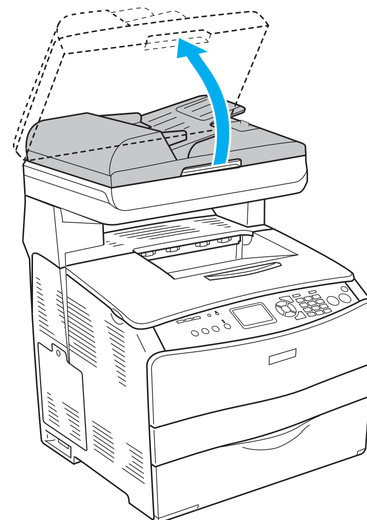



以上でプリントヘッドの清掃は終了です。

## 原稿台を清掃する

原稿台にセットした原稿を取り込んだ場合、取り込みデータに汚れが入るときは、原稿台の清掃を行ってください。

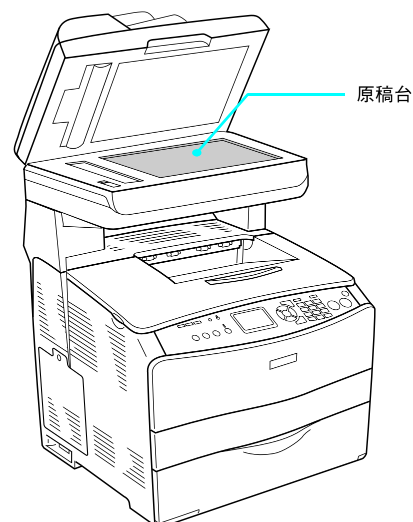
**1** **オートドキュメントフィーダの原稿カバーを開けます。**



参考

原稿カバーを開けるときは、スキャナユニットがしっかりと閉じていることを確認してください。スキャナユニットが開いた状態だと、原稿カバーを開けることができません。

**2** **原稿台を柔らかな布で拭きます。**



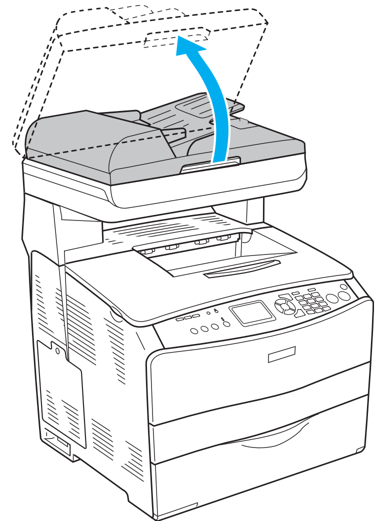

以上で原稿台の清掃は終了です。

## オートドキュメントフィーダの小窓を清掃する（LP-A500F のみ）

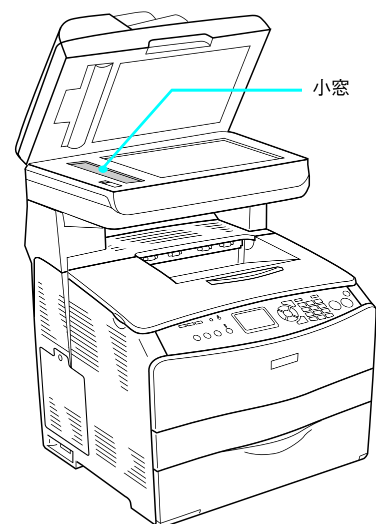
オートドキュメントフィーダから原稿を取り込んだ場合、取り込みデータに汚れが入るときは、オートドキュメントフィーダの小窓の清掃を行ってください。

**1** **オートドキュメントフィーダの原稿カバーを開けます。**

> **参考**
> 原稿カバーを開けるときは、スキャナユニットがしっかりと閉じていることを確認してください。スキャナユニットが開いた状態だと、原稿カバーを開けることができません。



**2** **小窓を柔らかな布で拭きます。**

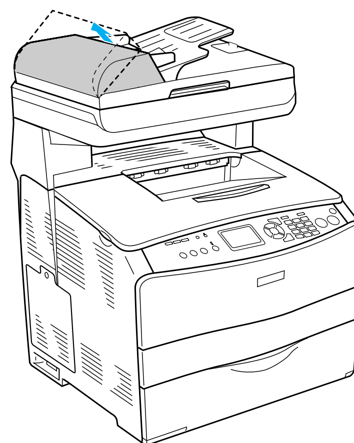



以上で小窓の清掃は終了です。

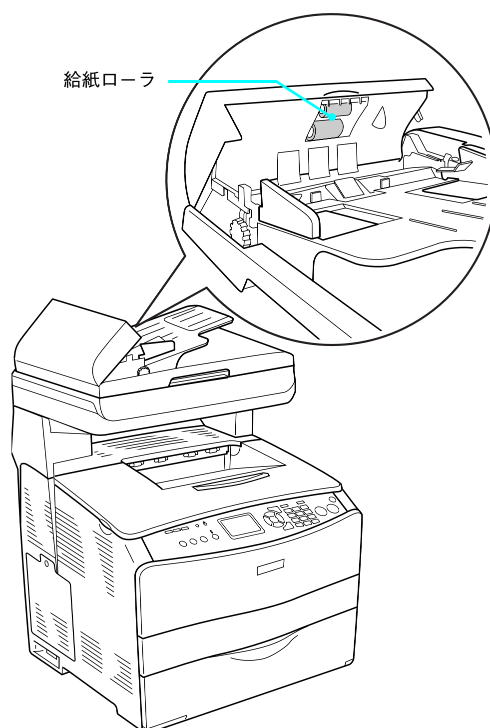
## オートドキュメントフィーダの給紙ローラを清掃する（LP-A500F のみ）

オートドキュメントフィーダから原稿の取り込みに失敗する場合は、オートドキュメントフィーダの給紙ローラを清掃してください。

**1** **オートドキュメントフィーダのカバーを開けます。**



**2** **カバー裏の給紙ローラのゴム部分を、水に浸してから固く絞った布でていねいに拭きます。**




**3** **オートドキュメントフィーダのカバーを閉じます。**

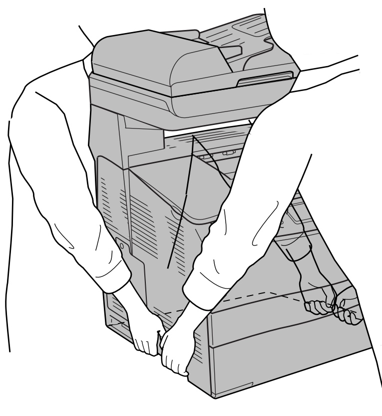
以上でオートドキュメントフィーダの給紙ローラの清掃は終了です。

# 本機の輸送と移動

本機を運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

**⚠注意**

- 本機を持ち上げる際は、必ず 2 人で作業を行ってください。本機の重量は、LP-A500F 約 34kg/LP-A500 約 31kg（消耗品含まず）です。本機を持ち上げる場合は、下図のように本機を二人ではさみ、必ず左右側面部分下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、本機の落下によるけがの原因となります。また無理な力がかかるため、本機が損傷する原因となります。



- 本機を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがや本機が破損する原因となります。
- 本機を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本機をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがや本機が損傷する原因となります。

## 近くへの移動

はじめに本機の電源をオフ（○）にして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- MP トレイ内の用紙
- 増設 1 段カセットユニット（オプション装着時のみ）

**！注意**　オプションの増設 1 段カセットユニットを装着している場合は、本機と分離して別々に運んでください。

## 輸送するときは

本機を輸送する場合は以下の手順で準備してください。

1 **操作パネルの設定で、スキャナのキャリッジをキャリッジロック位置へ移動させます。**

［各種設定］ボタン -［スキャナ設定］-［キャリッジロック］で設定します。

☞ 本書 183 ページ「スキャナ設定の項目一覧」［キャリッジロック］

2 **輸送用固定レバーをロック側にします。**

☞ 本書 5 ページ「輸送用固定レバー」

3 **用紙を取り除いて、感光体ユニット、電源ケーブル、インターフェイスケーブル、およびオプションの増設 1 段カセットユニットを取り外します。**

4 **保護材や、梱包材を使用して梱包します。**

本機購入時の梱包材を使い、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。輸送する場合には販売店にご相談ください。

以上で輸送の準備は終了です。

## Memo

# 7 困ったときは

困ったときの対処方法について説明しています。

# 操作パネルにメッセージが出る

操作パネルには、ステータスメッセージ、エラーメッセージ、ワーニングメッセージの 3 種類のメッセージが表示されます。トナー残量（11 段階表示）、各給紙装置の用紙サイズと用紙残量（4 段階表示）、FAX 受信ジョブ（LP-A500F のみ）も表示されます。

☞ 本書 7 ページ「操作パネル」

## ステータスメッセージ

本機が正常に動作している場合は、ステータスメッセージ（現在の状態）を表示します。

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| 1 枚目スキャン中 | 割付 2in1 コピーの 1 枚目コピー中です。 |
| 2 枚目スキャン中 | 割付 2in1 コピーの 2 枚目コピー中です。 |
| 印刷できます | 印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。 |
| ウォームアップ中 | ウォーミングアップ中です。 |
| お待ちください | トナーカートリッジを交換位置に移動させています。しばらくお待ちください。「＊トナーを交換してください」と表示されたら A カバーを開けて指定色のトナーカートリッジを交換し、A カバーを閉じます。 |
| コピー中です<br>しばらくお待ちください | コピー中です。 |
| ジョブキャンセル中<br>お待ちください | • 操作パネルの［ストップ］ボタン操作によって印刷中の処理を中止しました。<br>• コンピュータ側のプリンタドライバによって印刷中の処理を中止しました。 |
| スキャン中です<br>しばらくお待ちください | スキャン中です。 |
| スキャンロック中 | 本機にネットワーク接続されたコンピュータからスキャナを使用しています。 |
| 節電中<br>（液晶ディスプレイの右側に YMCK 各トナー残量を 11 段階で表示します。） | 操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。 |
| 全ジョブキャンセル中<br>お待ちください | 操作パネルの［ストップ］ボタン操作によって印刷処理をすべて中止しました。 |
| テストシート印刷中 | ステータスシート、ネットワークステータスシートを印刷中です。 |
| ネットワーク PC 検索中 | ネットワーク接続されたコンピュータを検索中です。 |
| PC 接続待ち | コンピュータとの接続を待っています。 |
| プリンタ調整中 | 良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示された場合は、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。 |
| FAX スキャン中 | ファックスモードで原稿をスキャンしています。 |
| FAX 送信中 | カラーでファックスを送付しています。 |
| FAX ツール使用中 | 本機に接続されたコンピュータで［EPSON Speed Dial Utility］を使用しています。 |
| プリントしています | 本機の内部に残っている印刷データを印刷中です。 |
| リセット | 現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。 |
| リセットオール | 印刷を中止後、本機の電源をオンにした直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。 |

# エラーメッセージ一覧

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。



- 用紙が詰まったときの対処については、以下のページを参照してください。
  本書 143 ページ「用紙が詰まった」
- 消耗品の交換については、消耗品に添付の取扱説明書または以下のページを参照してください。
  本書 105 ページ「メンテナンス」

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| ADF 紙詰まり | LP-A500F のオートドキュメントフィーダで読み取る原稿が詰まりました。<br>本書 159 ページ「オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は（LP-A500F）」 |
| ADF に原稿をセットしてください | 送信ファックスの原稿サイズ設定が Legal になっています。<br>送信ファックスの原稿サイズが Legal の場合は、原稿をオートドキュメントフィーダにセットしてください。送信ファックスの原稿サイズが Legal 以外の場合は、原稿サイズ設定を確認してください。 |
| エラー解除できません | 本機で発生したエラーを解除できませんでした。<br>一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。 |
| OHP シートが正しくありません | プリンタドライバの［用紙種類］で［OHP シート］を選択しているのに OHP シート以外の用紙が給紙されたり、［OHP シート］以外を選択しているのに OHP シートが給紙されると、E カバー付近で紙詰まりが発生します。<br>詰まった紙を取り除いて、指定した種類の用紙をセットしてください。<br>「本書 148 ページ「内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」 |
| Optional RAM Error | メモリを認識できません。<br>一旦電源をオフにし、正しいメモリを取り付けてください。 |
| オーバーラン | 印刷を開始したがデータが間に合わず印刷を停止しました。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。<br>（1）［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すと、再印刷します。<br>（2） 印刷を中止する場合は、［ストップ］ボタンを押します。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除されて再印刷します。<br>• Windows や Mac OS X からの印刷時にこのエラーが頻繁に発生する場合は、プリンタドライバで［ページエラー回避］* をオンにしてください。<br>* Mac OS 9 にこの機能はありません。 |

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| ＊＊カバーを閉じてください | 「＊＊」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じていません。<br>「＊＊」には開いているカバーが表示されます。<br>A：A カバー（本体前側のトナーカートリッジ交換口）<br>B：B カバー（本体上面の感光体ユニット交換口）<br>C：C カバー（本体上部背面の排紙口）<br>E：E カバー（本体背面の給紙経路下部）<br>F：F カバー（本体背面の給紙経路上部）<br>G：G カバー（オプション増設 1 段カセットユニット背面）<br>表示されているカバーを閉じると、エラー状態が解除されます。 |
| 紙をセットしてください tttt ssss | 以下のような場合に表示されます。<br>(1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置「tttt」に、「ssss」サイズの用紙がセットされていません。<br>給紙装置「tttt」にサイズ「ssss」の用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。<br>本書 12 ページ「印刷用紙のセット」<br>(2) すべての給紙装置に用紙がセットされていません。<br>いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。 |
| 紙を取り除いてください＊＊＊＊＊ | 「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊」の部分にはパネルに表示可能な範囲まで表示されます。<br>以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。<br>C：C カバー（本体上部背面の排紙口）<br>本書 154 ページ「排紙口（C カバー）で用紙が詰まった場合は」<br>E：E カバー（本体背面の給紙経路下部）<br>本書 148 ページ「内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」<br>F：F カバー（本体背面の給紙経路上部）<br>本書 150 ページ「内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は」<br>MP E：MP トレイ、E カバー<br>本書 146 ページ「給紙口（MP トレイ）で用紙が詰まった場合は」<br>LC G：用紙カセット、G カバー（オプション増設 1 段カセットユニット）<br>本書本書 157 ページ「増設 1 段カセットユニット（LC/G カバー）で用紙が詰まった場合は」<br>詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。 |
| カラー FAX は送信できません | 以下のような場合に表示されます。<br>(1) グループダイヤルを使ったファックス送信で、［カラー］が押された。<br>グループダイヤルを使ったファックス送信では、カラーでの送信ができません。<br>［モノクロ］ボタンを押してファックスを送信してください。<br>(2) ファックス受信中にカラーファックスを送信しようとした。<br>ファックスの受信中はファックス送信ができません。受信終了後に送信を行ってください。 |

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| 感光体がありません | 感光体ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。<br>感光体ユニットの取り付けを行います。取り付け後、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。<br>本書 115 ページ「感光体ユニットの交換方法」 |
| 感光体ユニット交換 | 感光体ユニットが、品質保証できる寿命を超えました。<br>• エラーランプが点灯している場合は、感光体ユニットの交換を行います。取り付け後、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。<br>本書 115 ページ「感光体ユニットの交換方法」<br>• エラーランプが点滅している場合は、［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すことで一時的にエラーを解除できます（「感光体交換間近」に表示が変わります）。この状態でも印刷できますが、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると、印刷できなくなります）。新しい感光体ユニットと交換して、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 |
| 感光体が故障です | 取り付けた感光体ユニットの情報を読み書きできません。<br>B カバーを開けて感光体ユニットを取り付け直すか、別の新しい感光体ユニットに交換して B カバーを閉じると、エラーは解除されます。<br>本書 115 ページ「感光体ユニットの交換方法」 |
| 感光体が正しくありません | 取り付けた感光体ユニットが正しくありません。<br>カバーを開けて正しい感光体ユニットに交換し、B カバーを閉じるとエラーは解除されます。<br>本書 115 ページ「感光体ユニットの交換方法」 |
| 原稿が異常です | セットされている読み取り原稿が異常です。原稿を確認してセットし直してください。<br>本書 25 ページ「基本コピー（カラー / モノクロ）」 |
| サービスへ連絡ください＊＊＊＊＊ | サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。<br>一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。 |
| しばらくお待ちください | スキャナのキャリッジロックが実行されています。しばらくお待ちください。<br>本書 183 ページ「スキャナ設定の項目一覧」［キャリッジロック］ |
| 受信中は送信不可 | ファックスの受信中はファックス送信ができません。受信終了後に送信を行ってください。 |
| スキャナエラー | スキャナユニットにエラーが発生しました。<br>一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。<br>スキャナ以外のモードで使用する場合は、［スタート］ボタンを押すと、操作が続行できます。 |
| スキャナカバーオープンエラー | オートドキュメントフィーダのカバーが開いています。オートドキュメントフィーダのカバーを閉じてください。<br>本書 159 ページ「オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は（LP-A500F）」 |

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| 送信できませんでした | 送信先の機器が通話中などのため、ファックス送信できませんでした。<br>送付先の番号を確認して、再度送信してください。 |
| データ異常です | 印刷の途中でプリンタドライバのスプールファイルを削除して、次に別の印刷を実行しました。または、通信エラーで受信したデータに異常があります。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。<br>(1) ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。<br>(2) ［ストップ］ボタンを押します。印刷を終了します。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。 |
| トナーが故障です＊＊＊＊ | 取り付けたトナーカートリッジの情報を読み書きできません。<br>A カバーを開けてトナーカートリッジを取り付け直すか、別の新しいトナーカートリッジに交換して A カバーを閉じると、エラーは解除されます。<br>本書 108 ページ「トナーカートリッジの交換手順」 |
| ＊＊＊＊トナーが正しくありません | 取り付けたトナーカートリッジが正しくありません。<br>A カバーを開けて正しいトナーカートリッジに交換し、A カバーを閉じるとエラーは解除されます。<br>本書 108 ページ「トナーカートリッジの交換手順」 |
| ＊＊トナーを交換してください | • 「＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。<br>C：シアン　M：マゼンタ<br>Y：イエロー　K：ブラック<br>• エラーランプが点灯している場合は、表示される色のトナーカートリッジの交換を行います。取り付けた後、A カバーを閉じるとエラー状態が解除されます（複数のトナーカートリッジを交換する必要がある場合は、A カバーを閉じると続けて次に交換するトナーカートリッジの色を表示します）。<br>本書 108 ページ「トナーカートリッジの交換手順」 |
| ＊＊トナーを取り付けてください | 「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。<br>「＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。<br>C：シアン　M：マゼンタ<br>Y：イエロー　K：ブラック<br>表示される色のトナーカートリッジの取り付けを行います。取り付けた後、A カバーを閉じるとエラー状態が解除されます（複数のトナーカートリッジが取り付けられていない場合は、A カバーを閉じると続けて次に取り付けるトナーカートリッジの色を表示します）。<br>本書 108 ページ「トナーカートリッジの交換手順」 |
| ネットワーク接続に失敗しました | ネットワークに接続されていないか、必要なアプリケーションがインストールされていません。 |

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| ネットワークモジュールエラー | ネットワークプログラムがない、または正しくありません。<br>本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。 |
| 濃度エラーで印刷できません | CMYK 色の印刷濃度（合計値）が高すぎて印刷できないため、用紙詰まりが発生しました。<br>詰まった用紙を取り除いて、プリンタの電源を入れ直してください。再印刷する前に、アプリケーションソフトで印刷濃度の合計値が下がるように CMYK 色の値を設定してください。 |
| ＊＊＊＊非純正品 | 非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。<br>• A カバーを開けて正しいトナーカートリッジに交換し、A カバーを閉じるとエラーは解除されます。<br>• ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すと、［非純正品トナーカートリッジ］というワーニング表示に替わります。 |
| FAX エラー | ファックスユニットにエラーが発生しました。<br>一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。<br>ファックス以外のモードで使用する場合は、［スタート］ボタンを押すと、操作が続行できます。 |
| FAX 通信エラー | ファックスの送受信中にエラーが発生しました。<br>［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すことでエラーは解除されます。 |
| パワーオフレポートがあるため<br>FAX 不可 | パワーオフレポートの出力中のため、ファックスの送信ができません。<br>パワーオフレポートが出力された後にファックス送信を行ってください。<br>本書 190 ページ「ファックスのレポート機能を設定する」 |
| メモリが不足しています | 処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。<br>• 送信待ちジョブのデータ容量が多いためメモリが足りません。メモリに蓄積されているデータの処理が終わるまでお待ちください。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。<br>（1）［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。<br>（2）［ストップ］ボタンを押します。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。<br>• 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。<br>（1）アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。<br>（2）プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。<br>（3）プリンタドライバ（Mac OS 9 除く）で［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。<br>（4）プリンタドライバで［ページエラー回避］を有効にする。<br>（5）使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。<br>上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。 |

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| 輸送用固定レバー解除<br>スタートにて続行 | 輸送用固定レバーがロックの位置になっています。輸送用固定レバーを解除の位置に合わせてから、本機の電源を入れ直すか、［カラー］または［モノクロ］ボタンを押してください。<br>☞本書 5 ページ「スキャナユニット」 |
| zzzz 用紙確認 | 印刷用紙サイズが設定異なっています。印刷用紙のサイズを確認してください。<br>☞本書 10 ページ「印刷用紙サイズと印刷保証領域」 |
| レポート印刷情報なし | 通信管理レポートの印刷を実行しましたが、送受信ファックスの記録がないため通信管理レポートの印刷はできません。 |
| ローカル PC 接続に失敗しました | 直接接続されていないか、必要なアプリケーションがインストールされていません。 |
| 用紙を交換<br>tttt ssss | 給紙をしようとした給紙装置（tttt）にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ（ssss）が異なっています。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 3 つのうち、いずれかの操作を行ってください。<br>(1) 給紙装置（tttt）にサイズ（ssss）の用紙をセットし、［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して印刷します。<br>☞本書 12 ページ「印刷用紙のセット」<br>(2) 用紙を交換しないで［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。<br>(3) 印刷を中止する場合は、［ストップ］ボタンを押します。<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］を［する］に設定されている場合は、一定時間(5 秒)後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。 |

## ワーニングメッセージ

本機に何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

> **参考**
> パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［プリンタリセット］から［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。
> - ［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
> 本書 141 ページ「ワーニングクリア」
> - ［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
> 本書 142 ページ「全ワーニングクリア」

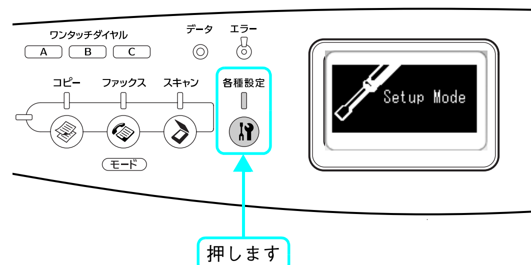
| メッセージ | 説明・処置 |
|---|---|
| 印刷できませんでした | 印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。<br>正しいプリンタドライバから印刷してください。<br>［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。<br>本書 141 ページ「ワーニングクリア」 |
| 解像度を落としました | メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。<br>• 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ストップ］ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。<br>本書 141 ページ「ワーニングクリア」<br>• 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。<br>（1） アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。<br>（2） プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。<br>（3） プリンタドライバ * で［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。<br>* Mac OS 9 では設定できません。<br>（4） プリンタドライバで［ページエラー回避］を有効にする。<br>（5） 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。<br>上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。 |
| カラー調整 確認 | 印刷データに対して行われたカラー調整が、本機に搭載されているスクリーンと整合性が取れないまま印刷しました（選択したプリンタドライバが正しくありません）。<br>• 正しいプリンタドライバから印刷してください。再度ワーニングが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターまでお問い合わせください。<br>• 最新のプリンタドライバにバージョンアップしてください。 |
| 感光体交換間近 | 感光体ユニットを交換する時期が近付いています。<br>このままの状態でも印刷可能です。新しい感光体ユニットを用意してください。「感光体ユニット交換」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。<br>本書 115 ページ「感光体ユニットの交換方法」 |

| メッセージ | 説明・処置 |
|---|---|
| ＊＊＊＊現像交換間近 | 各色（CMYK）の現像ユニットを交換する時期が近付いています。<br>このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。 |
| 定着器交換間近 | 定着ユニットを交換する時期が近付いています。<br>このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに定着ユニットを交換してください。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。交換しないまま使い続けると、故障につながります。 |
| ＊＊＊＊トナー残りわずか | 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。<br>このままの状態でも印刷可能です。新しいトナーカートリッジを用意してください。「＊トナーを交換してください」のメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。<br>本書 108 ページ「トナーカートリッジの交換手順」 |
| 非純正トナー | 装着されたトナーカートリッジは本機専用の純正トナーカートリッジではありません。<br>• 本機専用の純正トナーカートリッジを取り付けてください。メッセージは自動的に消えます。<br>• ［全ワーニングクリア］または［リセット］を実行すると表示は消えます。ただし、本機専用の純正トナーカートリッジを取り付けない限り、電源が再度オンになるたびに同じワーニングメッセージが表示されます。<br>本書 142 ページ「全ワーニングクリア」<br>本書 181 ページ「プリンタ設定の項目一覧」［プリンタリセット］ |
| 用紙サイズ 確認 | 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。<br>• ［ワーニングクリア］を実行します。<br>本書 142 ページ「全ワーニングクリア」<br>• 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［用紙サイズフリー］を［On］に設定すると、「用紙サイズ 確認」のメッセージは表示されなくなります。<br>本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」［プリンタ設定］ |
| 用紙サイズ不一致です | ［倍率］で選択した固定倍率と、本機にセットされている用紙サイズが一致しない場合に表示されます。セットされている用紙を固定倍率で選択したサイズの用紙に変更してください。 |
| 用紙タイプ 確認 | 印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。<br>• ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。<br>本書 142 ページ「全ワーニングクリア」<br>• 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で設定した用紙タイプを確認してください。<br>本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」［給紙装置設定］ |

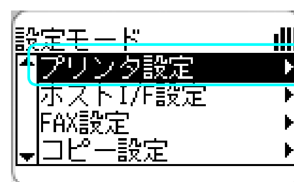
## ワーニングクリア

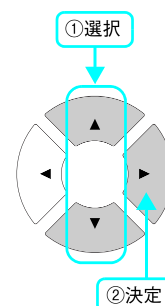
［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。

**1** **［各種設定］ボタンを押します。**
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

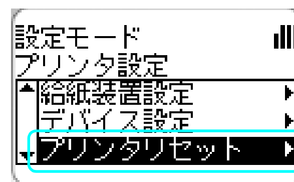


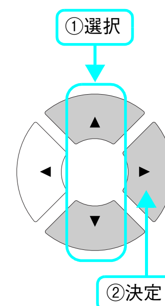

**2** **［プリンタ設定］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



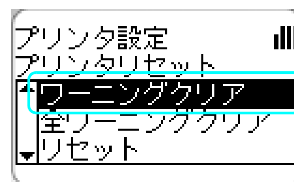



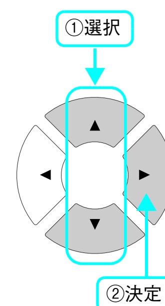

**3** **［プリンタリセット］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタリセット］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**4** **［ワーニングクリア］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［ワーニングクリア］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



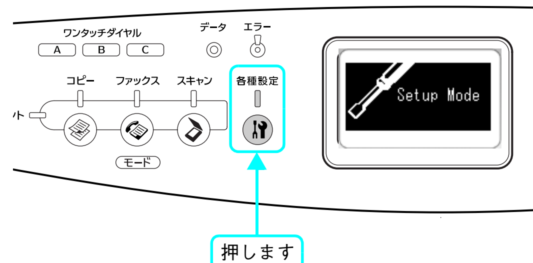

ワーニングメッセージがクリアされると、操作パネルは［プリントモード］になります。

## 全ワーニングクリア

［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。

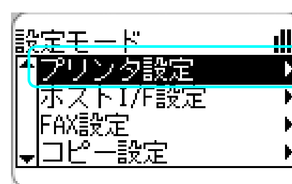
**1** ［各種設定］ボタンを押します。

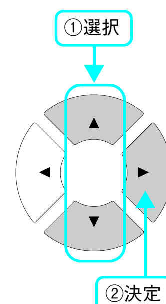
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。




**2** ［プリンタ設定］を選択します。

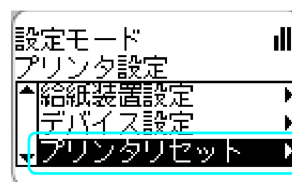
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

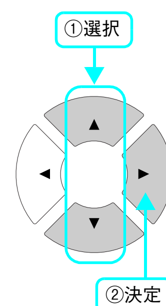



**3** ［プリンタリセット］を選択します。

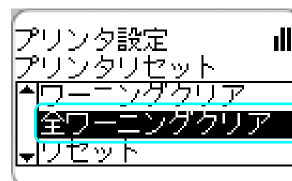
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタリセット］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

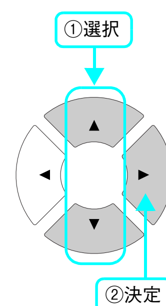



**4** ［全ワーニングクリア］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［全ワーニングクリア］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



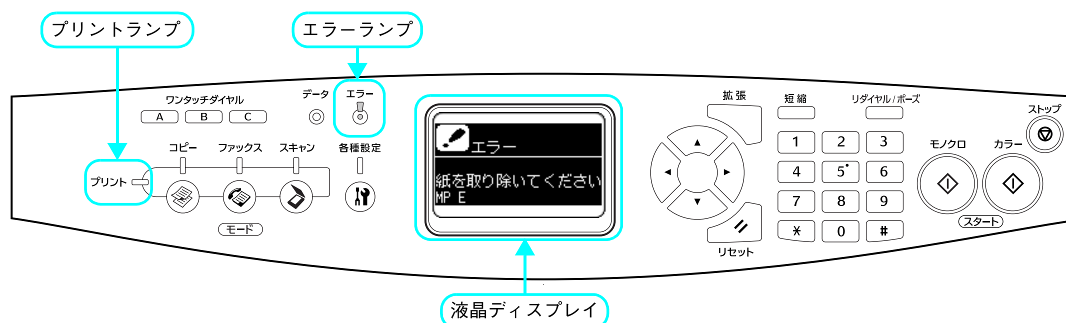




すべてのワーニングメッセージがクリアされると、操作パネルは［プリントモード］になります。

# 用紙が詰まった

紙詰まりが発生したときは、操作パネルのプリントランプが消灯し、エラーランプが点灯してお知らせします。液晶ディスプレイには、「紙を取り除いてください XXXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。

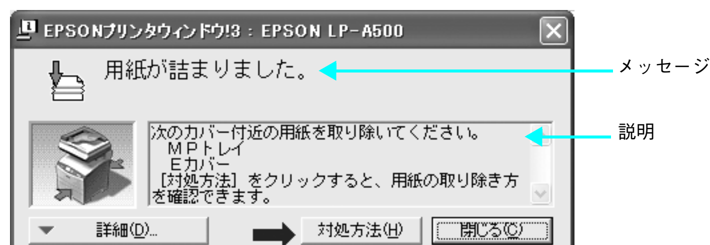
本書の手順に従って用紙を取り除いてください。



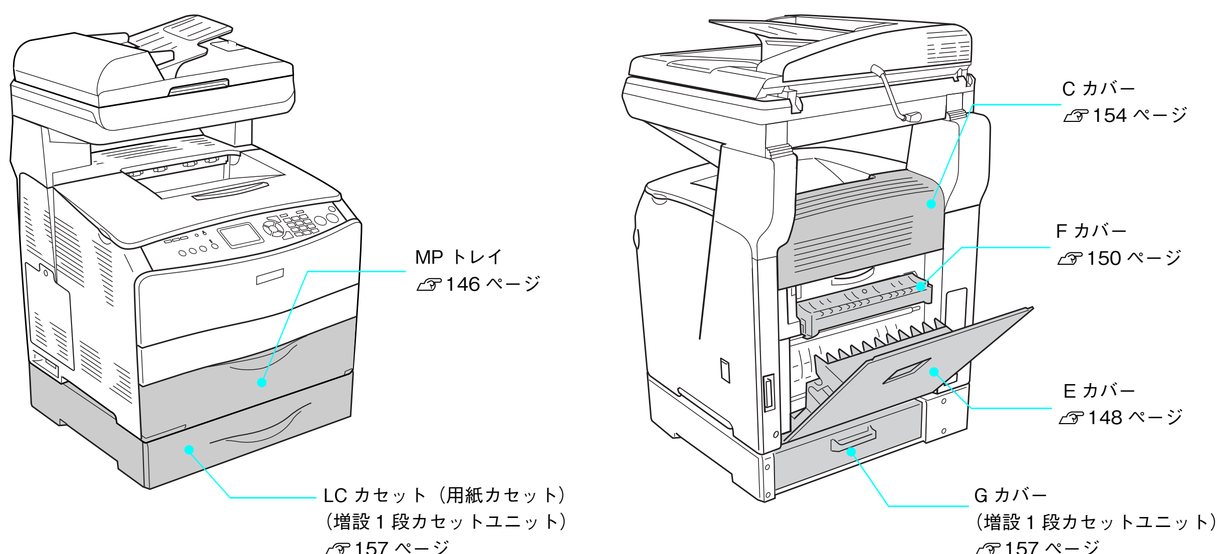

> **！注意** プリンタドライバの［用紙種類］で［OHP シート］を選択しているのに OHP シート以外の用紙が給紙されたり、［OHP シート］以外を選択しているのに OHP シートが給紙されると、E カバー付近で紙詰まりが発生して「OHP シートが正しくありません」と表示されます。

また、コンピュータの EPSON プリンタウィンドウ !3 が紙詰まりをお知らせします。EPSON プリンタウィンドウ !3 では、「用紙が詰まりました。」というメッセージと、紙詰まりが発生した箇所を示す説明が表示されます。［対処方法］をクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って用紙を取り除いてください。

☞ Windows：「ソフトウェア機能ガイド for Windows（PDF）」
☞ Mac OS 9/OS X：「ソフトウェア機能ガイド for Mac OS（PDF）」



以下のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネル、または EPSON プリンタウィンドウ!3 の表示で確認できます。




## 紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。
印刷できない用紙について詳しくは、以下のページを参照してください。
本書 12 ページ「印刷用紙のセット」

- プリンタが水平に設置されていない
- MP トレイまたは用紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  本書 121 ページ「給紙ローラを清掃する」

**! 注意**

- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

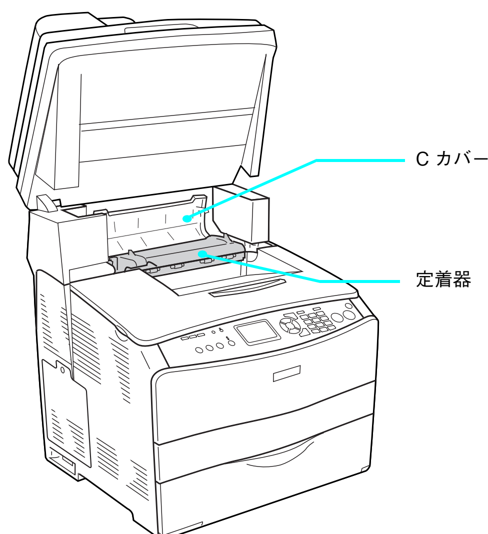
## 用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

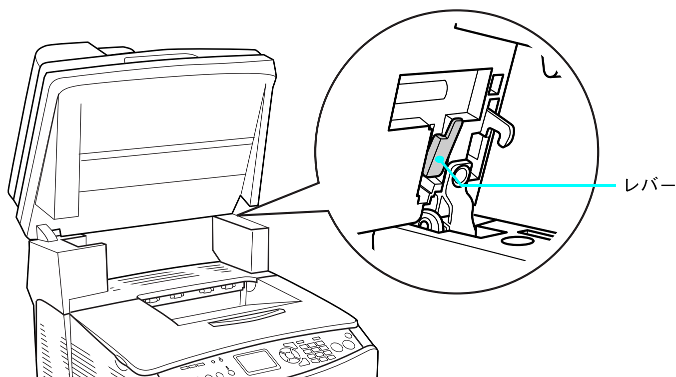
- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

**⚠注意**

- プリンタ上部の C カバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 180 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。




- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。
- スキャナユニットの開閉時は、図のレバーに触らないでください。レバーに触れると原稿カバー（オートドキュメントフィーダ）が倒れ、本機の破損または人がけがをするおそれがあります。




**！注意** 破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

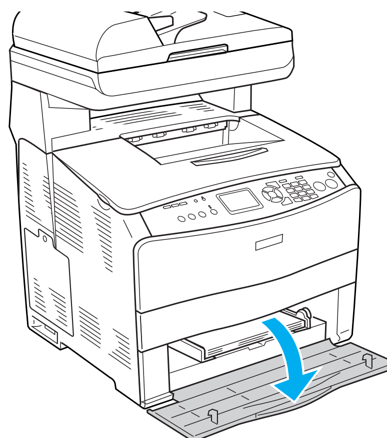
## 給紙口（MP トレイ）で用紙が詰まった場合は

プリンタの給紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

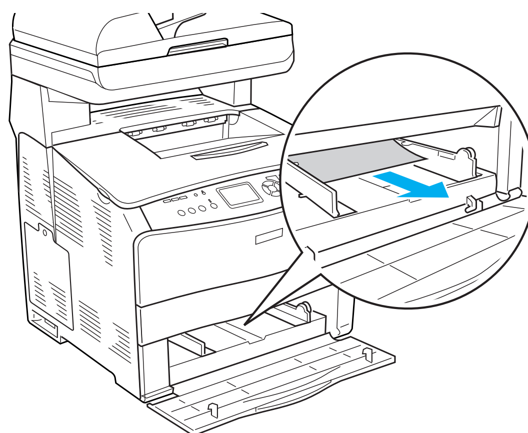
| 表示部 | メッセージ |
|---|---|
| 操作パネル | 紙を取り除いてください MP E |
| EPSON プリンタウィンドウ !3 | 用紙が詰まりました。<br>次のカバー付近の用紙を取り除いてください。<br>MP トレイ<br>E カバー |

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

**1** **MP トレイのカバーを開きます。**



**2** **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

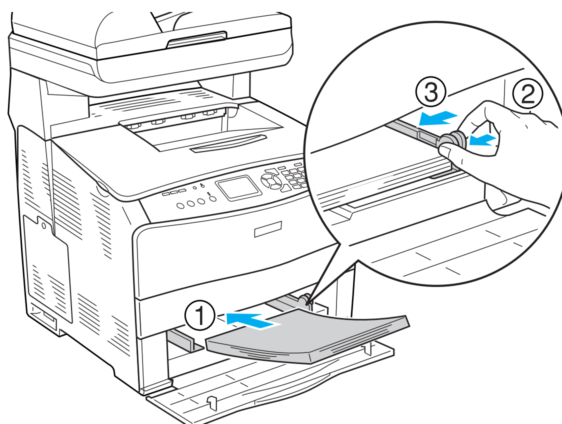


**3** **用紙を正しくセットし直します。**

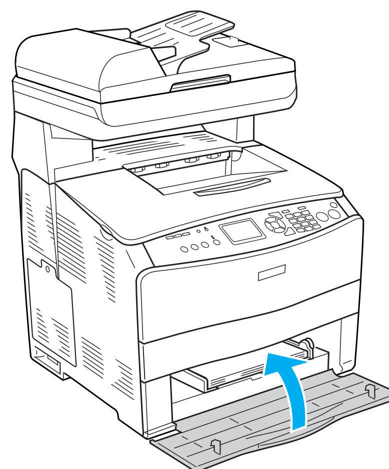
① 印刷する面を上にして、給紙方向に対して縦長にセットします。

② 用紙ガイドのツマミをつまみます。

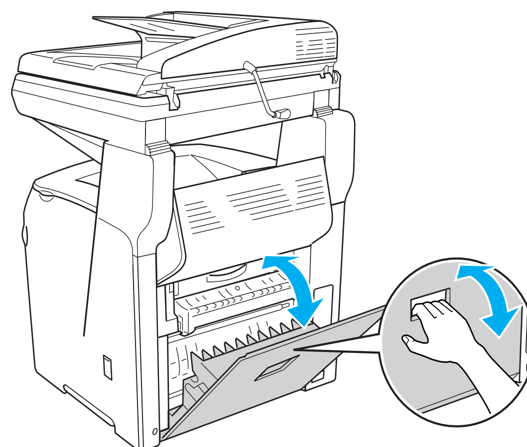
③ 用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。



## 4 MP トレイのカバーを閉じます。



## 5 E カバーを開閉します。



**！注意**

エラー状態が解除されない場合は、E カバーに詰まった紙がないか確認してください。

本書 148 ページ「内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」

**参考**

E カバーはしっかり閉じてください。

用紙詰まりのエラー状態は、E カバーを開閉することで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

## 内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は

内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

| 表示部 | メッセージ |
|---|---|
| 操作パネル | • 紙を取り除いてください E<br>• OHP シートが正しくありません（OHP シートエラー時） |
| EPSON プリンタウィンドウ !3 | • 用紙が詰まりました。<br>次のカバー付近の用紙を取り除いてください。<br>E カバー<br>• 専用 OHP シートが正しくセットされていません。<br>印刷時の指定と、給紙装置にセットされている用紙種類が異なっているため、用紙が詰まりました。 |

**！注意**

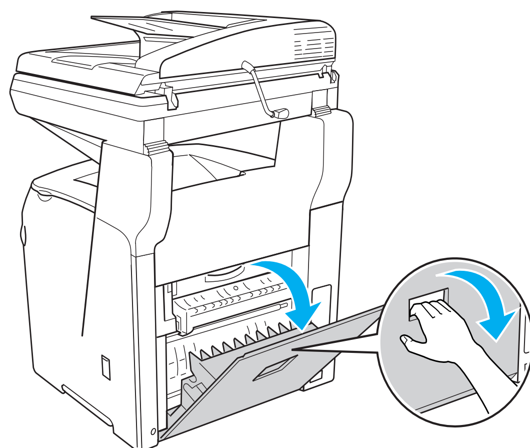
- E カバーだけでなく他の箇所での紙詰まりを同時に表示することがあります。表示されたカバーを確かめてから E カバーも確かめてください。
  ☞ 本書 146 ページ「給紙口（MP トレイ）で用紙が詰まった場合は」
  ☞ 本書 150 ページ「内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は」
  ☞ 本書 154 ページ「排紙口（C カバー）で用紙が詰まった場合は」
  ☞ 本書 157 ページ「増設 1 段カセットユニット（LC/G カバー）で用紙が詰まった場合は」
- プリンタドライバの［用紙種類］で［OHP シート］を選択しているのに OHP シート以外の用紙が給紙されたり、［OHP シート］以外を選択しているのに OHP シートが給紙されると、E カバー付近で紙詰まりが発生して［OHP シートが正しくありません］と表示します。プリンタドライバの［用紙種類］と使用する用紙の種類は必ず合わせてください。

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

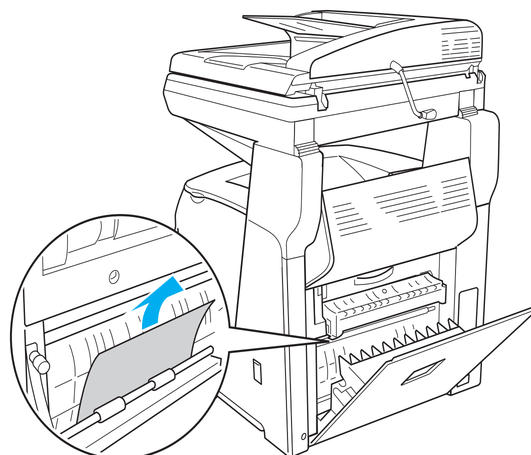
### 1 E カバーを開けます。

**！注意**

液晶ディスプレイに［OHP シートが正しくありません］と表示されてプリンタが停止した場合は、MP トレイの用紙を取り除きます。



## 2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

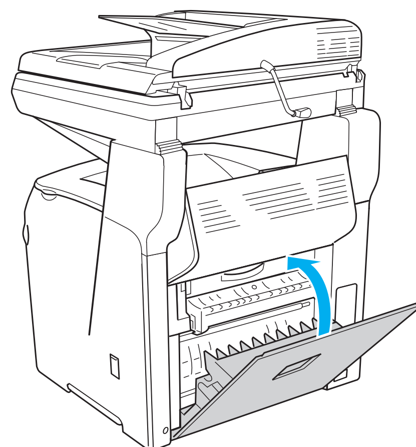


**!注意**

［OHP シートが正しくありません］と表示されてプリンタが停止していた場合は、以下どちらかの対処を行ってください。

- プリンタドライバの［用紙種類］で選択した用紙種類に合った用紙を MP トレイにセットしてください。特に OHP シートを使用する場合は必ず専用の OHP シートを MP トレイにセットしてください。
- ご希望の用紙が手元にない場合は、［ストップ］ボタンを押して印刷を中止してください。

## 3 E カバーを閉じます。



**参考**

E カバーはしっかり閉じてください。

用紙詰まりのエラー状態は、E カバーを開閉することで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

# 内部(F カバー)で用紙が詰まった場合は

内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

| 表示部 | メッセージ |
|---|---|
| 操作パネル | 紙を取り除いてください F |
| EPSON プリンタウィンドウ!3 | 用紙が詰まりました。<br>次のカバー付近の用紙を取り除いてください。<br>F カバー |

**!注意**

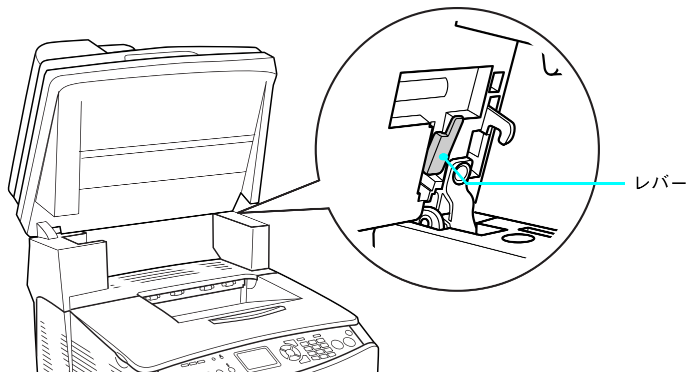
F カバーで紙が詰まった場合、E カバー、C カバーのいずれかも同時に紙詰まりを表示します。表示されたカバーをすべて確かめてください。

本書 148 ページ「内部(E カバー)で用紙が詰まった場合は」
本書 154 ページ「排紙口(C カバー)で用紙が詰まった場合は」

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

**⚠注意**

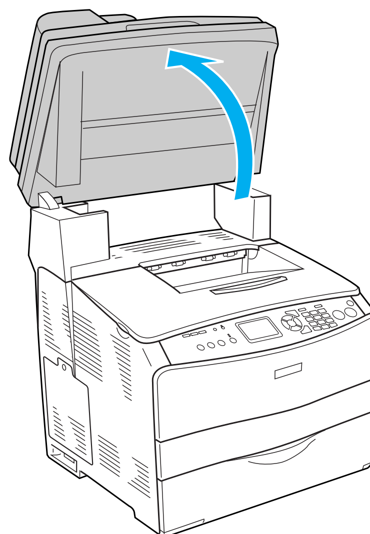
スキャナユニットの開閉時は、図のレバーに触らないでください。レバーに触れると原稿カバー(オートドキュメントフィーダ)が倒れ、本機の破損または人がけがをするおそれがあります。



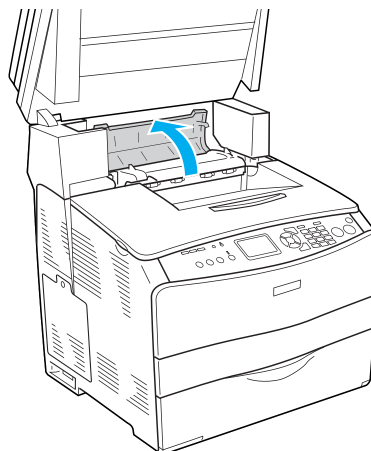

**1** **スキャナユニットを開けます。**

**参考**

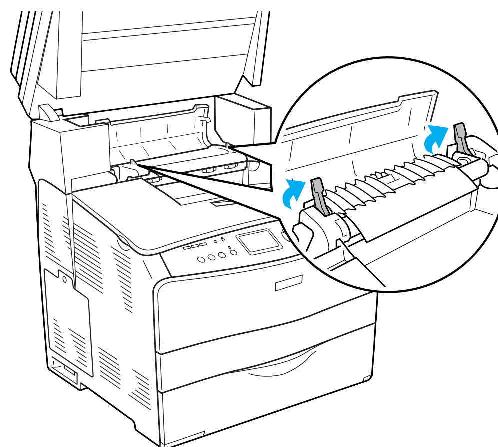
スキャナユニットを開けるときは、原稿カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。



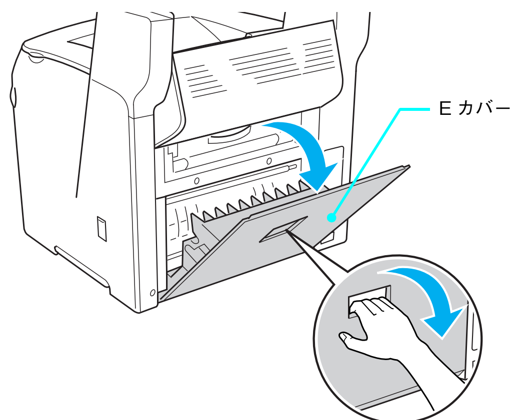
**2** Cカバーを開けます。



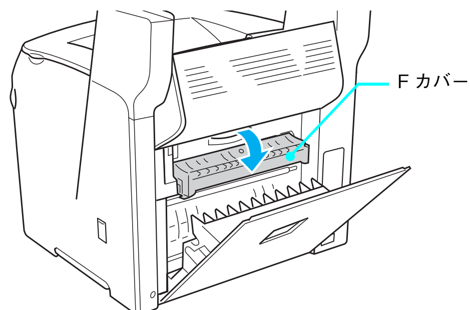
**3** 定着器左右の緑色のレバーを上げます。



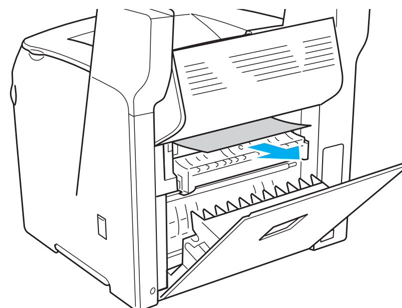
**4** Eカバーを開けます。



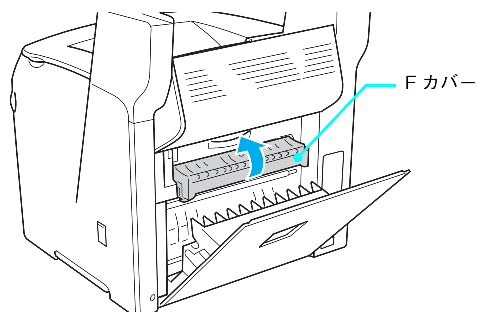

**5** Fカバーを開けます。



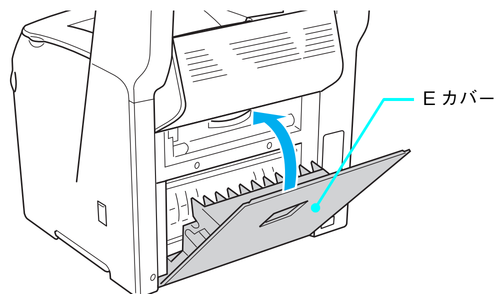
6 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。



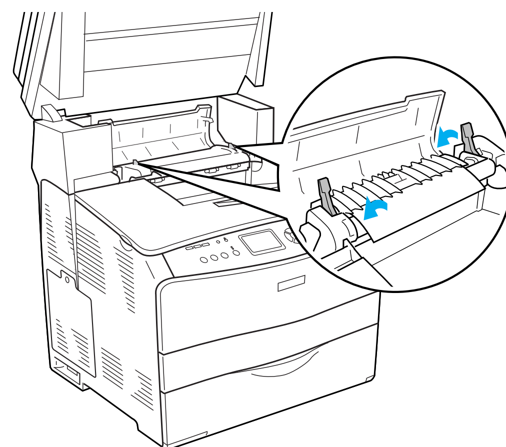
7 F カバーをしっかりと閉じます。



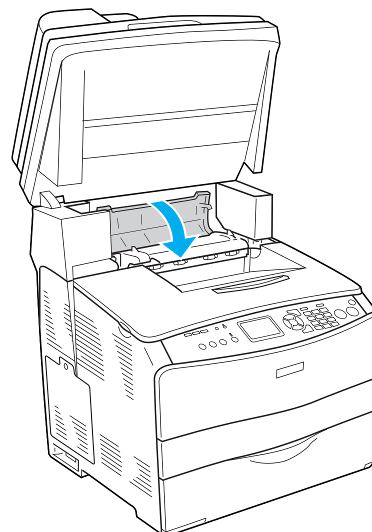

8 E カバーをしっかりと閉じます。



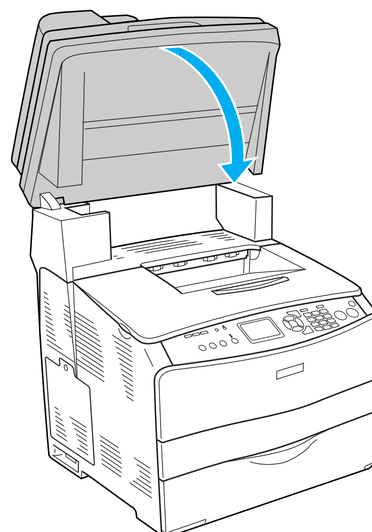

9 定着器左右の緑色のレバーを下げます。



## 10 C カバーをしっかりと閉じます。



## 11 スキャナユニットを閉じます。



用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後スキャナユニットを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

## 排紙口(C カバー)で用紙が詰まった場合は

排紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

| 表示部 | メッセージ |
|---|---|
| 操作パネル | 紙を取り除いてください C |
| EPSON プリンタウィンドウ!3 | 用紙が詰まりました。<br>次のカバー付近の用紙を取り除いてください。<br>C カバー |

**!注意**

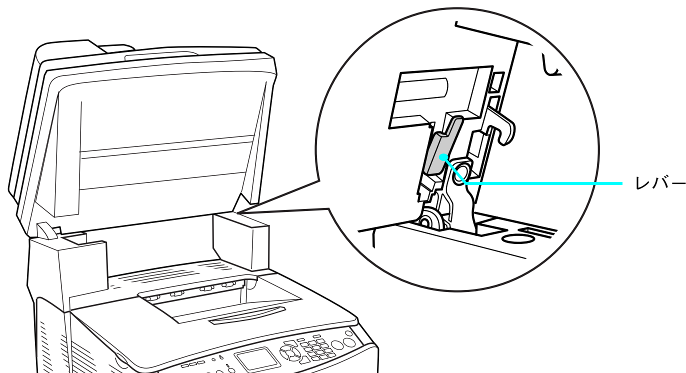
E カバー、F カバーで紙詰まりが発生しても、C カバーでの紙詰まりを同時に表示することがあります。表示されたカバーを確かめてから C カバーも確かめてください。

本書 148 ページ「内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」
本書 150 ページ「内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は」

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

**⚠注意**

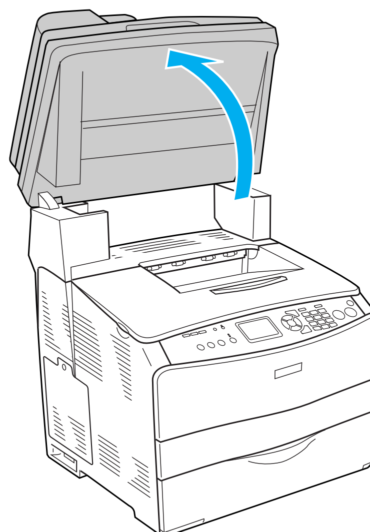
スキャナユニットの開閉時は、図のレバーに触らないでください。レバーに触れると原稿カバー（オートドキュメントフィーダ）が倒れ、本機の破損または人がけがをするおそれがあります。



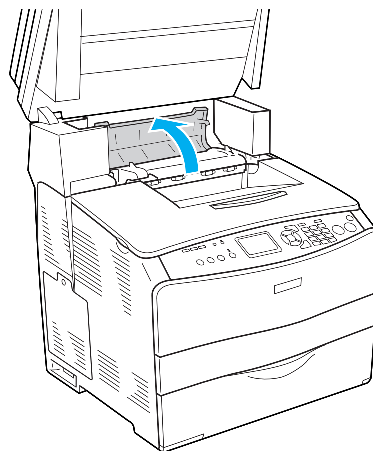

### 1 スキャナユニットを開けます。

**参考**

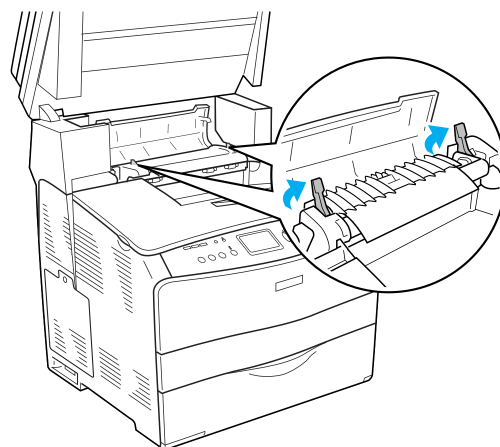
スキャナユニットを開けるときは、原稿カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。



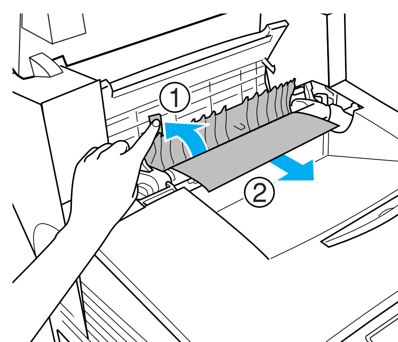
**2** Cカバーを開けます。



**3** 定着器左右の緑色のレバーを上げます。

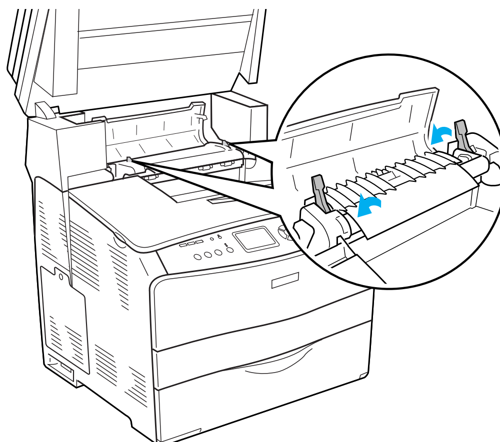


**4** 緑色のツマミに指を添えて定着器ガイドを開けたまま、詰まった用紙の端を持って破れないようにゆっくり引き抜きます。

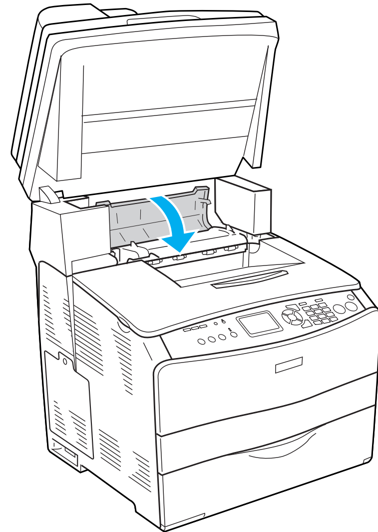



> **参考**
> ツマミから指を離して、定着器ガイドを閉じてください。

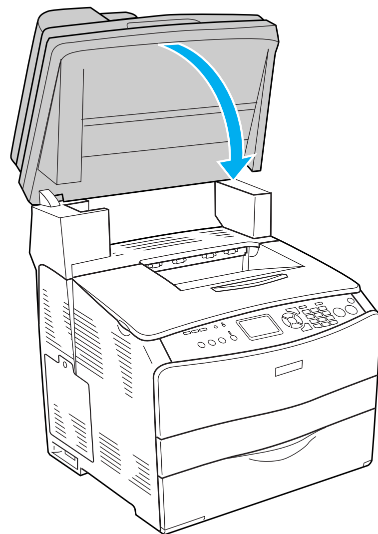
**5** 定着器左右の緑色のレバーを下げます。



6 Cカバーをしっかりと閉じます。



7 スキャナユニットを閉じます。



用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後スキャナユニットを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

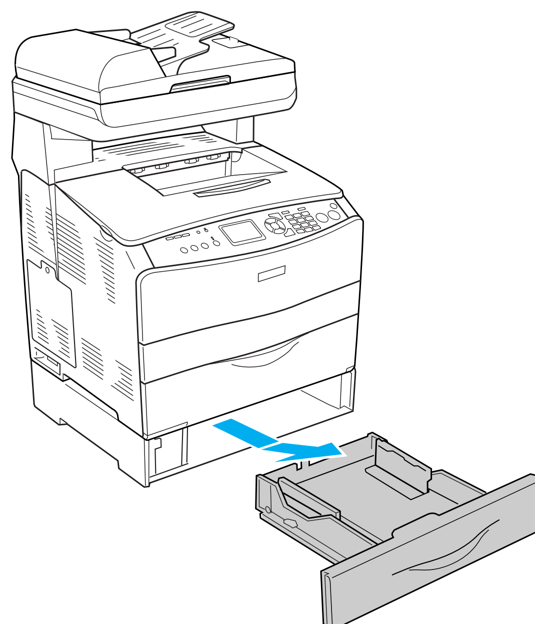
## 増設 1 段カセットユニット(LC/G カバー)で用紙が詰まった場合は

オプション増設 1 段カセットユニットの用紙カセットや G カバーで用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

| 表示部 | メッセージ |
|---|---|
| 操作パネル | 紙を取り除いてください LC G |
| EPSON プリンタウィンドウ !3 | 用紙が詰まりました。<br>次のカバー付近の用紙を取り除いてください。<br>用紙カセット<br>G カバー |

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

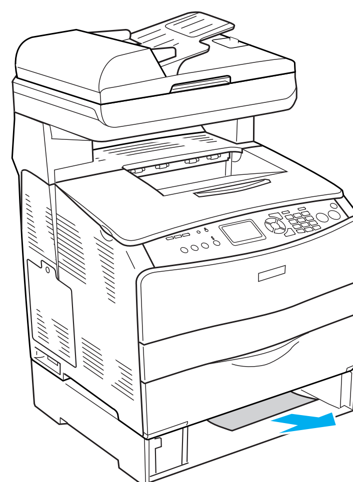
**1** **用紙カセットを増設 1 段カセットユニットから引き抜きます。**



**2** **詰まった用紙が見つかれば用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

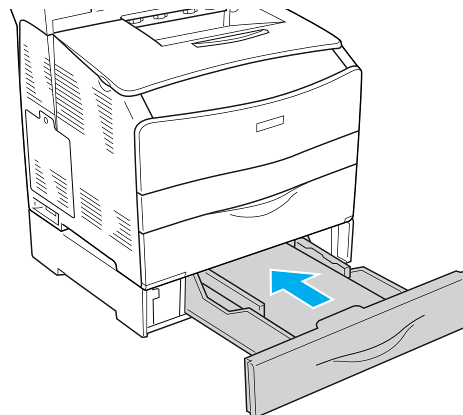
**!注意**

増設 1 段カセットユニットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

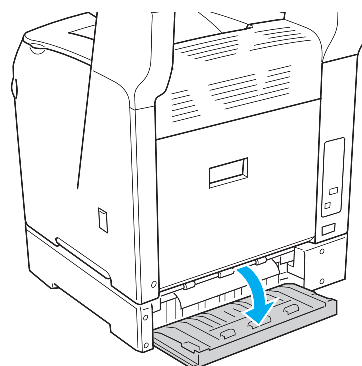


詰まった用紙が見つからない場合や、背面の G カバーで用紙が詰まっていないか確かめるために、さらに次へ進みます。

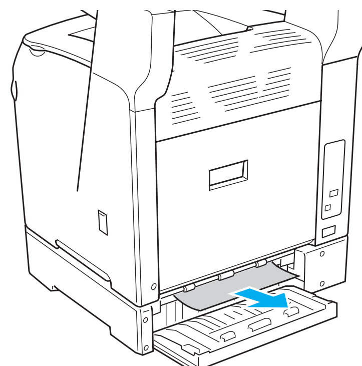
**3** 用紙カセットを増設 1 段カセットユニットに取り付けます。



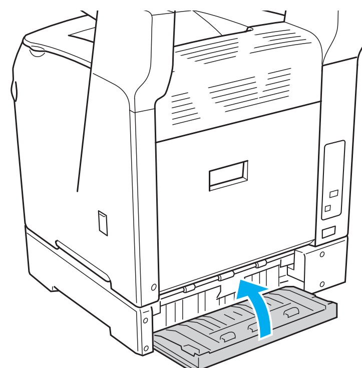
**4** G カバーを開けます。



**5** 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。



**6** G カバーを閉じます。



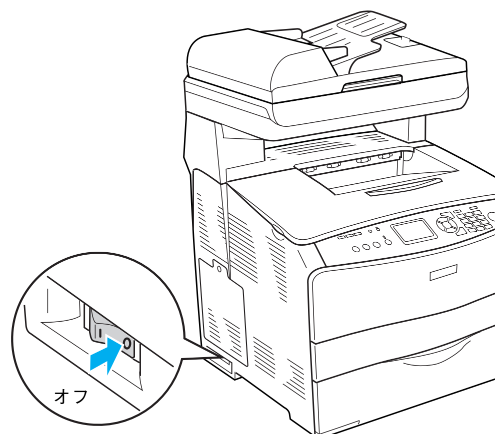
> **参考**
> - G カバーをしっかりと閉じてください。
> - 用紙カセットが正しくセットされていないと、液晶ディスプレイに「用紙をセットしてください tttt ssss」と表示されます。用紙カセットをしっかりと取り付けてください。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後 G カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

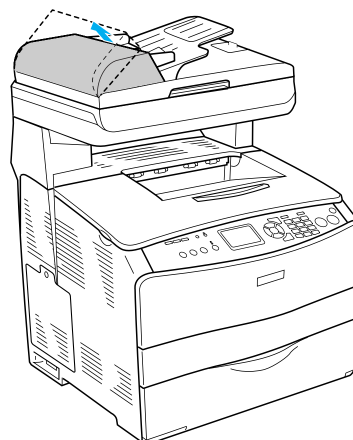
## オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は（LP-A500F）

LP-A500F のオートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は、以下の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

**1** **電源をオフ（○）にします。**

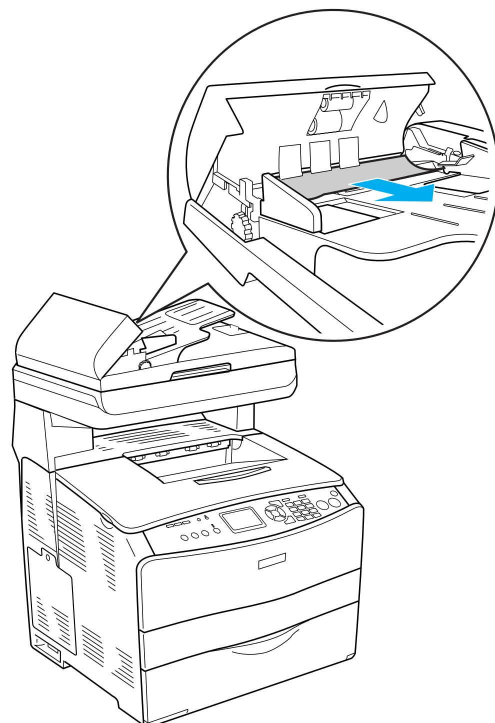



**2** **オートドキュメントフィーダのカバーを開けます。**



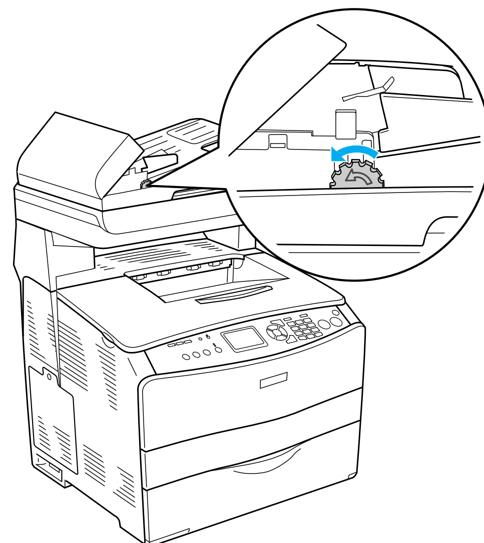
**3** **原稿をゆっくりと引き抜きます。**

原稿を強く引っ張ると、破れるおそれがあるので注意してください。引き抜けない場合は次の手順へ進みます。



4 **原稿が引き抜けない場合は、図のツマミを左に回して用紙を送り出してから、ゆっくりと引き抜きます。**

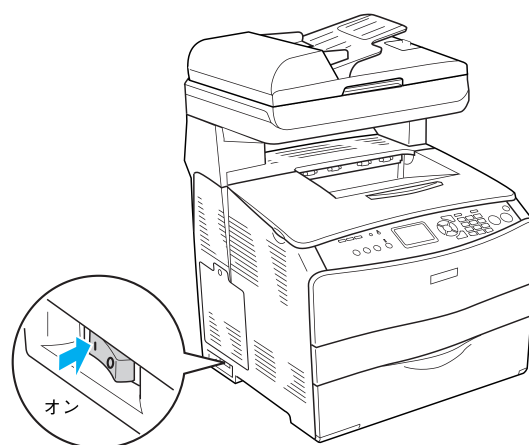
詰まっている原稿を取り除きます。



5 **オートドキュメントフィーダのカバーを閉じます。**



6 **電源をオン（I）にします。**



# 印刷 / コピーのトラブル

## 印刷 / コピーできない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 電源が入らない | **電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？**<br>電源コードを本機とコンセントに、確実に差し込んでください。<br><br>**コンセントに電源は来ていますか？**<br>コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。<br><br>**正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？**<br>コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。<br>コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。 |



以上３点を確認の上で［電源］スイッチをオン（I）にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| ブレーカが動作してしまう | **ブレーカの定格は十分ですか？**<br>ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機に専用配線を用意してください。 |

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 印刷できない | **インターフェイスケーブルが外れていませんか？**<br>本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。<br>**インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？**<br>インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。<br>本書 92 ページ「オプションと消耗品の紹介」<br>**本機が印刷できない状態です。**<br>本機の操作パネルの表示、またはランプの状態を確認します。以下のページを参照して、エラーを解除してから、［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。<br>本書 132 ページ「操作パネルにメッセージが出る」<br>**ネットワーク上の設定は正しいですか？**<br>• ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、本機またはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。<br>• 同梱の［ネットワーク設定ガイド］（PDF）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。 |
| 本機がエラー状態になっている | **操作パネルにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？**<br>ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。<br>本書 139 ページ「ワーニングメッセージ」<br>本書 133 ページ「エラーメッセージ一覧」 |
| エラーが発生する | **本機のメモリ容量は十分ですか？**<br>本機のメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。以下のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。<br>• カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。<br>• 使用していないインターフェイスを［使わない］に設定する。<br>本書 182 ページ「FAX 設定の項目一覧」［ネットワーク設定］<br>上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、プリンタへのメモリの増設をお勧めします。メモリエラーを回避できる場合があります。 |

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>給排紙されない</td><td>
本機の底面より小さな台の上に設置していませんか？<br>本機の底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本機の設置場所を確認してください。<br><br>
本機は水平な場所に設置されていますか？<br>本機の下にはさまれている物はありませんか？<br>設置場所が水平でなかったり、本機の下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。本機の設置場所の環境を再確認してください。<br><br>
本機で印刷可能な用紙を使用していますか？<br>印刷可能な用紙を使用してください。<br>☞本書 220 ページ「用紙関係」<br><br>
セットする前に用紙をさばきましたか？<br>複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。<br><br>
用紙カセットが本機に正しくセットされていますか？<br>増設 1 段カセットユニット装着時は、用紙カセットを正しくセットしてください。<br>☞本書 14 ページ「増設カセット（オプション）に用紙をセットする」<br><br>
給紙ローラが汚れていませんか？<br>給紙ローラを拭いてください。<br>☞本書 121 ページ「給紙ローラを清掃する」<br><br>
ハガキ、封筒、厚紙の先端が下向きに反っていませんか？<br>先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。
</td></tr>
<tr><td>紙を取り除いてくださいエラーが解除されない</td><td>
詰まった用紙をすべて取り除きましたか？<br>プリンタのカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
</td></tr>
<tr><td>用紙を二重送りしてしまう</td><td>
用紙どうしがくっついていませんか？<br>用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。<br><br>
ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？<br>先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。<br><br>
本機に合った用紙を使用していますか？<br>用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。<br>☞本書 220 ページ「用紙関係」
</td></tr>
</table>

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 用紙がカールする | **正しい印刷面へ印刷していますか？**<br>特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。 |
| 定着部での用紙詰まりが連続して発生する | **定着ローラが汚れている可能性があります。**<br>以下の手順で定着ローラを清掃します。<br>①詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。<br>②[ストップ] ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。<br>③A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。<br>用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。<br>④本機に A4 サイズの印刷用紙を 5 枚以上セットします。<br>⑤プリンタドライバの設定を以下のようにします。<br>用紙種類：[厚紙] を選択<br>用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択<br>部単位印刷：[5] を指定<br>⑥③で作成したデータを印刷します。<br>上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。 |
| オートドキュメントフィーダから原稿が給紙されない | **給紙ローラが汚れていませんか？**<br>給紙ローラを清掃してください。<br>本書 127 ページ「オートドキュメントフィーダの給紙ローラを清掃する（LP-A500F のみ）」 |

## 思い通りにコピーできない

| トラブル状態 | 対処方法 |
| --- | --- |
| メモリ不足のエラーが出る | **オートドキュメントフィーダから連続カラーコピーしていませんか？**<br>オートドキュメントフィーダからの連続コピーで、かつ高精細の場合はエラーが表示（メモリ不足）され、止まります。<br>カラーコピーを数回に分けるか「カラー原稿タイプ」項目を変更する、または本機にメモリを増設してメモリ容量の合計が256MB以上になるようにしてください。 |
| 原稿とコピー結果が異なる<br><br>読み取り範囲が異なる | **セットできる原稿サイズを確認しましたか？**<br>本機でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。<br>• A4 ＜ 210 × 297mm ＞<br>• B5 ＜ 182 × 257mm ＞<br>• Letter ＜ 215.9 × 279.4mm ＞<br>• Legal＜215.9×355.6mm＞（LP-A500Fのオートドキュメントフィーダのみ）<br><br>**印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？**<br>用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 5mm はコピーされない場合があります。ただし、［全面コピー］機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。<br>詳細については、以下のページを参照してください。<br>☞本書 24 ページ「印刷用紙サイズと印刷保証領域」<br>☞本書 28 ページ「拡大・縮小コピー」<br><br>**［原稿タイプ］を選択しましたか？**<br>取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーすることができます。<br>☞本書 31 ページ「コピー設定の変更」<br><br>**オートドキュメントフィーダのカバーは確実にしまっていますか？**<br>オートドキュメントフィーダのカバーが開いていると、原稿を取り込むことができず、真っ白なコピー結果になります。<br>オートドキュメントフィーダのカバーを確実に閉じてください。 |

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 裏写りする /<br>背景の色が写り込む | **裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？**<br>原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてコピーされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてコピーすると、改善できる場合があります。<br><br>**コピー時の設定は原稿に合っていますか？**<br>原稿に合った設定を選択してコピーしてください。正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。<br>正しい設定を選択しても裏写りや背景色の写り込みが気になる場合は、原稿タイプで「文字」を選択するか、コントラストを ＋ 方向の値に設定することにより写り込みを改善できます。<br>☞本書 31 ページ「コピー設定を変更する」 |
| 色合いが異なる | **原稿が薄い色で印刷されていませんか？**<br>薄い色の原稿や、文字や写真がかすれていたりする場合、きれいに取り込めない場合があります。<br>［濃度］の設定を変更することで、きれいに取り込める場合があります。<br>☞本書 31 ページ「コピー設定の変更」<br><br>**コピーの色合い設定を調整しましたか？**<br>コントラストと RGB カラーバランスを設定することによって、コピーの色合いを調整できます。<br>☞本書 31 ページ「コピー設定の変更」<br><br>**コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？**<br>コピーで使用できる印刷用紙は次の通りです。<br>• 普通紙（コピー用紙、再生紙）<br>• 上質紙<br>• ラベル紙<br>• OHP シート<br>上記以外の用紙（厚紙やコート紙など）には、コピーできません。 |
| 2 枚の原稿を 1 枚の印刷用紙にコピーできない | **［割付 2in1］の設定をしましたか？**<br>2 枚の原稿を 1 枚の印刷用紙に割り付けてコピーする場合、［割付 2in1］を設定する必要があります。<br>☞本書 26 ページ「2 アップコピー（2in1 コピー）」 |
| 縦に線の入った結果になる | **オートドキュメントフィーダの小窓が汚れていませんか？**<br>オートドキュメントフィーダの小窓にゴミや汚れが付着していると、縦に線の入った結果になります。<br>オートドキュメントフィーダの小窓を清掃してください。<br>☞本書 126 ページ「オートドキュメントフィーダの小窓を清掃する（LP-A500F のみ）」 |

## きれいにコピーできない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 原稿台にセットした場合とオートドキュメントフィーダにセットした場合で結果が異なる | **オートドキュメントフィーダから原稿を取り込んでいませんか？**<br>オートドキュメントフィーダに原稿をセットしてコピーした場合、原稿台にセットしてコピーしたときに比べて画質が劣ります。<br>よりきれいにコピーしたい場合は、原稿台に原稿をセットしてコピーしてください。 |
| 原稿とコピー結果が異なる | **セットできる原稿サイズを確認しましたか？**<br>本機でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。<br>• A4 ＜ 210 × 297mm ＞<br>• B5 ＜ 182 × 257mm ＞<br>• Letter ＜ 215.9 × 279.4mm ＞<br>• Legal＜215.9×355.6mm＞（LP-A500Fのオートドキュメントフィーダのみ）<br><br>**印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？**<br>用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 5mm はコピーされない場合があります。ただし、［全面コピー］機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。<br>詳細については、以下のページを参照してください。<br>☞本書 24 ページ「印刷用紙サイズと印刷保証領域」<br>☞本書 28 ページ「拡大・縮小コピー」<br><br>**［原稿タイプ］を選択しましたか？**<br>取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーすることができます。<br>☞本書 31 ページ「コピー設定の変更」<br><br>**コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？**<br>コピーで使用できる印刷用紙は次の通りです。<br>• 普通紙（コピー用紙、再生紙）<br>• 上質紙<br>• ラベル紙<br>• OHP シート<br>上記以外の用紙（厚紙やコート紙など）には、コピーできません。<br><br>**オートドキュメントフィーダのカバーは確実にしまっていますか？**<br>オートドキュメントフィーダのカバーが開いていると、原稿を取り込むことができず、真っ白なコピー結果になります。<br>オートドキュメントフィーダのカバーを確実に閉じてください。 |

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 色合いが異なる | **原稿が薄い色で印刷されていませんか？**<br>薄い色の原稿や、文字や写真がかすれていたりする場合、きれいに取り込めない場合があります。<br>［濃度］の設定を変更することで、きれいに取り込める場合があります。<br>☞本書 31 ページ「コピー設定の変更」 |
| 縦に線の入った結果になる | **オートドキュメントフィーダの小窓が汚れていませんか？**<br>オートドキュメントフィーダの小窓にゴミや汚れが付着していると、縦に線の入った結果になります。<br>オートドキュメントフィーダの小窓を清掃してください。<br>☞本書 126 ページ「オートドキュメントフィーダの小窓を清掃する（LP-A500F のみ）」 |

# ファックスのトラブル

## 日付時刻の表示がおかしい

| トラブル状態 | 対処方法 |
| --- | --- |
| 送信したファックスなどの日付時刻表示が設定した数値と違った表示になる | **長時間（10 日程度）電源を切った状態にしておくと、日付時刻の設定がリセットされます。**<br>この場合は、下記を参照して正しい日付と時刻を設定し直してください。<br>本書 180 ページ「プリンタ設定の項目一覧」－「デバイス設定」－「日付時間設定」 |

## ファックスが送信できない

| トラブル状態 | 対処方法 |
| --- | --- |
| ダイヤルできない | **［回線種別］を設定してありますか？**<br>お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。<br>『セットアップガイド』（紙マニュアル）［ファックス機能の初期設定］<br>**［ダイヤル種別］を設定してありますか？**<br>お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。<br>『セットアップガイド』（紙マニュアル）［ファックス機能の初期設定］ |
| 原稿が取り込まれない | **オートドキュメントフィーダのカバーは確実にしまっていますか？**<br>オートドキュメントフィーダのカバーが開いていると、原稿を取り込むことができず、真っ白な結果になります。<br>オートドキュメントフィーダのカバーを確実に閉じてください。 |

## ファックスが受信できない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 受信できない | **［回線種別］を設定してありますか？**<br>お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。<br>☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）［ファックス機能の初期設定］<br><br>**［ダイヤル種別］を設定してありますか？**<br>お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。<br>☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）［ファックス機能の初期設定］<br><br>**［受信モード］を確認しましたか？**<br>外付電話機を指定回数の呼び出し、本機が応答してファックスデータを受信する［自動切替］と、外付電話機の呼び出しを行わず、本機が自動的に応答してファックスデータを受信する［FAX 専用］と、外付電話機の呼び出し音を鳴らし続ける［電話専用］の着信モードがあります。<br>［TAM］は、留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替えるモードです。<br>☞本書 48 ページ「受信モードについて」 |
| 印刷用紙が 2 枚に分割される、縮小される | **印刷用紙サイズより大きいファックスデータを受信していませんか？**<br>印刷用紙サイズより大きいファックスデータを受信した場合、本機は 2 枚の印刷用紙に分割、または縮小して1枚の用紙に収まるように調整します。<br>☞本書 34 ページ「送受信できる原稿サイズ」 |

## 送信ファックスがきれいではない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 原稿台にセットした場合とオートドキュメントフィーダにセットした場合で結果が異なる | **オートドキュメントフィーダから原稿を送信していませんか？**<br>オートドキュメントフィーダに原稿をセットして送信した場合、原稿台にセットして送信したときに比べて画質が劣ります。<br>よりきれいに送信したい場合は、原稿台に原稿をセットして送信してください。 |
| 思い通りに取り込めない | **原稿の取り込み設定をしていますか？**<br>送付する際の濃度との画質を指定します。<br>文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。また、原稿に合わせて画質を設定してください。<br>☞本書 37 ページ「ファックス番号を入力して送信する」手順 5 |
| 真っ白な原稿が送信される | **オートドキュメントフィーダのカバーは確実にしまっていますか？**<br>オートドキュメントフィーダのカバーが開いていると、原稿を取り込むことができず、真っ白な原稿が送信されます。<br>オートドキュメントフィーダのカバーを確実に閉じてください。 |
| 縦に線の入った原稿が送信される | **オートドキュメントフィーダの小窓が汚れていませんか？**<br>オートドキュメントフィーダの小窓を清掃してください。<br>☞本書 126 ページ「オートドキュメントフィーダの小窓を清掃する（LP-A500F のみ）」 |
| ゴミのようなものが入る | **原稿台が汚れていませんか？**<br>原稿台を清掃してください。<br>☞本書 125 ページ「原稿台を清掃する」 |

## EPSON Speed Dial Utility から宛先が登録できない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| EPSON Speed Dial Utility（宛先登録ツール）が起動できない | **EPSON Speed Dial Utility とプリンタドライバがインストールされていますか？**<br>登録には、EPSON Speed Dial Utility 以外にもプリンタドライバが必要です。 |
| USB 接続で宛先登録ができない | **USB ケーブルは正しく接続されていますか？**<br>本機とコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。<br><br>**EPSON Speed Dial Utility の［設定］項目で［通信経路設定］は、「USB」になっていますか？**<br>EPSON Speed Dial Utility の［設定］項目の［通信経路設定］が「USB」になっていることを確認してください。<br><br>**印刷中ではないですか？**<br>本機が印刷中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。 |
| ネットワーク接続で宛先登録ができない | **ネットワークケーブルは正しく接続されていまか？**<br>本機とコンピュータに、それぞれネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。<br><br>**EPSON Speed Dial Utility の［設定］項目で［通信経路設定］は、「Network」になっていますか？**<br>EPSON Speed Dial Utility の［設定］項目の［通信経路設定］が「Network」になっていることを確認してください。<br><br>**本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？**<br>本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。<br>☞『ネットワーク設定ガイド』（PDF） |

# スキャンのトラブル

## 操作パネルでスキャンできない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 保存先のコンピュータが見つからない | **保存先のコンピュータは起動していますか？**<br>保存先のコンピュータが起動していることを確認してください。<br><br>**保存先のコンピュータがネットワーク環境の場合、ネットワークにログオンしていますか？**<br>保存先のコンピュータがネットワークにログオンしていることを確認してください。<br><br>**本機に接続されているコンピュータに、EPSON Scan（スキャナドライバ）と、アプリケーションソフトの「EPSON Creativity Suite」と「PageManager for EPSON」（Windows のみ）をインストールしてありますか？**<br>本機の操作パネルで操作してスキャンしたデータを直接保存するには、本機に接続されているコンピュータに、スキャナドライバの EPSON Scan と、専用のアプリケーションソフトウェア「EPSON Creativity Suite」と「PageManager for EPSON」（Windows のみ）をインストールする必要があります。<br>☞本書 83 ページ「操作パネルでスキャン」<br><br>**「PageManager for EPSON」（Windows のみ）のライセンスシリアル番号の入力は済んでいますか？**<br>「PageManager for EPSON」は、インストール後、ライセンスシリアル番号の入力をしないと起動しません。以下の手順を参考にライセンスを入力してください。<br>☞本書 77 ページ「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Windows）」手順 10<br><br>**「PageManager for EPSON」（Windows のみ）の同一ライセンスシリアル番号を複数のコンピュータで使用していませんか？**<br>「PageManager for EPSON」のライセンスシリアル番号は、1 ユーザまでです。複数のコンピュータで同一のライセンスシリアル番号を使用することはできません。<br><br>**ご利用の環境に複数のネットワークが存在していませんか？**<br>ネットワーク環境が複数存在すると、操作パネルにコンピュータの名称が表示されないことがあります。不要なネットワークを［無効］に設定してください。 |

## [スタート]ボタンを押してもスキャンが始まらない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| スキャンが始まらない | **本機がウォームアップ中ではありませんか？**<br>本機が節電モードの状態からスキャンを実行すると、ウォームアップ（約30 秒〜最大 3 分）後にスキャンを開始します。ウォームアップが終了するまでお待ちください。<br><br>**「PageManager for EPSON」（Windows のみ）を使用していませんか？**<br>保存先のコンピュータで、すでに「PageManager for EPSON」を使用している場合、操作パネルの［スタート］ボタンを押してもスキャンが始まらないことがあります。保存先のコンピュータの状態を確認してください。<br><br>**保存先のコンピュータで EPSON Scan を使用していませんか？**<br>保存先のコンピュータで、すでに EPSON Scan を使用している場合、操作パネルの［スタート］ボタンを押してもスキャンが始まらないことがあります。保存先のコンピュータの状態を確認してください。 |

## 思い通りにスキャンできない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 思い通りに取り込めない | **原稿の取り込み設定をしていますか？**<br>スキャン時に［手動スキャン］にして取り込み時の詳細な設定をしてください。<br>☞本書 88 ページ「読み込むサイズとカラー / モノクロを設定してスキャン（手動スキャン）する」 |
| 真っ白なスキャン結果になる | **オートドキュメントフィーダのカバーは確実にしまっていますか？**<br>オートドキュメントフィーダのカバーが開いていると、原稿を取り込むことができず、真っ白なスキャン結果になります。<br>オートドキュメントフィーダのカバーを確実に閉じてください。 |
| 縦に線の入った結果になる | **オートドキュメントフィーダの小窓が汚れていませんか？**<br>オートドキュメントフィーダの小窓を清掃してください。<br>☞本書 126 ページ「オートドキュメントフィーダの小窓を清掃する（LP-A500F のみ）」 |
| 原稿台にセットした場合とオートドキュメントフィーダにセットした場合で結果が異なる | **オートドキュメントフィーダから原稿をスキャンしていませんか？**<br>オートドキュメントフィーダに原稿をセットしてスキャンした場合、原稿台にセットしてスキャンしたときに比べて画質が劣ります。<br>きれいにスキャンしたい場合は、原稿台に原稿をセットしてスキャンしてください。 |

## スキャンしたデータを保存できない

| トラブル状態 | 対処方法 |
|---|---|
| 保存先のコンピュータのハードディスクに保存できない | **保存先のコンピュータのハードディスクの空き容量は十分ですか？**<br>保存先のコンピュータのハードディスクの空き容量を確認してください。<br><br>**保存先のコンピュータがスリープモード、または電源がオフになっていませんか？**<br>スキャンデータを保存先のコンピュータに送信するまでに、コンピュータがスリープモード、または電源がオフになった可能性があります。保存先のコンピュータを確認してください。 |

# どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まず本機の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。



**操作パネルでステータスシートの印刷とコピーができますか？**

☞『セットアップガイド』-［動作確認］

**できる**　　　　**できない**







**エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の巻末に記載されています。**

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認のうえ、ご連絡ください。



**故障している可能性があります。**

- 保守契約をされている場合は、保守契約店にご相談ください。
- 保守契約をされていない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理センターへ修理をご依頼ください。依頼先は、本書巻末に記載されています。
  保守サービスのご案内は、『活用ガイド』-「保守サービスのご案内」をご覧ください。



本機の製造番号は以下を参照してご確認ください。
☞ 本書 218 ページ「製造番号の表示位置」

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

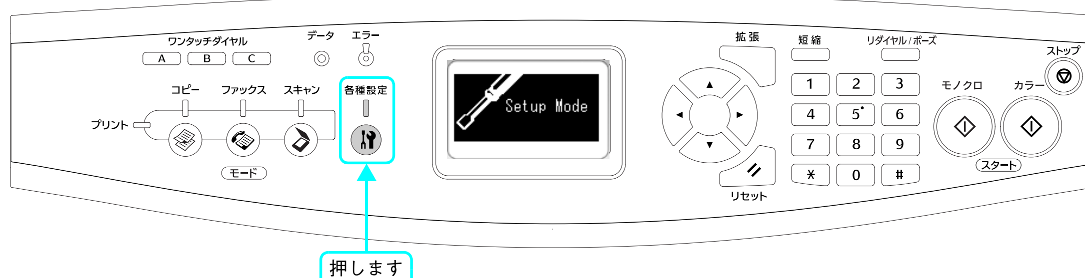
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

# 8 付録

操作パネルでの設定一覧やサービス・サポート、仕様を説明します。

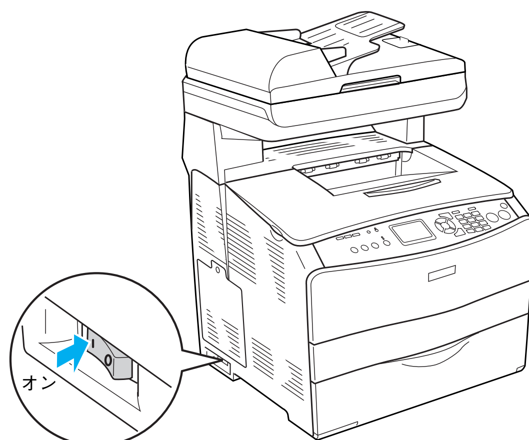
# 操作パネルによる設定 / 確認

ここでは、操作パネルでの設定変更方法 / 確認方法と設定項目と設定値について説明します。



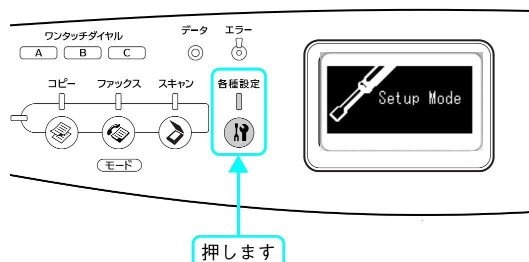

## 設定を変更する

**1** **電源をオン（I）にします。**




**2** **［各種設定］ボタンを押します。**

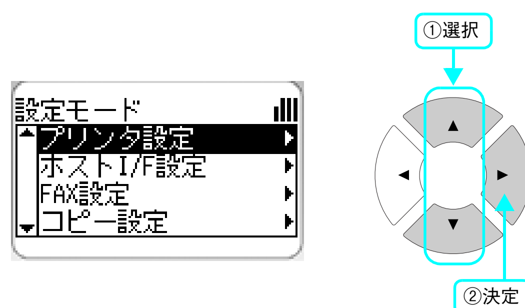
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。




**3** **設定を選択します。**

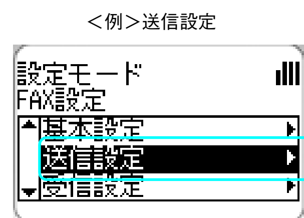
［▲］または［▼］ボタンを押して設定を選択してから、［▶］ボタンを押します。

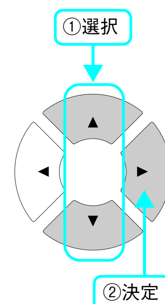
| 設定 | 説明 |
|---|---|
| プリンタ設定 | プリンタに関する設定を行います。 |
| ホスト I/F 設定 | 本機のインターフェイスに関する設定を行います。 |
| FAX 設定 | ファックスに関する設定を行います。 |
| コピー設定 | コピーに関する設定を行います。 |
| スキャナ設定 | スキャナに関する設定を行います。 |



**4** ［▲］または［▼］ボタンで変更する設定分類を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

<例>送信設定

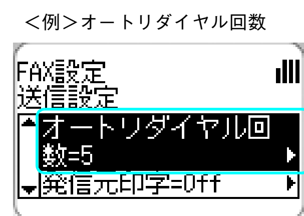


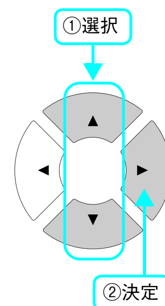




**5** ［▲］または［▼］ボタンで項目を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

［◀］ボタンを押すと前画面に戻ります。

<例>オートリダイヤル回数




以上で設定変更の手順は終了です。

## プリンタ設定の項目一覧

| 分類 | 設定項目 | 表示 / 設定範囲 |
|---|---|---|
| プリンタ情報 | ステータスシート印刷 | − |
| | ネットワーク情報印刷 | − |
| | C トナー残量 | E □□□□□□ F ～ E ＊＊＊＊＊＊ F |
| | M トナー残量 | E □□□□□□ F ～ E ＊＊＊＊＊＊ F |
| | Y トナー残量 | E □□□□□□ F ～ E ＊＊＊＊＊＊ F |
| | K トナー残量 | E □□□□□□ F ～ E ＊＊＊＊＊＊ F |
| | 感光体ライフ | E □□□□□□ F ～ E ＊＊＊＊＊＊ F |
| | 延べ印刷枚数 | 0 ～ 99999999 |
| | カラー印刷枚数 | 0 ～ 99999999 |
| | B/W 印刷枚数 | 0 ～ 99999999 |
| 給紙装置設定 | MP トレイサイズ | A4、A5、B5、はがき，往復はがき、四面連刷はがき、LT、HLT、GLT、EXE、LGL、GLG、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 3 号 |
| | カセットサイズ | A4、LT |
| | MP トレイタイプ | 普通紙、上質紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル |
| | カセットタイプ | 普通紙、上質紙、レターヘッド、再生紙、色つき |
| デバイス設定 | 表示言語 | 日本語、English |
| | 節電時間 | 5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分 |
| | MP トレイ優先 | する、しない |
| | 用紙サイズフリー | On、Off |
| | 自動エラー解除 | する、しない |
| | LCD コントラスト | 0 ～ 7 ～ 15（1 刻み） |
| | 日付時間設定 | YYYY/MM/DD HH:MM<br>（YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日、HH: 時、MM: 分） |
| | 日付表示フォーマット | YYYY/MM/DD、DD/MM/YYYY、MM/DD/YYYY<br>（YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日） |

| 分類 | 設定項目 | 表示 / 設定範囲 |
|---|---|---|
| プリンタリセット | ワーニングクリア | ― |
| | 全ワーニングクリア | ― |
| | リセット | ― |
| | リセット オール | ― |
| | 設定初期化 | ― |
| | C トナーカートリッジ交換 | ―<br>説明：C トナーカートリッジを交換する際、トナーカートリッジを装着口に移動します。 |
| | M トナーカートリッジ交換 | ―<br>説明：M トナーカートリッジを交換する際、トナーカートリッジを装着口に移動します。 |
| | Y トナーカートリッジ交換 | ―<br>説明：Y トナーカートリッジを交換する際、トナーカートリッジを装着口に移動します。 |
| | K トナーカートリッジ交換 | ―<br>説明：K トナーカートリッジを交換する際、トナーカートリッジを装着口に移動します。 |

## ホスト I/F 設定

| 分類 | 設定項目 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| USB I/F 設定 | USB I/F | 使う、使わない |
| | USB SPEED | HS、FS |
| ネットワーク設定 | ネットワーク I/F | 使う、使わない |
| | ネットワーク設定 | しない、する |
| | IP アドレス設定 | パネル、自動、PING |
| | IP | 0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（192.168.192.168） |
| | SM | 0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.0） |
| | GW | 0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.255） |
| | AppleTalk | On、Off |
| | MS Network | On、Off |
| | Rendezvous | On、Off |
| | Link Speed | 自動、100 Full、100 Half、10 Full、10 Half |

## FAX 設定の項目一覧

| 分類 | 設定項目 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 基本設定 | 回線種別 | PSTN、PBX |
| | ダイヤル種別 | トーン、10pps、20pps |
| | 自局番号 | 名称<br>説明：添付の EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使用して、［名前］を 2 バイト文字で 16 文字（1 バイト文字で 32 文字）を登録します。 |
| | | 番号 ＜ 20 桁＞<br>説明：テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号を入力します。［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力できます。 |
| | スピーカ音量 | OFF、1、2、3 |
| | FAX レポート印刷設定 | 日本語、English |
| 送信設定 | オートリダイヤル回数 | 0 ～ 99 |
| | 発信元印字 | On、Off |
| 受信設定 | 給紙用紙カセット | 自動、MP トレイ、カセット |
| | 受信モード | 自動切替、FAX 専用、電話専用、TAM |
| | 外付電話呼出時間 | 1 ～ 99（10 秒） |
| 短縮ダイヤル設定 | 個別短縮ダイヤル | －<br>説明：短縮ダイヤルの登録 / 変更 / 削除を行います。<br>本書 62 ページ「操作パネルから宛先を登録する」<br>本書 66 ページ「操作パネルから宛先番号を変更する」<br>本書 71 ページ「操作パネルから宛先を削除する」 |
| | ワンタッチダイヤル | －<br>説明：ワンタッチダイヤルの登録 / 変更 / 削除を行います。<br>本書 62 ページ「操作パネルから宛先を登録する」<br>本書 66 ページ「操作パネルから宛先番号を変更する」<br>本書 71 ページ「操作パネルから宛先を削除する」 |
| | 短縮ダイヤルオールクリア | －<br>説明：全短縮ダイヤル情報の一括クリアします。<br>本書 73 ページ「すべて削除」 |
| 通信管理設定 | 通信管理レポート | On、Off |
| | 送信レポート | 常時、エラー時のみ、なし |
| | 同報レポート | 常時、エラー時のみ、なし |
| FAX工場出荷時設定 | 工場出荷時設定 | －<br>説明：FAX 設定を工場出荷時の設定に戻します。 |

## コピー設定の項目一覧

| 分類 | 設定項目 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| コピー動作設定 | 標準値設定 | ー<br>説明：コピー動作設定を初期値に戻します。 |
| コピー工場出荷時設定 | 工場出荷時設定 | ー<br>説明：コピー設定を工場出荷時の設定に戻します。 |

## スキャナ設定の項目一覧

| 分類 | 設定項目 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| キャリッジロック | ー | ー<br>説明：輸送の際などにスキャナのキャリッジをロック位置に移動します。 |

# IP アドレスを操作パネルから設定

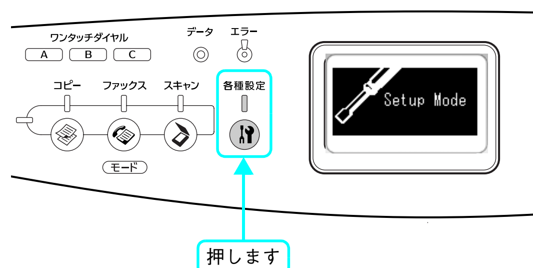
本機をネットワークで使用する際の IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを、操作パネルから設定する方法を説明します。

## 標準ネットワークインターフェイスを設定する

本機の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

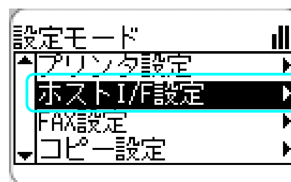
**1** **［各種設定］ボタンを押します。**

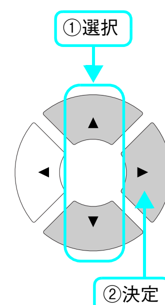
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。




**2** **［ホスト I/F 設定］を選択します。**

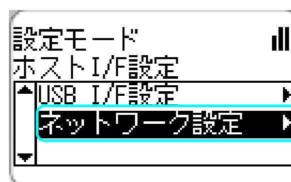
［▲］または［▼］ボタンを押して［ホスト I/F 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

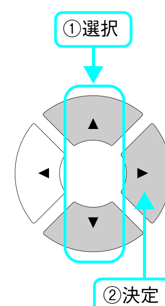



**3** **［ネットワーク設定］を選択します。**

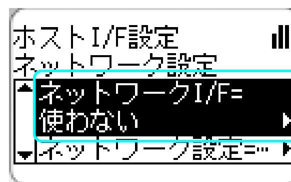
［▲］または［▼］ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

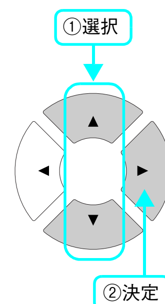



**4** **［ネットワーク I/F= 使わない］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ネットワーク I/F= 使わない］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

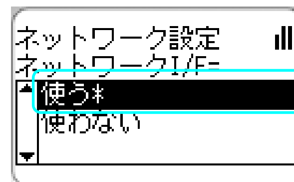


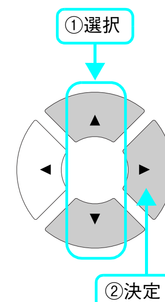




［ネットワーク I/F= 使う］に設定されている場合は、6 へ進みます。

## 5 ［使う］を選択します。

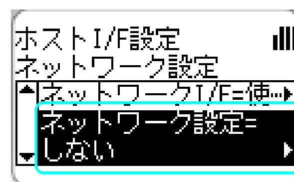
［▲］または［▼］ボタンを押して［使う］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

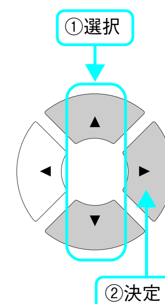



## 6 ［ネットワーク設定＝しない］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ネットワーク設定 ＝ しない］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



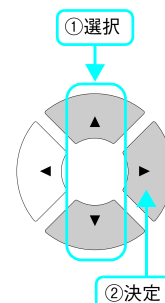




［ネットワーク設定 ＝ する］に設定されている場合は、8へ進みます。

## 7 ［する］を選択します。

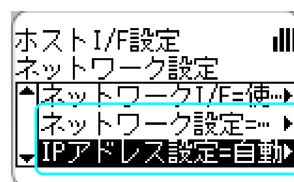
［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択してから、［▶］ボタンを押して［＊］マークを付けます。

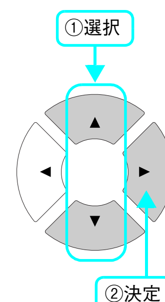



## 8 ［IP アドレス設定 =xx］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［IP アドレス設定 =xx］（xx は「自動」または「PING」）を選択してから、［▶］ボタンを押します。

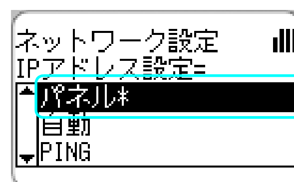


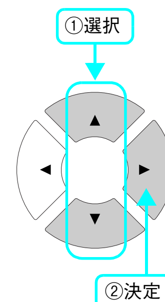




［IP アドレス設定 ＝ パネル］に設定されている場合は、10へ進みます。

## 9 ［パネル］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［パネル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

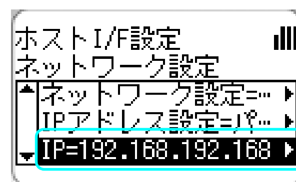


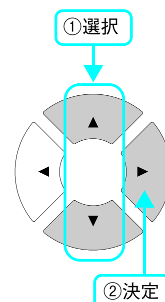



## 10 ［IP］/［SM］/［GW］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［IP］/［SM］/［GW］からいずれかを選択してから、［▶］ボタンを押します。

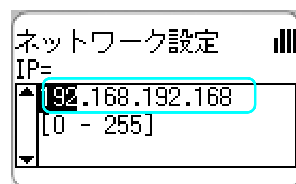
| 設定項目 | 意味 |
|---|---|
| IP | IP アドレスを設定します。<br>（初期設定：192.168.192.168） |
| SM | サブネットマスクを設定します。<br>（初期設定：255.255.255.0） |
| GW | ゲートウェイアドレスを設定します。<br>（初期設定：255.255.255.255） |



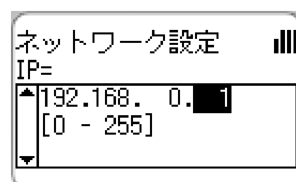



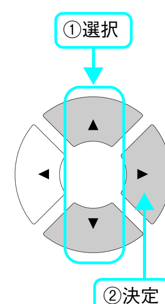

## 11 ［▲］または［▼］ボタンでアドレス番号を設定してから、［▶］ボタンで次の設定に移ります。

アドレス番号は、テンキー（ダイヤルボタン）を使って設定することもできます。




＜例＞ 192.168.0.1 の場合




以上で操作パネルでの IP アドレス設定は終了です。

# 本機の状態や設定値を印刷するには

本機の現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。また、本機のファックスの状況を印刷するレポート機能があります。

ステータスシートを印刷すると、プリンタの現在の状態を確認できます。次の場合に、ステータスシートを印刷してください。

- 本機の動作に異常がないかを確認する場合
- 本機の現在の設定を確認したい場合
- 本機にオプションを取り付けた場合（取り付けたオプションが正しく認識されると、ステータスシートの印刷内容にそのオプションが追加されます）

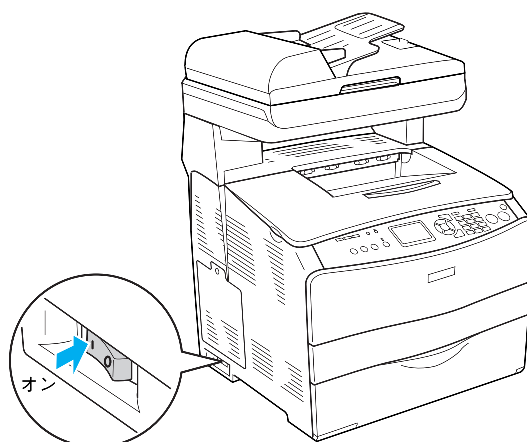
ファックスのレポート機能では、以下のレポート・リストを印刷します。

- 送信レポート
- 同報レポート
- 通信管理レポート
- 短縮ダイヤルリスト
- FAX 設定リスト
- メモリジョブ情報

> **参考**
> ステータスシートには、モノクロ印刷されるカタカナ表記の簡易ステータスシートとカラー印刷される日本語表記の標準ステータスシートの 2 種類があります。操作パネルからは簡易ステータスシートが印刷できます。
> 本書 187 ページ「ステータスシート（簡易版）の印刷」

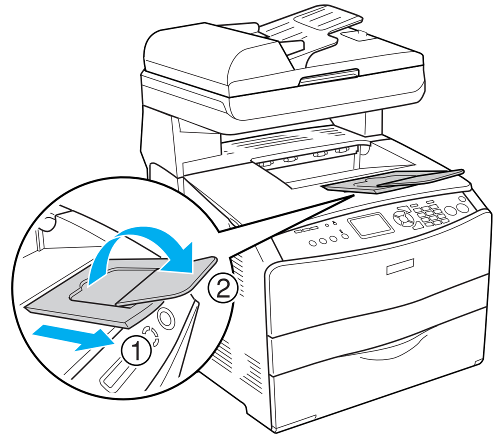
## ステータスシート（簡易版）の印刷

**1** **電源がオン（I）になっていることを確認します。**



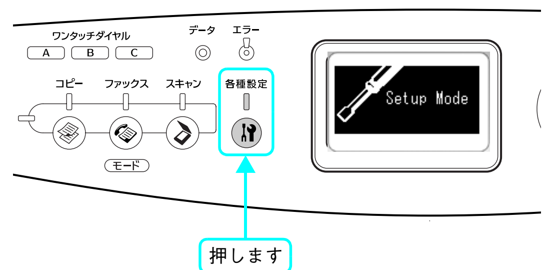
**2** **排紙延長トレイを①引き出してから、②開きます。**

印刷された用紙が排紙トレイ内に保持されます。



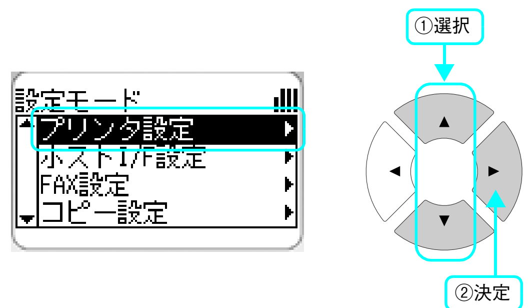
**3** **操作パネルの [ 各種設定 ] ボタンを押します。**

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。



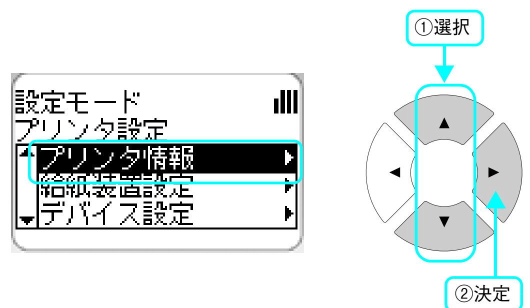

**4** **[ プリンタ設定 ] を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**5** **［プリンタ情報］を選択します。**

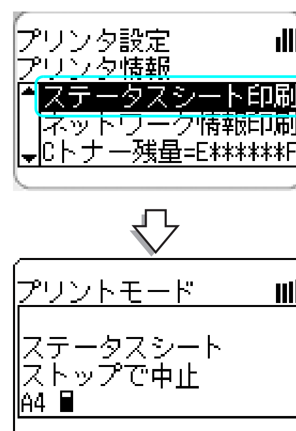
［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

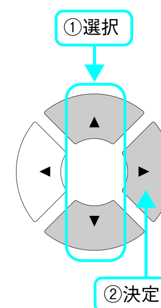


## 6 [ ステータスシート印刷 ] を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ステータスシート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が [ プリントモード ] に戻り、[ 印刷できます ] と表示されます。




## 7 ステータスシートが印刷されたか確認します。

ステータスシート（簡易版）

```
*** EPSON LP-A500 ステータスシート ***
プ゚リンタジ゙ョウホウ                                                Part Numbers
    Cトナーザ゙ンリョウ            E***** F                        LPCA4ETC4C/LPCA4ETC5C
    Mトナーザ゙ンリョウ            E******F                        LPCA4ETC4M/LPCA4ETC5M
    Yトナーザ゙ンリョウ            E******F                        LPCA4ETC4Y/LPCA4ETC5Y
    Kトナーザ゙ンリョウ            E****  F                        LPCA4ETC5K
    カンコウタイ ライフ            E****  F                        LPCA4KUT3
    ノベ゙インサツマイスウ          6025
    カラーインサツマイスウ          5173
    B/Wインサツマイスウ            852
キュウシソウチ メニュー
    トレイヨウシサイズ゙            A4
    トレイタイプ゚                  フツウシ
デ゙バ゙イスセッテイ メニュー
    ヒョウジ゙ゲ゙ンゴ゙              ニホンゴ゙
    セツデ゙ンジ゙カン              30Min
    トレイ                        スル
    ヨウシサイズ゙フリー            Off
    ジ゙ド゙ウエラーカイジ゙ョ          シナイ
    LCDコントラスト                7
USB I/F セッテイ メニュー
    USB I/F                       ツカウ
    USB Speed                     HS
ネットワークI/F セッテイ メニュー
    ネットワークI/F                ツカウ
    IPアド゙レスセッテイ            パ゚ネル
    IP                            ***.***.***.***
    SM                            255.255.255.0
    GW                            ***.***.***.***
    AppleTalk                     On
    MS Network                    On
    Rendezvous                    Off
    Link Speed                    ジ゙ド゙ウ
ハード゙ウェアカンキョウ
    シリアルNo.                    **********
    メモリ                        256MB
    インターフェイス              USB,ネットワーク
    LAN HW Address                **********
    LAN HW Revision               0
    LAN FW Revision               02.30
    キュウシソウチ                MPトレイ
コピ゚ーセッテイメニュー
    LUTバ゙ージ゙ョン                00.06
    コピ゚ーマイスウ                1
    モノクロゲ゙ンコウタイプ゚        モジ゙
    カラーゲ゙ンコウタイプ゚          モジ゙/シャシン
    バ゙イリツ                      100
    ゼ゙ンメンコピ゚ー                Off
    ヨウシサイズ゙                  MPトレイ A4
    ノウド゙                        0
    コントラスト                  0
    R                             0
    G                             0
    B                             0
IA0752*AV1C0MC0000007300 *****************F   JC000005IC000000000000 000000000000
SEIKO EPSON CORPORATION
```

以上でステータスシート（簡易版）の確認は終了です。

# ファックスのレポート機能を設定する

ここでは、ファックスのレポート機能について説明します。

## ■ パワーオフレポート

本機の電源をオフにした際、メモリ上に未処理の蓄積データがあった場合、次回電源投入時に消失した情報のレポートを出力します。

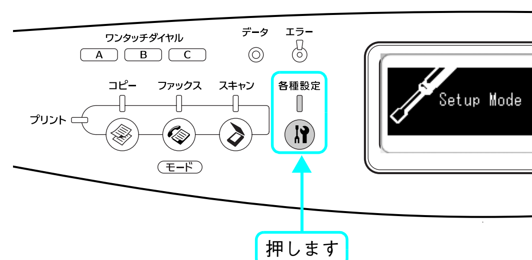
## ■ 通信管理レポート、送信レポート、同報レポートの設定

ファックスのレポート機能を設定します。

| レポート名 | 説明 |
|---|---|
| 通信管理レポート | 送受信結果を 50 件ごと印刷します。 |
| 送信レポート | 送信結果を自動で毎回、またはエラー時に印刷します。 |
| 同報レポート | 同報送信結果を自動で毎回、またはエラー時に印刷します。 |

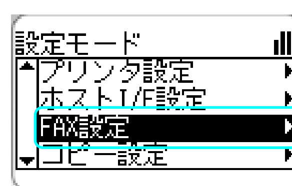
**1** **操作パネルの [ 各種設定 ] ボタンを押します。**

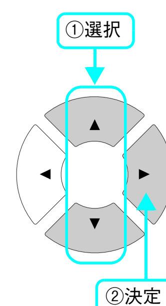
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。




**2** **［FAX 設定］を選択します。**

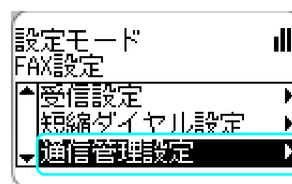
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

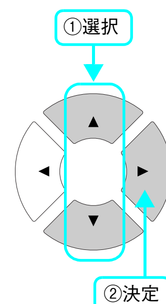



**3** **［通信管理設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［通信管理設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

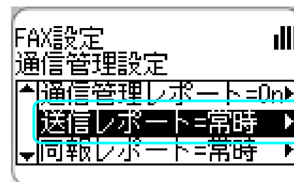


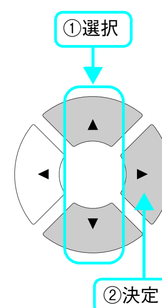



## 4 設定する項目を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して項目を選択してから、［▶］ボタンを押します。

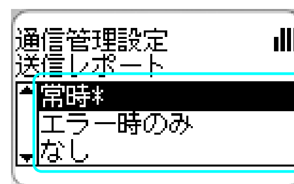
［送信レポート］選択時

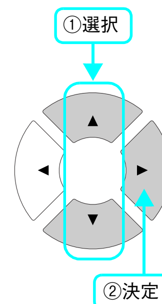



## 5 設定値を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［パネル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




| 項目名 | 設定値 |
|---|---|
| 通信管理レポート | 通信管理レポートを印刷します。［On］にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。 |
| | Off、On |
| 送信レポート | 送信結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを出力します。「エラー時のみ」にすると、送信できないときにのみレポートを出力します。 |
| | 常時、エラー時のみ、なし |
| 同報レポート | 同報送信の結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを出力します。「エラー時のみ」にすると、送信できないときにのみレポートを出力します。 |
| | 常時、エラー時のみ、なし |

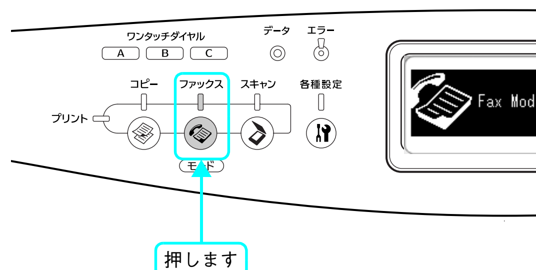
以上で通信管理レポート、送信レポート、同報レポートの設定は終了です。

## 通信管理レポートの印刷

設定したファックスのレポート機能の設定以外でも、以下の手順で通信管理レポートを印刷することができます。

**1 ［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。




**2 ［拡張］ボタンを押してから、［FAX レポート印刷］を選択します。**

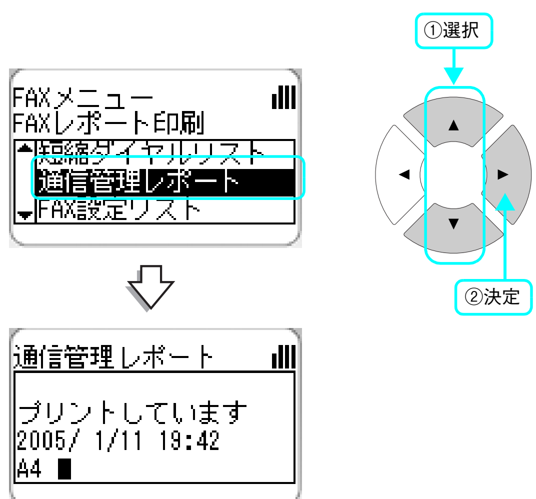
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX レポート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**3 ［通信管理レポート］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［通信管理レポート］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。



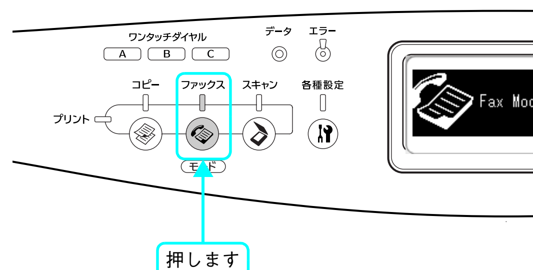

以上で通信管理レポートの印刷は終了です。

## 短縮ダイヤルリストの印刷

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ登録リストに登録されている登録名称と宛先番号の一覧を印刷します。

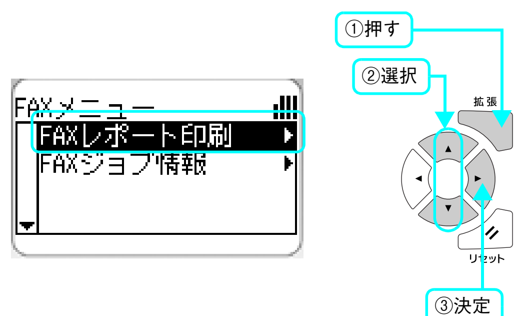
**1** **［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。




**2** **［拡張］ボタンを押してから、［FAX レポート印刷］を選択します。**

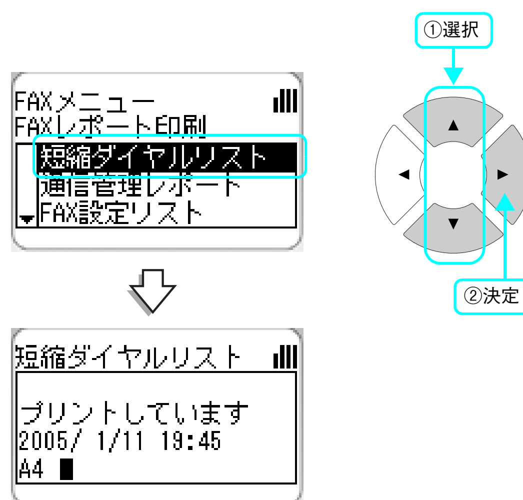
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX レポート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**3** **［短縮ダイヤルリスト］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤルリスト］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。



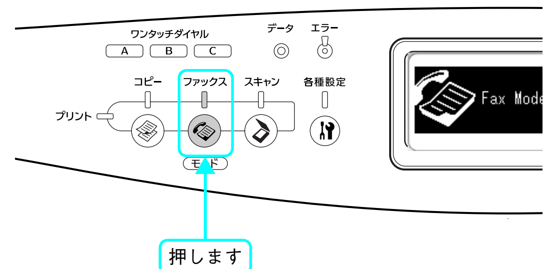

以上で短縮ダイヤルリストの印刷は終了です。

## FAX 設定リストの印刷

ファックス機能の設定項目一覧を印刷します。

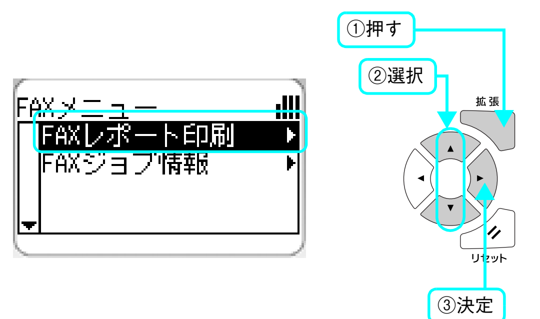
**1** **［ファックス］ボタンを押します。**

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。




**2** **［拡張］ボタンを押してから、［FAX レポート印刷］を選択します。**

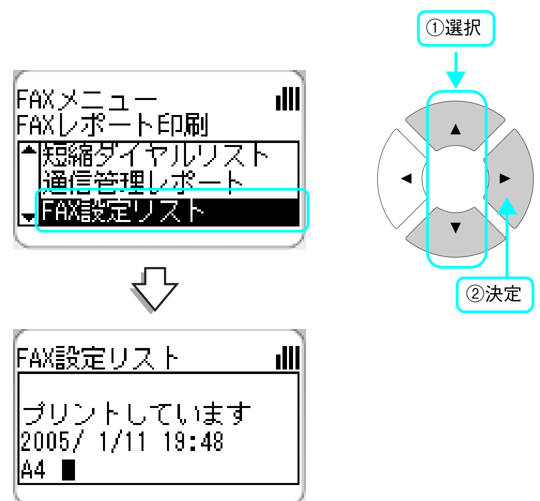
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX レポート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**3** **［FAX 設定リスト］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定リスト］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。



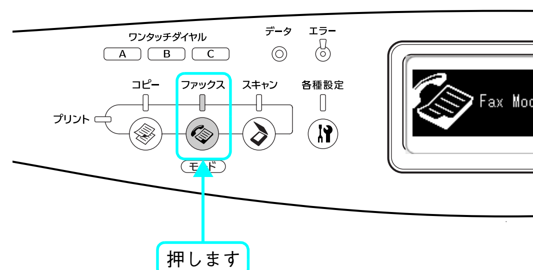

以上で FAX 設定リストの印刷は終了です。

## メモリジョブ情報の印刷

ファックスで送信、または受信して本機のメモリに蓄積されている文書の一覧を印刷します。

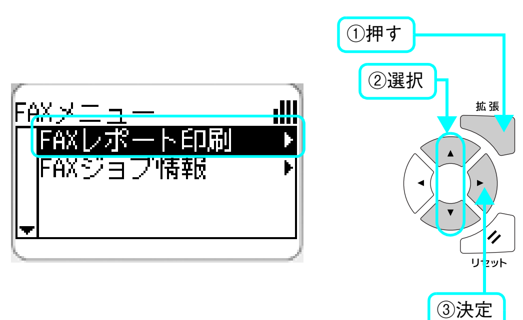
**1** ［ファックス］ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。




**2** ［拡張］ボタンを押してから、［FAX レポート印刷］を選択します。

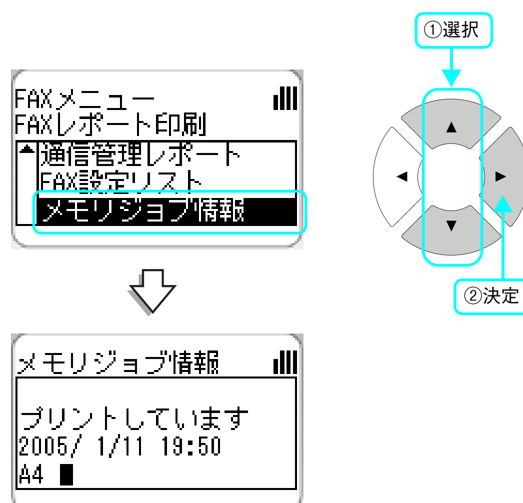
［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX レポート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**3** ［メモリジョブ情報］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［メモリジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。




以上でメモリジョブ情報の印刷は終了です。

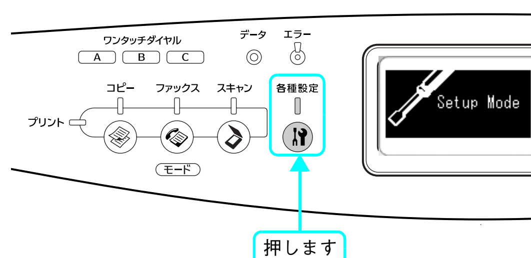
# 設定のリセット方法

本機の操作パネルで設定した各設定(プリンタ設定 /FAX 設定 / コピー設定)を、工場出荷時の設定に戻すことができます。

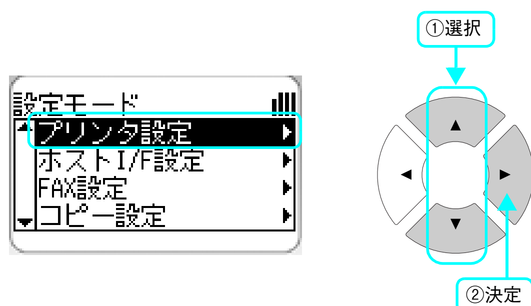
## プリンタ設定をリセットする

ここでは、プリンタ設定のリセット方法について説明します。

**1** **操作パネルの [ 各種設定 ] ボタンを押します。**
[各種設定] ランプが点灯して、設定モードになります。



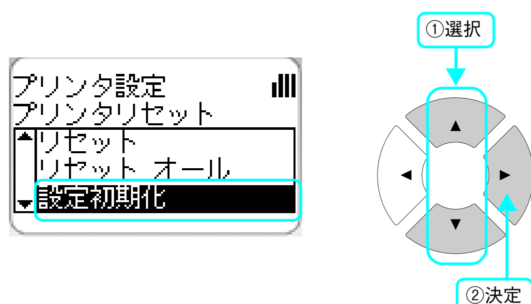

**2** **[プリンタ設定] を選択します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して [プリンタ設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。




**3** **[プリンタリセット] を選択します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して [プリンタリセット] を選択してから、[▶] ボタンを押します。




**4** **[設定初期化] を選択します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して [リセット] を選択してから、[▶] ボタンを押します。




操作パネルの表示が [プリントモード] に戻り、[印刷できます] と表示されます。

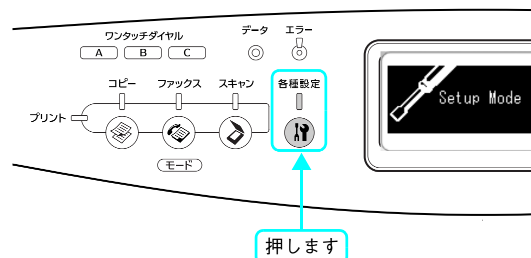
以上でプリンタ設定のリセットは終了です。

## FAX 設定をリセットする

ここでは、FAX 設定のリセット方法について説明します。

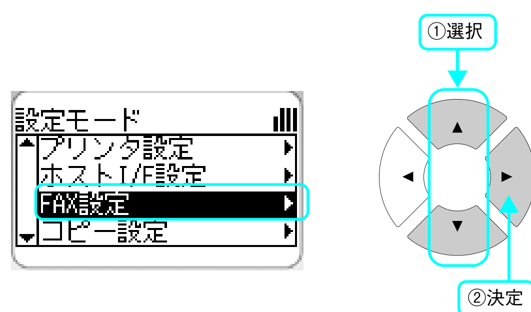
**1 操作パネルの [ 各種設定 ] ボタンを押します。**

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。



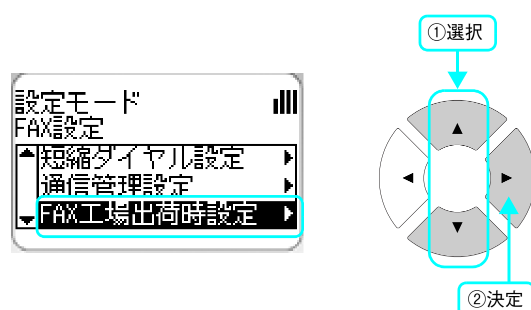

**2 ［FAX 設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



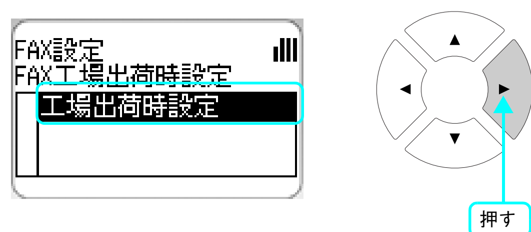

**3 ［FAX 工場出荷時設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［FAX 工場出荷時設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




**4 ［工場出荷時設定］を実行します。**

［工場出荷時設定］を確認してから、［▶］ボタンを押します。




操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。

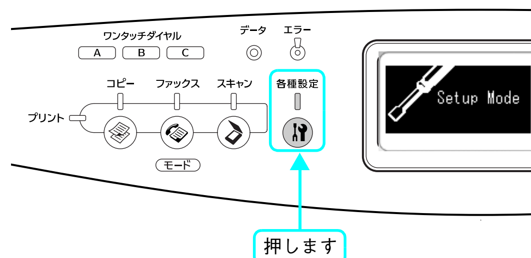
以上で FAX 設定のリセットは終了です。

## コピー設定をリセットする

ここでは、コピー設定のリセット方法について説明します。

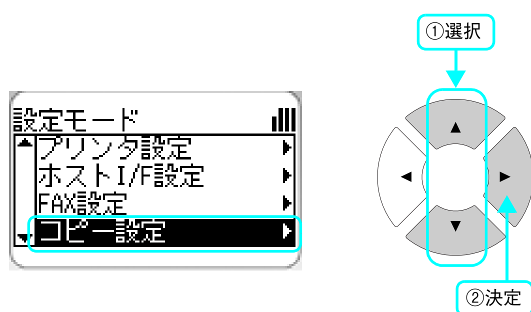
### 1 操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。



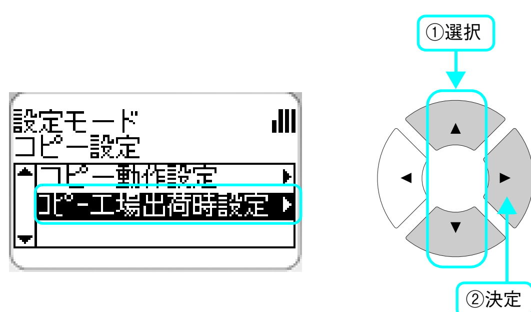

### 2 ［コピー設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。



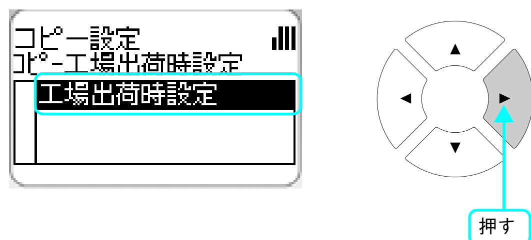

### 3 ［コピー工場出荷時設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー工場出荷時設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。




### 4 ［工場出荷時設定］を実行します。

［工場出荷時設定］を確認してから、［▶］ボタンを押します。



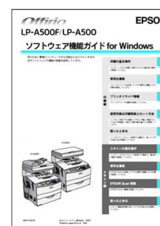

操作パネルの表示が［プリントモード］に戻り、［印刷できます］と表示されます。

以上でコピー設定のリセットは終了です。

# 電子マニュアルの見方

本製品に添付されているEPSONソフトウェアCD-ROMには、電子マニュアル『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』および『ネットワーク設定ガイド』が収録されています。

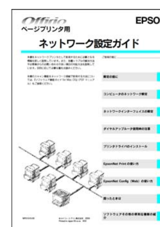
- 『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』(PDF)には、コンピュータと接続して、印刷、スキャンする方法、プリンタドライバやスキャナドライバの詳細な機能説明や困ったときのさまざまな事例とその対応など、本機をご使用いただくために必要な情報が掲載されています。『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』(PDF)に掲載されている情報(もくじ)については以下のページを参照してください。
  ☞ 本書208ページ「『ソフトウェア機能ガイド for Windows』のもくじ」
  ☞ 本書210ページ「『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』のもくじ」







- 『ネットワーク設定ガイド』(PDF)は、ネットワーク経由の印刷に関する詳細な機能説明やユーティリティの使い方、困ったときのさまざまな事例とその対応などが掲載されています。『ネットワーク設定ガイド』(PDF)に掲載されている情報(もくじ)については以下のページを参照してください。
  ☞ 本書212ページ「『ネットワーク設定ガイド』のもくじ」




電子マニュアルは、PDF(Portable Document Format)ファイルとして収録されております。このPDFファイルを開くには「Adobe® Acrobat® Reader®」や「Adobe® Reader®」などのPDF閲覧ソフトウェアが必要です。
☞ 本書200ページ「Windowsでの電子マニュアルの見方」
☞ 本書205ページ「Mac OS 9での電子マニュアルの見方」
☞ 本書202ページ「Mac OS X 10.2以降での電子マニュアルの見方」

**参考**

- Mac OS Xの「プレビュー」アプリケーションでもご覧いただけます。
- 電子マニュアルの文書形式はPDF 1.3です。これらのPDFマニュアルをご覧いただくには、Acrobat Reader 4.0以上またはAdobe Readerが必要です。本製品に添付されているEPSONプリンタソフトウェアCD- ROMには、Windows版のAdobe Readerが添付されています。それ以外のAcrobat ReaderまたはAdobe Readerが必要な場合には、アドビシステム株式会社のホームページの情報をご覧ください。
- PDFファイルを開くと、画面左側に[しおり]があります。[しおり]の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、すべてのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておくと、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法について詳しくは、PDF閲覧ソフトウェアの[ヘルプ]をご覧ください。

## Windowsでの電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Windows』(PDF)と『ネットワーク設定ガイド』(PDF)はプリンタソフトウェアなどとともにコンピュータにインストールされます。ローカル接続の場合は、Windows の[スタート]メニューから[プログラム]-[EPSON]-[EPSON ソフトウェア機能ガイド for Windows]または[EPSON ネットワーク設定ガイド]をクリックしてご覧ください。ネットワーク接続の場合や、ネットワーク上の共有プリンタをお使いの場合は、サーバ上にインストールされますので管理者の方にお尋ねください。

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。

> **参考**
> - Acrobat Reader や Adobe Reader をお持ちでない場合は、4 で[プリンタをローカル(直接)接続でセットアップする]をクリックし、さらに[ソフトウェアのインストール](Windows 2000/XP のみ)-[選択画面]の順にクリックしてから[Acrobat Reader]だけを選択してインストールしてください。
> - 電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

**1** **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

**2** **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**

**3** **画面の内容を確認して、[ 続ける ] をクリックします。**

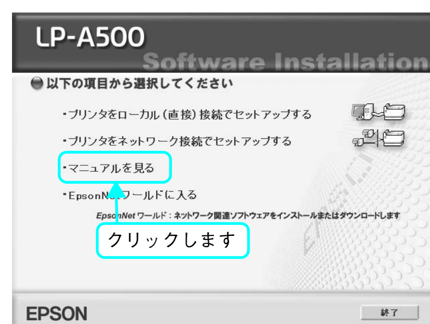
ウィルスチェックプログラムの実行中は、[ インストール中止 ] をクリックして、手順 1 からやり直します。




> **参考**
> **右の画面が表示されないときは**
> [マイコンピュータ]内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

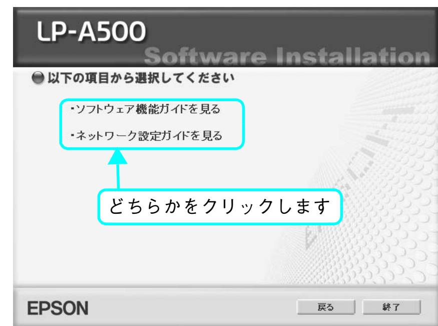
**4** **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、[同意する]をクリックします。**

**5** **[マニュアルを見る]をクリックします。**



6 ［ソフトウェア機能ガイドを見る］または［ネットワーク設定ガイドを見る］をクリックします。

『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）が表示されます。

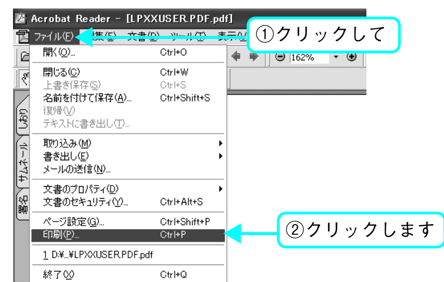



## 電子マニュアルの印刷方法

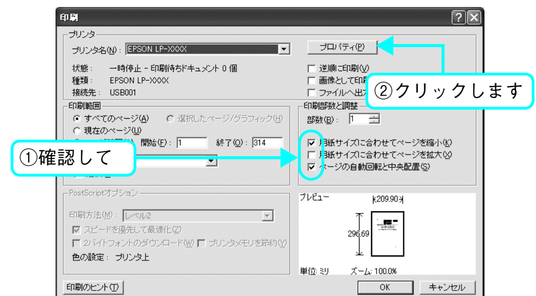
『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を開いたら、以下の手順に従って印刷できます。

1 本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

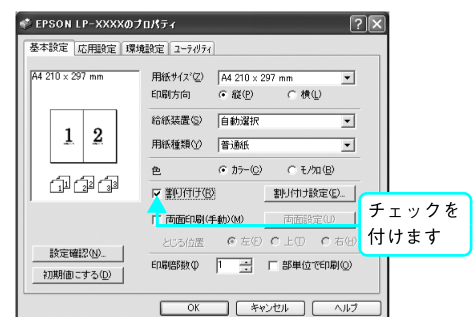



3 ［用紙サイズに合わせてページを縮小］（または［用紙サイズに合わせる］）がチェックされていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。




4 ［基本設定］タブの［割り付け］チェックボックスにチェックを付けます。

「ソフトウェア機能ガイド for Windows」（PDF）や「ネットワーク設定ガイド」（PDF）を A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。




5 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で印刷の手順は終了です。

## Mac OS X 10.2 以降での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）と『ネットワーク設定ガイド』（PDF）はプリンタソフトウェアなどとともに Mac OS にインストールされます。デスクトップ上の以下のアイコンをダブルクリックしてご覧ください。

- ［EPSON ソフトウェア機能ガイド for Mac OS］
- ［EPSON ネットワーク設定ガイド］

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。



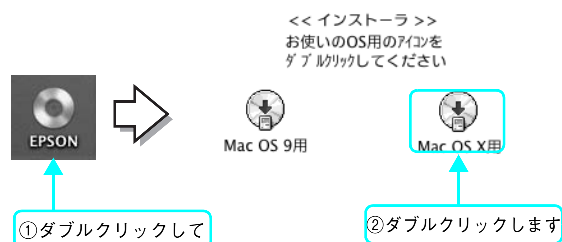

電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

**1** **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

**2** **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』を Macintosh にセットします。**

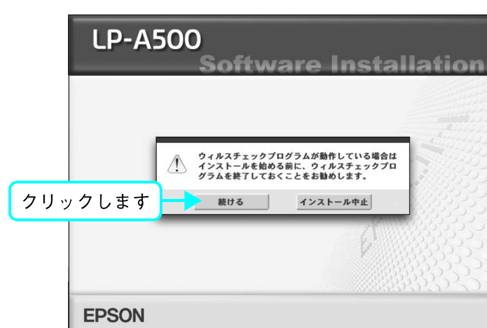
**3** **デスクトップ上の［EPSON］CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。**

**4** **［Mac OS X 用］インストーラをダブルクリックします。**



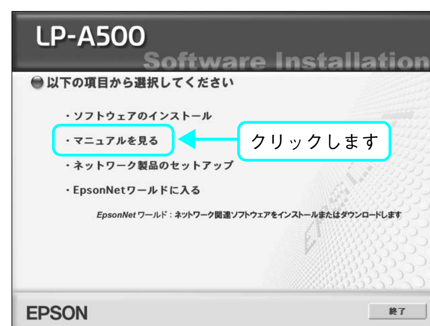

**5** **右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。



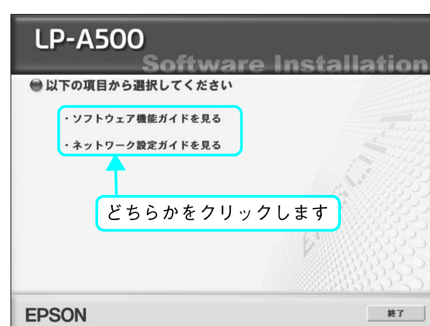

**6** **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

7 右の画面が表示されたら［マニュアルを見る］をクリックします。




8 ［ソフトウェア機能ガイド for Mac OS を見る］または［ネットワーク設定ガイドを見る］をクリックします。

『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）が表示されます。




## 電子マニュアルの印刷方法

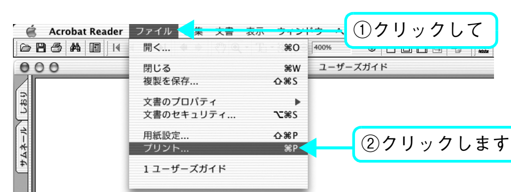
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を開いたら、次の手順に従って印刷できます。




印刷できない場合は、［プリントセンター］にお使いのプリンタ（ LP-A500）が追加されているか確認してください。

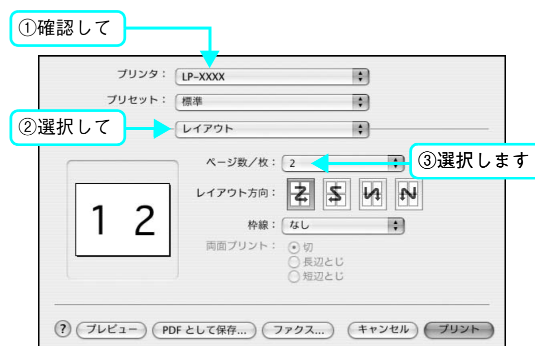
1 本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。

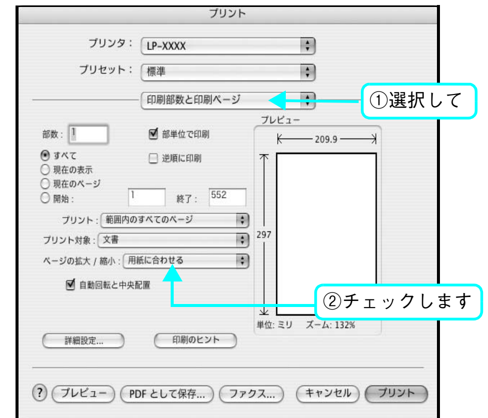



3 ［プリンタ］にお使いのプリンタ（LP-A500）が選択されていることを確認し、［レイアウト］を選択して、［ページ数 / 枚］を［2］に設定します。

- ［プリンタ］に［LP-A500］が選択されていないときは、［LP-A500］を選択します。
- 『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）や『ネットワーク設定ガイド』（PDF）は、A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。



4 ［印刷部数と印刷ページ］を選択し、［ページの拡大 / 縮小］リストで［用紙に合わせる］を一覧から選択します。




5 ［プリント］をクリックして印刷を実行します。

以上で印刷の手順は終了です。

## Mac OS 9 での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）と『ネットワーク設定ガイド』（PDF）はプリンタソフトウェアなどとともに Mac OS にインストールされます。デスクトップ上の以下のアイコンをダブルクリックしてご覧ください。

- ［EPSON ソフトウェア機能ガイド for Mac OS］
- ［EPSON ネットワーク設定ガイド］

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。



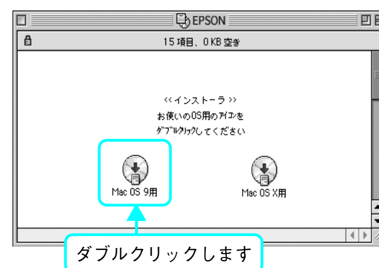

電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

**1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

**2 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

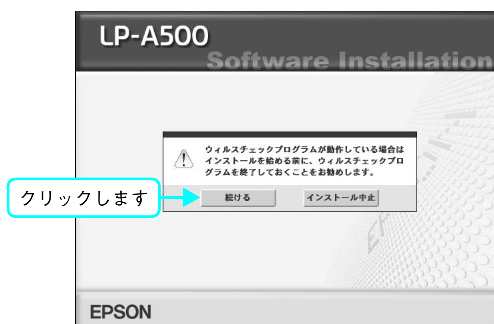
**3 インストーラ（Mac OS 9 用）を起動します。**

右の画面が表示されない場合は、デスクトップ上の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。



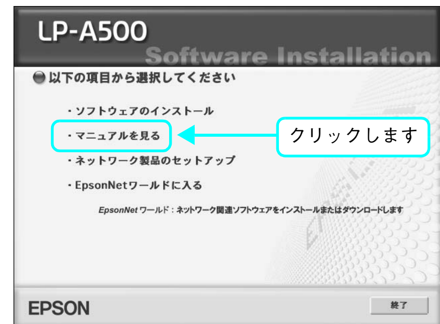

**4 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。



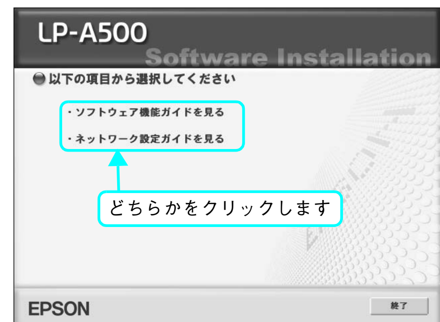

**5 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

6 右の画面が表示されたら［マニュアルを見る］をクリックします。




7 ［ソフトウェア機能ガイド を見る］または［ネットワーク設定ガイドを見る］をクリックします。

『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）が表示されます。




## 電子マニュアルの印刷方法

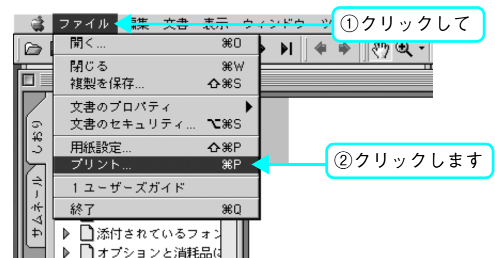
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を開いたら、次の手順に従って印刷できます。




印刷できない場合は、Apple メニューの［セレクタ］でお使いのプリンタ（LP-A500）が選択されているか確認してください。

1 本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。




3 ［用紙サイズに合わせてページを縮小］（または［用紙サイズに合わせる］）がチェックされていることを確認して、［レイアウト］アイコンをクリックします。



## 4 ［割り付け］チェックボックスにチェックを付けて［OK］をクリックします。

『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）や『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を、A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。




## 5 ［印刷］をクリックして印刷を実行します。

以上で印刷の手順は終了です。

# 電子マニュアルのもくじ

## 『ソフトウェア機能ガイド for Windows』のもくじ

### 印刷編

## ■ スキャナ編

# 『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』のもくじ

## 印刷編

## ■ スキャナ編

### スキャンの基本操作



### 便利な機能



### EPSON Scan 情報



### 困ったときは



### 付録

# 『ネットワーク設定ガイド』のもくじ

# サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

## インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

| | |
|---|---|
| アドレス | http://www.i-love-epson.co.jp |

## 「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 * してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ
「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

## エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

| | |
|---|---|
| 受付時間 | 「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。 |
| 電話番号 | 「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。 |

## ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

| | |
|---|---|
| **受付時間** | 「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。 |
| **所在地** | 「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。 |

## コンピュータスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

| | |
|---|---|
| **アドレス** | http://www.i-love-epson.co.jp |

## エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年)、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

## 保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

### ■ 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

## 保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書の裏表紙をご覧ください）
  受付日時 ：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間 ：9：00 ～ 17：30

## 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

| 種類 | | 概要 | 修理代金と支払方法 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 保証期間内 | 保証期間外 |
| 年間保守契約 | 出張保守 | 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。<br>修理のつど発生する修理代･部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。<br>定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。<br>消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。 | 無償 | 年間一定の保守料金 |
| スポット出張修理 | | お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。<br>故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 | 無償 | 出張料+技術料＋部品代<br><br>修理完了後<br>そのつどお支払いください |

•交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外をとわず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
（年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
•当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

# マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

| アドレス | http://www.i-love-epson.co.jp |
|---|---|

# 仕様

## 総合仕様

### 環境基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| 消費電力 | 最大 | 790W |
| | 電源オフ時 | 0W |
| 省資源機能 | 手動両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。 | |
| 回収リサイクル体制 | 使用済みトナーカートリッジの回収<br>資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。 | |
| 修理体制 | エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下のページを参照してください。<br>本書 214 ページ「保守サービスのご案内」 | |
| 補修用性能部品の最低保有期間 | 製品の製造終了後 6 年 | |
| 消耗品の最低保有期間 | 製品の製造終了後 6 年 | |

### 電気関係

| | | |
|---|---|---|
| 定格電圧 | | AC100V ± 10% |
| 定格電流 | | 8.5A |
| 周波数 | | 50/60Hz ± 3Hz |
| 消費電力 | 最大 | 790W |
| | カラー | 平均 188W　（LP-A500：カラー連続印刷時）<br>（LP-A500F：カラー連続コピー時） |
| | モノクロ | 平均 292W　（LP-A500：モノクロ連続印刷時）<br>（LP-A500F：モノクロ連続コピー時） |
| | 待機時 | 平均 49W（ヒーターオン、スキャナランプオフ時） |
| | 低電力モード時 | 平均 15W（ヒーターオフ時） |

### 環境使用条件

| | | |
|---|---|---|
| 動作時 | 温度 | ：10 ～ 32 度 |
| | 湿度 | ：15 ～ 80%（ただし結露しないこと） |
| | 気圧（高度） | ：65 ～ 101kPa（3100m 以下） |
| | 水平度 | ：前後差：5mm 以下<br>左右差：10mm 以下 |
| | 照度 | ：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと） |
| | 周囲スペース | ：設置面より上方 920mm、左側方 100mm、右側方 300mm、前方 150mm*、後方 260mm<br>* オプション増設 1 段カセットユニット装着時は 360mm |
| 保存・輸送時 | 温度 | ：0 ～ 35 度 |
| | 湿度 | ：15 ～ 80%（ただし結露しないこと） |

### コントローラ基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| RAM | 標準 | ：128MB |
| | オプション増設時 | ：最大 576MB（2 ソケット） |
| インターフェイス | 標準 | ：USB（Rev. 1.1 および 2.0 対応）<br>10Base-T/100Base-TX |

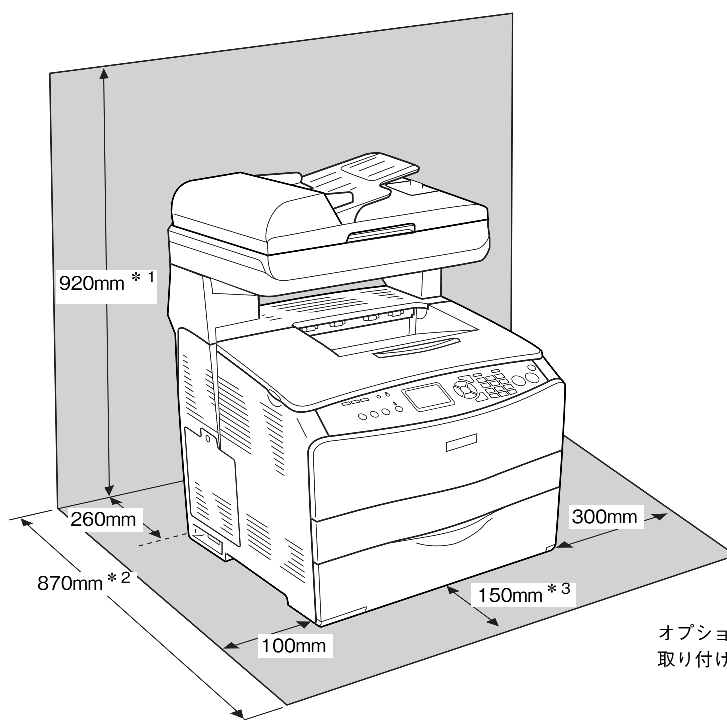
### 外形寸法 / 重量

| | LP-A500 | LP-A500F |
|---|---|---|
| 外形寸法 | 幅 460mm ×奥行き 467mm ×高さ 593mm（小数点以下四捨五入） | 幅 460mm ×奥行き 467mm ×高さ 667mm（小数点以下四捨五入） |
| 重量 | 約 31kg （消耗品を含まない） | 約 34kg （消耗品を含まない） |

### オプションの外形寸法 / 重量

| | |
|---|---|
| 外形寸法 | 増設 1 段カセットユニット：<br>幅 440mm ×奥行き 446mm ×高さ 130mm（小数点以下四捨五入） |
| 重量 | 増設 1 段カセットユニット：約 8kg |

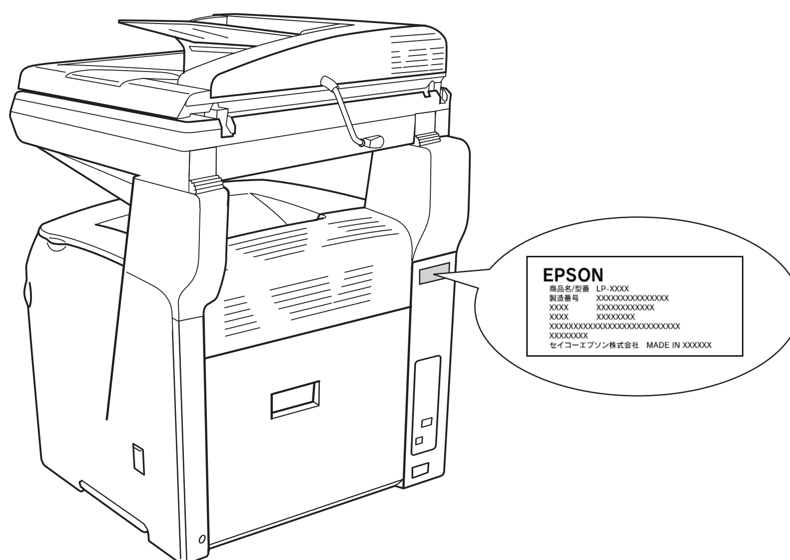
## 設置スペース




オプションの増設カセットユニットを
取り付けた場合は以下の寸法になります。

＊1　1050mm
＊2　1070mm
＊3　360mm

## 製造番号の表示位置



# プリンタ仕様

## 基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| プリント方式 | 半導体レーザービーム走査＋乾式 2 成分トナー電子写真方式 | |
| 解像度 | 300dpi[*1] | |
| プリント速度 | 300dpi | ：25.0 枚 / 分（A4、モノクロ印刷時）[*2]<br>5.0 枚 / 分（A4、カラー印刷時）[*2] |
| ウォームアップ時間 | 37 秒（温度 23 度、湿度 55％、定格電圧にて） | |
| ファーストプリント | モノクロ片面印刷<br>カラー片面印刷 | ：9.0 秒（A4）<br>：17.0 秒（A4） |
| 稼働音（本体のみ） | 待機時 | ：暗騒音 |
| | 稼働時 | ：約 54dB（LP-A500：モノクロコピー時）<br>約 57dB（LP-A500F <オートドキュメントフィーダ>：モノクロコピー時） |

*1 dpi：25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数 （Dots Per Inch）
*2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整（calibration）を自動的に行うことがあり、そのために上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着器の安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

### 用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

| 給紙方法 | 用紙種類 | | 用紙サイズ | 紙厚 | 容量 *2 |
|---|---|---|---|---|---|
| MPトレイ *1 | 普通紙（コピー用紙、上質紙、再生紙） | | A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、F4 | 64 ～ 105g/m$^2$ | 200 枚 *4 |
| | EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 | | A4 | 82g/m$^2$ | 180 枚 *5 |
| | 特殊紙 | 郵便ハガキ | 100 × 148mm（ハガキ） | 190g/m$^2$ | 75 枚 *5 |
| | | 往復郵便ハガキ | 148 × 200mm（W ハガキ） | | |
| | | 4 連郵便ハガキ | 200 × 296mm（Q ハガキ） | | |
| | | 封筒 | 洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 3 号 | 75 ～ 105g/m$^2$ | 20 枚 *5 |
| | | ラベル紙 | A4、Letter（LT） | 91 ～ 210g/m$^2$ | 75 枚 *5 |
| | | 厚紙 | A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE） | 106 ～ 163g/m$^2$ | 20mm 以下 |
| | | 特厚紙 | | 164 ～ 210g/m$^2$ | |
| | | コート紙 | | 105 ～ 210g/m$^2$ | |
| | | 不定形紙 *3 | 幅：90.0 ～ 220.0mm<br>長さ：110.0 ～ 355.6mm | 64 ～ 105g/m$^2$ | |
| | | | | 106 ～ 163g/m$^2$ | |
| | | | | 164 ～ 210g/m$^2$ | |
| | | EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙 | A4 | 105g/m$^2$ | 180 枚 *6 |
| | | EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート | A4 | 140g/m$^2$ | 75 枚 *5 |
| オプション増設 1 段カセットユニット（LPA4CZ1CU2） | 普通紙（コピー用紙、上質紙、再生紙） | | A4、Letter（LT） | 64 ～ 105g/m$^2$ | 500 枚 *7 |
| | EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 | | A4 | 82g/m$^2$ | |

*1 操作パネルとプリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。
*2 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大セット枚数表示までです。最大セット枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。
*3 不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズを設定してから印刷してください。
*4 64g/m$^2$ で 200 枚、80g/m$^2$ で 180 枚、または総厚 20mm までセット可能。
*5 または総厚 20mm までセット可能。用紙の製造会社によってセットできる枚数は異なります。
*6 または総厚 20mm までセット可能。使用環境によって異なります。
*7 または総厚 56mm までセット可能。用紙の製造会社によってセットできる枚数は異なります。

| | |
|---|---|
| **排紙容量** | 最大 250 枚（普通紙 64g/$m^2$） |

| | |
|---|---|
| **用紙の種類** | • 普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙、<br>一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド<br>• 特殊紙<br>郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキ、封筒、ラベル紙、厚紙、不定形紙、EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙、EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート、 |

### 用紙サイズと給紙方法

| 用紙サイズ | | | MP トレイ（標準） | 用紙カセット *1（オプション） | 両面印刷 | 用紙のセット方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A4 | | 210.0 × 297.0mm | ○ | ○ | ○ | 縦長 |
| A5 | | 148.0 × 210.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| B5 | | 182.0 × 257.0mm | ○ | × | ○ | 縦長 |
| Letter（LT） | | 8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm） | ○ | ○ | ○ | 縦長 |
| Half-Letter（HLT） | | 5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm） | ○ | × | × | 縦長 |
| Legal（LGL） | | 8.5 × 14.0 インチ（215.9 × 355.6mm） | ○ | × | × | 縦長 |
| Executive（EXE） | | 7.25 × 10.5 インチ（184.2 × 266.7mm） | ○ | × | ○ | 縦長 |
| Government Legal（GLG） | | 8.5 × 13.0 インチ（215.9 × 330.2mm） | ○ | × | ○ | 縦長 |
| Government Letter（GLT） | | 8.0 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm） | ○ | × | × | 縦長 |
| F4 | | 210.0 × 330.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| 不定形紙 | | 用紙幅 90.0 ～ 220.0mm<br>用紙長 110.0 ～ 355.6mm | ○ *2 | × | × | 登録した用紙サイズの向き *3 |
| 郵便ハガキ | | 100.0 × 148.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| 往復郵便ハガキ | | 148.0 × 200.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| 4 連郵便ハガキ | | 200.0 × 296.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| ラベル紙 | | A4：210.0 × 297.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| コート紙 | | A4：210.0 × 297.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| OHP シート | | A4：210.0 × 297.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| 封筒 | 洋形 0 号 | 120.0 × 235.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| | 洋形 4 号 | 105.0 × 235.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| | 洋形 6 号 | 190.0 × 98.0mm | ○ | × | × | 横長 *4 |
| | 長形 3 号 | 120.0 × 235.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| | 長形 4 号 | 90.0 × 205.0mm | ○ | × | × | 縦長 |
| | 角形 3 号 | 277.0 × 216.0mm | ○ | × | × | 縦長 |

○：使用可能　　×：使用不可能

*1 オプションの増設 1 段カセットユニットに装着する用紙カセットから給紙できる用紙サイズを表します。

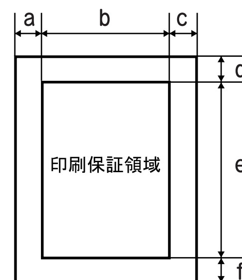
*2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

*3 不定形紙の用紙のセット方向は、登録した用紙サイズ（用紙長 / 幅）によって異なります。

*4 フラップを開いて 110mm 以上ない場合は使用できません。

### 印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。
用紙の各端面から 5mm（封筒・不定形紙で用紙幅 220mm を超える場合は、a,c：6mm）を除く領域の印刷を保証します。




### 定形紙（単位:ドット、600dpi）

| 名　称 | | a | b | c | d | e | f |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A4 | | 120 | 4720 | 120 | 120 | 6776 | 120 |
| A5 | | 120 | 3256 | 120 | 120 | 4720 | 120 |
| B5 | | 120 | 4060 | 120 | 120 | 5832 | 120 |
| Letter（LT） | | 120 | 4860 | 120 | 120 | 6360 | 120 |
| Half Letter（HLT） | | 120 | 3060 | 120 | 120 | 4860 | 120 |
| Legal（LGL） | | 120 | 4860 | 120 | 120 | 8160 | 120 |
| Executive（EXE） | | 120 | 4110 | 120 | 120 | 6060 | 120 |
| Government Legal（GLG） | | 120 | 4860 | 120 | 120 | 7560 | 120 |
| Government Letter（GLT） | | 120 | 4560 | 120 | 120 | 6060 | 120 |
| F4 | | 120 | 4720 | 120 | 120 | 7556 | 120 |
| 郵便ハガキ | | 120 | 2122 | 120 | 120 | 3256 | 120 |
| 往復郵便ハガキ | | 120 | 3256 | 120 | 120 | 4484 | 120 |
| 4 連郵便ハガキ | | 120 | 4484 | 120 | 120 | 6752 | 120 |
| 封筒 | 洋形 0 号 | 120 | 2594 | 120 | 120 | 5310 | 120 |
| | 洋形 4 号 | 120 | 2240 | 120 | 120 | 5310 | 120 |
| | 洋形 6 号 | 120 | 2074 | 120 | 120 | 4248 | 120 |
| | 長形 3 号 | 120 | 2594 | 120 | 120 | 5310 | 120 |
| | 長形 4 号 | 120 | 1886 | 120 | 120 | 4602 | 120 |
| | 角形 3 号 | 120 | 4862 | 120 | 120 | 6304 | 120 |

### 不定形紙

| 名称 | a | b | c | d | e | f |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 最小サイズ | 120 | 1886 | 120 | 120 | 2358 | 120 |
| 最大サイズ | 120 | 4956 | 120 | 120 | 8160 | 120 |



アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

## スキャナ仕様

| | |
|---|---|
| 型式 | フラットベッド型カラーイメージスキャナ |
| 走査方式 | 読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り |
| センサ | カラー CCD 4-line CCD（RGB_BW） |
| 最大有効領域 | 216 × 297mm（8.5 × 11.7 インチ） |
| 最大有効画素 | 5100 × 7020 画素（600dpi） |
| 最大原稿サイズ | A4、Letter |
| 階調 | 各画素各色 16bit（入力）、1bit/8bit（出力） |
| 読み取り速度 | モノクロ：2sec/A4,300dpi<br>カラー：11sec/A4,300dpi |

## オートドキュメントフィーダ仕様

| | |
|---|---|
| 方法 | 小窓読み取り U-Turn 給紙方法（シートフィード） |
| 最大原稿サイズ | A4、Legal、Letter、B5<br>原稿幅：182 ～ 216mm<br>原稿長さ：257 ～ 355.6mm |
| 最大セット可能原稿枚数 | A4（80g/$m^2$）：50 枚 ＜総厚 8mm 以下＞<br>Legal（80g/$m^2$）：50 枚 ＜総厚 8mm 以下＞<br>Letter（80g/$m^2$）：50 枚 ＜総厚 8mm 以下＞ |
| 原稿紙重量 | 50 ～ 124g/$m^2$ |
| 原稿紙種 | レーザープリンタ用紙、インクジェット用紙、普通紙、再生紙など |
| 原稿スタック | フェイスダウン |
| 原稿合わせ | 中央合わせ |
| 読み取り速度 | モノクロ：2sec/A4,300dpi<br>カラー：11sec/A4,300dpi |
| 原稿サイズ検知 | A4、Letter、B5 の判定可能 |
| ロック機構 | スキャナユニットオープン時オートドキュメントフィーダの開閉不可 |

## コピー仕様

| | | カラー（A4/300dpi） | モノクロ（A4/300dpi） |
|---|---|---|---|
| ファーストコピー | | 29 秒 | 12 秒 |
| コピー速度 | マルチコピー<br>（1 枚の原稿を複数枚コピー） | 5 枚 / 分 | 25 枚 / 分 |
| | 連続コピー<br>（オートドキュメントフィーダ使用時） | 5 枚 / 分 | 25 枚 / 分 |

## ファックス仕様（LP-A500F のみ）

| | | |
|---|---|---|
| Model | | EU-96 |
| 対応回線 | | PSTN（加入電話回線）、PBX（自営構内回線） |
| 通信速度 | | 33600 / 31200 / 28800 / 26400 / 24000 / 21600 / 19200 / 16800 / 14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bps<br>（自動フォールバック） |
| プロトコル | | G3、G3ECM |
| 送受信モード | カラー | RGB 各 8 ビット送受信 |
| | モノクロ | モノクロ 1 ビット送受信 |
| 画像圧縮方法 | カラー | JPEG |
| | モノクロ | MH、MR、MMR |
| 送受信走査線密度 | カラー | 200 × 200 〔dpi〕 |
| | モノクロ | 8x15.4、8x7.7、8x3.85　〔dot/mm〕 |
| 原稿サイズ | カラー | A4、Letter、Legal |
| | モノクロ | A4、Letter、Legal |
| 印刷用紙サイズ | カラー | A4、B5、Letter、Legal |
| | モノクロ | A4、B5、Letter、Legal |
| 設計認証 | T　A04-0646001 | |

# 索引

## き



## く



## け



## こ



## さ



## し



## す



## せ



## そ



## た



## つ



## て

## と



## に



## ね



## の



## は



## ふ



## へ



## ほ



## め



## も



## ゆ



## よ



## ら



## り



## わ

# 商標およびご注意

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

### 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

### 複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

### 著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

### 電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

### 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

### 電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

### レーザ製品の表示について

本プリンタは、レーザの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザ製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザは内部にありお客様が被爆することはありません。

クラス1レーザ製品

### オゾンについて

レーザープリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/$m^3$）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

# EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

ナビダイヤル 0570－004141 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

| 拠点名 | 所在地 | TEL |
|---|---|---|
| 札幌修理センター | 〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱ | 011-219-2886 |
| 松本修理センター | 〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱ | 0263-86-7660 |
| 東京修理センター | 〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱ | 042-584-8070 |
| 福岡修理センター | 〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱ | 092-622-8922 |
| 沖縄修理センター | 〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱ | 098-852-1420 |

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 ナビダイヤル 0570－090－090 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

| 受付拠点 | 引き取り地域 | TEL | 受付拠点 | 引き取り地域 | TEL |
|---|---|---|---|---|---|
| 札幌修理センター | 北海道全域 | 011-219-2886 | 福岡修理センター | 中四国・九州全域 | 092-622-8922 |
| 松本修理センター | 本州（中国地方を除く） | 0263-86-9995 | 沖縄修理センター | 沖縄本島全域 | 098-852-1420 |

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
札幌(011)222－7931 仙台(022)214－7624 東京(042)585－8555 名古屋(052)202－9531 大阪(06)6399－1115
広島(082)240－0430 福岡(092)452－3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。
(042) 585-8444【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221－7911 東京(042)585－8500 名古屋(052)202－9532 大阪(06)6397－4359 福岡(092)452－3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

| インターネットでアクセス！ | http://myepson.jp/ |
|---|---|

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーダイヤル0120－251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005. 2（B）


*410019101*


Printed in Japan 05.xx-xx XXX

EPSON LP-A500F/LP-A500 活用ガイド